

第四十五回 帝國議會 貴族院議事速記録第二十號

大正十一年二月二十一日(火曜日)

午前十時十二分開議

議事日程 第二十號 大正十一年二月二十一日

午前十時開議

第一 大正十年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)審査期限ヲ定ムルノ件

第二 酒造稅法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第三 織物消費稅法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第四 國有財産整理資金特別會計法案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第五 六大都市行政監督ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第六 少年法案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第七 矯正院法案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第八 過激社會運動取締法案(政府提出) 第一讀會

第九 破產法案(政府提出) 第一讀會

第十 和議法案(政府提出) 第一讀會

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔瀨古書記官朗讀〕

去ル十八日本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

大正十年度勅令第三百七十五號(承諾ヲ求ムル件)

大正十年度勅令第三百七十六號(承諾ヲ求ムル件)

同日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

銃砲火藥類取締法中改正法律案

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

六大都市行政監督ニ關スル法律案

少年法案

矯正院法案

同日政府ヨリ左ノ法律案ヲ提出セリ

過激社會運動取締法案

同日内閣總理大臣ヨリ左ノ通政府委員仰付ケラレタル旨ノ通牒ヲ受領セリ
農商務省所管事務政府委員

山林技師 松 波 秀 實 君

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、請暇ノ件ニ付テ御諮リヲ致シマス、沖原男爵病氣ニ付二十六日間、土田萬助君病氣ニ付二十三日間、富永猿雄君病氣ニ付二十四日間ノ請暇デゴザイマス、何レモ許可ヲ致スコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 本日高橋琢也君請願委員在任中ニ付豫算委員辭任ノ旨ヲ申出ガゴザイマシタ、御異議ナケレバ許可イタシマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 就キマシテハ第五部ニ於テ其補缺選舉ヲ行ハレムコトヲ望ミマス

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ議事日程ニ移リマス、議事日程第一、大正十年度歳入歳出總豫算追加案、第二號・審査期限ヲ定ムルノ件

〔左ノ送付文ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕
(第二號)大正十年度歳入歳出總豫算追加案

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十一年二月十八日

衆議院議長 奧 繁三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

〔國務大臣子爵高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵高橋是清君) 諸君、英國皇太子殿下ハ陽春四月ノ候ヲ期シテ我國ニ御來遊アラセラルルコトト相成リマシタ、曩ニ我が皇太子殿下ノ歐

洲ヲ御巡遊アラセラルルヤ、英國ノ皇室及ビ國民ノ熱誠ナル歡迎ヲ受ケサセラレ、兩國ノ國交ニ至大ノ親厚ヲ加ヘサセラレマシタコトハ、我ガ國民ノ感激ニ堪ヘザル所デアリマシテ、今回又英國皇太子殿下ノ御來遊ニ當リ、我ガ國民ノ熱誠ニ歡迎シ奉ルコトハ申スマデモナキコトデアリマシテ、兩國ノ親交更ニ厚キヲ加フルコトト信ジマス、就テハ政府ニ於テモ國賓殿下ヲ御歡迎申上グルコトニ付テ萬全ヲ期シタイト思ヒマス、依テ差向キ茲ニ大正十年度分トシテ、内務省所管ニ於テ御警衛其他ノ準備ニ要スル經費トシテ、十八萬餘圓ヲ要求スル次第デアリマス、次ニ本年三月、伊國「ゼノア」ニ於テ開催ノ豫定デアリマスル國際經濟財政會議ニ我國ヨリモ、代表者ヲ派遣スルノ必要ガアリマス、依テ是ガ參列費トシテ外務省所管ニ於テ大正十年度ニ要スル經費二十餘萬圓ヲ要求スル次第デアリマス、右兩件トモ大正十一年度ニ於テモ尙ホ追加豫算ヲ要求スル考デゴザイマス、何卒速ニ御協賛アラムコトヲ望ミマス

○伯爵林博太郎君 是ヨリ鐵道敷設法案特別委員會ヲ開會イタシタク存ジマス、委員ノ退席ヲ要求イタシマスカラ、議場ニ御諮リヲ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 林伯爵ノ特別委員退席ノ要求ハ、御異議ナケレバ許可イタシマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

〔男爵阪谷芳郎君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 阪谷男爵ハ……

○男爵阪谷芳郎君 チョット質問イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 通告ガゴザイマスカラ其順ニ願ヒタウゴザイマス、是ヨリ通告順ニ依リマシテ質疑ヲ許シマス、江木翼君

○江木翼君 極テ簡單ナルコトデゴザイマスカラ、此席ヨリ御尋ヲシタイト思ヒマス、第一ニ先ヅ以テ御伺ヒシタイト思ヒマス點ハ、此「ゼノア」會議ニ關スル歐羅巴及ビ亞米利加諸國ノ態度デゴザイマス、今日如何ナル狀態ニナツテ居ルカト云フコトヲ一應承リタイト思フノデアリマス、是ハ私ガ茲ニ申上グル必要モナイト思ヒマスガ、歐羅巴ノ恢復、經濟及ビ財政ノ回復ヲ圖ルト云フコトニ付テ、必要缺クベカラザル條件ハ、疑モナク獨逸ノ復舊ノ一ツデアラウト思ヒマス、又第二ニハ人口一億七千萬ヲ包容イタシテ居ル所ノ露西亞、而モ天產物ノ非常ニ大ナル輸出國デアル所ノ露西亞ノ復舊ト云フコトガ、

第二ノ要件デナクテハナラスト思ヒマス、而シテ最後ニ……最後ト申シテモ決シテ輕イ意味デナク、恐ラクハ最重要ナル條件ハ、亞米利加ノ債權ノ關係デアラウト思フノデアリマス、亞米利加ノ如キ御承知ノ通り歐羅巴大陸ニ對シテ百億萬以上ノ債權ヲ有ツテ居ルノデアリマス、若シ此ノ亞米利加ガ「ゼノア」會議ニ參加ヲ致シマセスト云フコトデアリマシタ場合ニ於テハ、歐羅巴ノ財政經濟ノ復舊ト云フコトハ、恐ラク半分以上不成功ニ終ルコトデハナイカト思フノデアリマス、茲ニ於テ果シテ歐羅巴ノ復舊ト云フコトニ對シテ、亞米利加ハ如何ナル態度ヲ有ツテ居リマスカ、又第二ニ英吉利ト佛蘭西ノ間ニハ必シモ十分意思ノ疏通ガ出來テ居ルカノヤウニモ考ヘラレナイヤウナコトガ、日々ノ電報ニ依テ窺ハレルノデアリマスガ、或ハ佛蘭西ハ三箇月以上ノ延期ヲ要求シテ居ルト云フコトガ、新聞等ニ於テ見エテ居ルノデアリマス、又近クハ伊太利ノ「ボノミ」内閣ハ總辭職ヲ致シマシテ、伊太利政府ノ中心ト云フモノハ今ヤ無クナツテ居ル、結局延期若クハ不成立ト云フ結果ニ終リハシナイカト云フコトモ傳ヘラレテ居ルノデアリマスガ、我國ガ急イデ之ニ參加シナケレバナラス必要ト云フモノハ、ドノ邊ニアルノデアリマスカ、コロハ歐羅巴亞米利加諸國ノ「ゼノア」會議ニ對スル態度、竝ニ帝國政府ガ突然急ニ之ヲ參加ヲシタト云フニ至ツタ理由ヲバ、伺ヒタイト思フノデアリマス

〔國務大臣伯爵内田康哉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(伯爵内田康哉君) 唯今ノ江木君ノ御質問ニ對シ順次御答ヲ致シマス、第一ノ御質問ハ「ゼノア」會議ニ對スル歐米諸國ノ態度ガドウデアルカ、今日マデ參加ヲ申込デ居リマス國ハ二十以上ニ互ツテ居リマス、歐洲ニ於テハ英、佛、伊、是ハ勿論デアリマスガ、獨逸、露西亞、西班牙、白耳義、其他ノ諸國デアリマス、勿論此ノ會議ハ歐洲ノ經濟復興ヲ主トスルモノデアリマスカラ、唯今江木君ガ言ハレマシタ通りニ、最モ至大ノ關係ヲ有ツテ居ル國ハ獨逸、露西亞、是ハ申スマデモナイ話デアリマスガ、其次ハ矢張亞米利加ガ債權ノ關係ヨリシテ、ドウシテモ亞米利加ガ參加ト云フコトガ非常ニ效力ガアルモノト思ハレル、是ハ江木君ノ御説ト全然御同感ニ存ジマス、然ニ亞米利加ノ態度ハ今日ニ至ルマデ明確ニ、斯ウデアルト云フコトハ私ニ於テハ申上ゲ兼ねル、亞米利加ニ於テハ參加ヲスベシト云フ議論ト、參加ニ反對ノ議論トガ兩々相行ハレテ居ルヤウデアリマス、又亞米利加ノ政府ニ於キマシテハ、此問題ニ對シテ十二分ノ注意ヲ拂ヒ、攷究ヲ致シツツアルヤウデアリ

マス、併シ是ハ畢竟他國ノ態度ニ關スルコトデアリマスカラ、是レ以上ニ私
ヨリ申上ゲルコトハ出來ナイ話デ、第二ノ御質問ハ英佛ノ間ニ何カ意見ノ相
違ガアリハシナイカト云フ御質問デアリマスガ、是モ私ハ新聞紙上デ承知ス
ル位ナコトデアツテ、果シテドレ程ノ意見ノ間隔ガアルカハ、茲ニ明言スルコ
トガ出來マセヌ、併シ兎ニ角モ「カンヌ」會議ニ於テ英佛トモニ、此會議ノ重
要ナルコトニ意見ガ合致シテ、此會議ヲ招集スルコト云フコトニナツタデアリ
マス、併シ御承知ノ通り當時前首相「ブリアン」氏ガ早急「カンヌ」會議ヲ引揚
ゲタト云フヤウナ次第デアリマシテ、其後辭職ヲシテ更ニ新内閣ガ出來タト
云フ工合ニナツテ居リマス、或ハ期限ト云フコトニ付テハ佛蘭西側ニ於テハ、
寧ロ多少ノ延期ヲ希望シテ居ルカトモ察セラレマス、併シ今日ニ於テハ英國
側ノ言明スル所ニ依レバ、兎モ角モ此會議ノ延期ヲスル如何ハ、一ニ伊太利
ノ權限内ニ屬スルコトデアアル、伊太利側デ準備上其他ノコトデ延期スルト云
フコトデアレバ致方ガアリマセヌガ、サウデナケレバ期限通りニ開會スベキ
モノデアアルト云フコトガ、英國側ノ意見ノヤウニ察セラレル、尤モ唯今江木
君ノ言ハレタヤウニ、今朝ノ新聞ニモアリマス通り「ボノミ」内閣ハ遂ニ信認
投票ニ破レテ、辭職ヲシタト云フコトデアリマスカラ、茲ニ内閣ガ出來ルノ
ガ若シ手間取ルヤウナコトデアレバ、開會ノ期日ハ三月八日ニ迫ツテ居ル次第
デアリマスカラ、事實上ハ行ハレナイカモ知レマセヌ、最後ノ御問ハ亞米
利加ノ參加モ能ク分ラナイニ、何故ニ日本ガ取急イデ此會議ニ參加ヲシタ
ノカト云フ御質問ノヤウニ聽取リマシタガ、果シテサウデアリマスレバ、殊
更ニ取急イデ參加ヲシタ譯デアリマセヌ、即チ一月始メニ於テ「カンヌ」會議
ノ結果トシテ、我ガ全權モ其會議ニ參加シテ居ル次第デ、當時ヨリ態度ヲ聞
イテ參加スルコトニ決ツテ居ッタ次第デアリマス、尤モ亞米利加ハ「カンヌ」會
議ニモ正式ニ參加ヲ致シマセヌ、亞米利加ノ態度ハ當時カラ分ツテ居リマシ
タ、併シ日本ガ之ニ參加シマス所以ハ、無論歐洲經濟復興ニハ直接關係ハ寧
ロ無イカモ知レマセヌ、之ニハ獨逸及ビ露國ガ參加スルコトニナツテ、殊ニ露
國ノ關係ト致シマシテハ單ニ經濟關係ノミナラズ、御承知ノ通り共產主義ヲ
奉シテ居ル國柄デアリマスカラシテ、到底其儘デハ此經濟復興ノ議ヲ進メル
コトガ出來ナイ、然ラバ矢張露國ニ對シテ此ノ共產主義ニ對スル彼等ノ主張
ヲ變更セシムルコトガ必要ニナツテ來ル、即チ露西亞ニ對シテ投資スル所ノ投
資ニ對シテハ、其投資シタ者ノ權利ヲ十分ニ認メルト云フコトハ、ドウシテ

モシナケレバナラヌ話デアラウト思フ、又延イテ露國ノ政體ニモ及ブコトデ
アラウト思ヒマスカラシテ、是等ノ關係カラシテ露國ノ參加ハ日本ニ最モ重
大ナル關係ヲ有スル話デ、ソレ故ニ旁、列國ト協調ヲ共ニスルト云フ趣意以外
ニ、露國トノ關係ヲ最モ重要視シテ參加ヲシタ次第デアリマス、一應……

○江木翼君 次ニ御尋ヲシタイト思フ點ハ、唯今ノ御答ニ依リマス日本側
ノ參加スベキ主ナル理由ナルモノハ露西亞關係デアアル、露西亞ノ參加ヲ誘引
イタシマシタニ付キマシテハ、四五箇條ノ條件ガアリマシテ、其條件ヲ全露
國政府、勞農政府ガ認メマシタ故ニ參加ガ出來ルト云フコトニナツタ思フノ
デアリマスルガ、先ヅ以テ承リタイト思ヒマスノハ、此露西亞ノ現在「レニ
ン」政府ヲ誘引セラレタ、之ガ參加スルト云フコトハ、全露政府ト云フ意味
デアリマセウカ如何デアリマセウカ、先ヅ以テ承リタイト思ヒマス

〔國務大臣伯爵內田康哉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(伯爵內田康哉君) 唯今ノ御質問ニ答ヘマスガ、「レニン」政府ヲ
誘引イタシマシタハ、即チ莫斯科ノ勞農政府ヲ招待シタ次第デアリマス、併
シ御承知ノ通り今日ノ勞農政府ト全ク一ツニナツテ居ルトハ申上ゲ兼ネマス
ケレドモ、兄弟國タルヤウナ國ガ澤山アリマス、例ヘバ「ウクライナ」ノ如キ、
又ハ「アゼルバイジャン」ノ如キ、或ハ「チタ」政府ノ如キ、更ニ我ニ最モ關係
アル極東共和國ノ如キ、是等ノ國ハ矢張此參加ノ中ニ加ハツテ來ルモノト思ッ
テ居リマス

○江木翼君 チョット御答ノ趣旨ヲ了解イタシ兼ネタノデゴザイマスガ、「レ
ニン」政府ニ誘引ヲシタルハ、其誘引ト云フモノハ、同時ニ「ウクライナ」デ
アルトカ、或ハ「アゼルバイジャン」デアルトカ、或ハ「チタ」政府デアルトカ
ト云フモノモ包含シテ居ルモノデアアル、言葉ヲ換ヘテ云ヘバ「レニン」政府ガ
「ゼノア」會議ニ代表者ヲ送ルト云フ意味ハ、全露政府ノ代表者ヲ送ルト云フ
意味デアアル、斯ウ云フ御答デアリマシタカ、念ヲ押シテ置キマス

〔國務大臣伯爵內田康哉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(伯爵內田康哉君) 最初ハ勞農政府ニ對シテ案内ヲ發シマシタ結
果、勞農政府ハ唯今私ノ申シマシタヤウナ國ノ代表者モ、一緒ニナツテ參加シ
タイ、斯ウ云フコトヲ申込デ居ルダラウ、サウ云フコトニナルダラウト思
ヒマス

○江木翼君 先ヅ以テ此露西亞ノ關係ニ付テ承リタイノデアリマスルガ、イ

ヅレ會議ニ於テ論議セラレマスル所ハ、露西亞ガ普通ノ平和的ノ關係ヲ歐羅巴及ビ亞米利加ノ他ノ國ト結ビヤウナ狀態ニ置カウト云フコトガ、露西亞ヲ參加セシメタ終局ノ目的デナクテハナラヌト思フノデアリマス、歐羅巴ノ回復ニ際シテハ、露西亞ナル非常ニ偉大ナル國、大ナル生産國デアリ、大ナル消費國デアル所ノ露西亞ヲバ、普通ノ通商關係ニ置ク、國際關係ニ置ク、斯ウ云フ目的ヲ以テ招待サレタモノト見ナクテハナラヌト思フノデアリマス、左様ニ考ヘマスルト、結局「ゼノア」會議ノ終局ニ至リマシテハ「レニン」政府ヲ承認スル、露西亞ノ正當ナル政府トシテ「レニン」政府、若シ箇々ニ分レタ所ノ政府デアリト致シマスレバ、或ハ「チタ」政府或ハ「ウクライナ」政府ナリ、或ハ「アゼルバイジャン」政府ナリト云フモノヲ、正當ニ承認スルト云フコトガ起ルト見ナケレバナラヌノデアリマスガ、帝國政府ニ於テハ豫メ左様ナ覺悟ヲ持ッテ御臨ミニナル、斯ウ云フ次第デアリマセウカ、其點ヲ一應伺ヒタイ

〔國務大臣伯爵内田康哉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(伯爵内田康哉君) 此「ゼノア」會議ニ參加シマスル條件ニ付キマシテハ、江木君ノ御質問中ニモ申述ベラレマシタ通りニ、數箇條ノ條件ハアリマス、其中ニ唯今ノ御質問ニ關係スルモノヲ一二申上ゲマスレバ斯ウ云フコトガアル、第一ハ「各國ハ他國內ノ經濟竝ニ其政治ノ根本原則ニ關シ、互ニ之ヲ掣肘スルノ權利ヲ主張スルコトヲ得ス、各國ハ自ラ其制度ヲ臨時採擇スベシ、尤モ一國援助ノタメ外國資本ヲ利用スルニハ、先ツ以テ外國ノ投資者ハ其財産及權利ヲ尊重セラレ、且ツ其企業利得ノ確保セラルルヲ要ス」、ソレカラ其次ニハ「國及ヒ自治體其他ノ公ノ團體ノ締結又ハ保證セル過去及ビ將來ノ負債ヲ承認シ財産差押又ハ抑留ノタメ外國ノ利益ニ對シ生セシメタル損害ハ其ノ原狀ヲ恢復シ又ハ之カ賠償ノ義務ヲ承認スルコト」、ソレカラ「各國ハ他國ノ政治上ノ組織及ヒ秩序ヲ破壞スル如キ宣傳ヲ行ハサルコトヲ約スルコト、各國ハ其隣接國ニ對シ一切ノ侵略ヲナサザルコトヲ共同ニ約スルコト」斯ウ云フノガ「ゼノア」會議ニ參加スル必要條件ノ中ニ數ヘラレテ居リマス、ソレデ露國ハ此ノ會議ニ對シテ參加ノ同意ヲ表シテ居リマスカラシテ、是等ノ條件ハ彼ニ於テ承認スルモノト思ハレル、愈、誠實ニ之ヲ承認シ會議ニ參加シタ結果、露國ト各國トノ間ニ十分ナル協調ガ出來タ時ニハ、私ハ事實上露國政府ヲ承認スルコトニナルデアラウト思フ、ケレドモハ兎モ角會議ノ結果ニ俟タスケレバ分ラナイ話デアリマスカラシテ、今日ソレガドウナ

ルデアラウト云フコトハ申上ゲ兼ネル、併シ兎モ角モ露國ニ於テモ漸次其態度ヲ改メツツアル今日ノ有様デアリマスカラ、出來得ベクンバドウカ此「ゼノア」會議ヲ機會トシテ十分協調ガ出來テ、露國ガ各國ト交際シ得ル國情ニ復ラムコトヲ切望シテ居ル次第デアリマス

○江木翼君 私ハ必シモ帝國政府ガ「レニン」ノ政府ガ此主義政策ヲ改メ、極メテ穩健ナル主義ニ依テ其政府ヲ保ツト云フコトニナリマシタ場合ニ於テ、之ヲ承認セラルルト云フコトニ於テ無論異議ヲ挿ムモノデアリマセヌ、先ヅ第一此帝國ガ露國ニ對シテ有シテ居ル所ノ債權、是ハ承認スルト云フコトガ、略、條件ニナツテ居ルモノノ如ク見エルノデアリマスカラ、是ハ議論ハナイ點デアラウト思フノデアリマス、併ナガラ若シ出來得ベクムバ政府ヲ承認スル前ニ日本ノ權利ヲ保全スル方法トシテ、新ニ出來ル所ノ承認セラルル所ノ政府ニ於テ、日本ノ權利ヲバ確認スルト云フガ如キ條件ト云フモノガ、或ハ目下アリハシナイカト思フノデアリマス、例ヘバ漁業問題デアルトカ、或ハ「ニコライエウスク」ノ問題デアルトカ、其他幾多ノ問題ガアリハシナイカト思フノデアリマスガ、斯ノ如キ帝國ノ權利ヲ保全スル方法ヲバ、此「ゼノア」會議ニ於テ帝國政府ヨリ提出シテ、之ヲ確認セシムル方法ヲ執ラルルノデアリマセウカ、如何デアリマセウカ、其點ヲ念ノ爲ニ承ッテ置キマス

〔國務大臣伯爵内田康哉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(伯爵内田康哉君) 唯今御質問ノ條項ノ如キハ、政府ニ於テ慎重ニ考慮ヲシテ居リマス、併シ之ヲ果シテ「ゼノア」會議ニ出シテ討議スルカ、ドウデアアルカト云フコトハ、今日ニ於テハ申上ゲ兼ネル、各國ト共同ニ會議ヲ開ク話デアリマスカラ、之ニ一國ノ特殊ノ問題ヲ提議シテ、會議ニ出スコトヲ不便トスル場合モアルカモ知レヌ、ケレドモ機會ガアレバ之ヲ出スコトヲ決シテ否マヌ、愈、露西亞政府ヲ承認スルト云フ場合ニナリマスレバ、更ニ唯今御質問ノ條項ノコトニ付テハ、更ニ一段ノ考慮ヲ拂ハナケレバナラヌコトト思ヒマス、兎モ角モ「ゼノア」會議ノ經過如何ニ依テ、此邊ノ態度ヲ決スルノ外ナイト思ヒマス、今日ニ於テ斯クスルト云フコトハ申上ゲ兼ネマス

○江木翼君 次ニ承リタイト思ヒマス點ハ、「カンヌ」會議ニ於テ態度ガ決定ニナツテ居ルカノ如ク見エマス所ノ國際産業會社、此ノ國際産業會社ト云フモノヲ造ッテ、之ニ依テ歐羅巴ノ經濟財政ノ復興ヲ圖ラウト云フコトハ、可

ナリ重要ナル題目トナッテ居ルモノノ如ク見エルノデアリマシテ、是ハ恐ラクハ「ゼノア」會議ニ於テモ頗ル重要ナル題目デアラウト思フノデアリマスガ、又斯ノ如キ大ナル産業會社ト云フモノニ依テ、産業ノ復興ニ資スルト云フコトハ、頗ル大ナルモノガアルデアラウト云フコトヲ、私ハ認メマスル所ノ一人デゴザイマスルガ、斯ノ如キ會社ガ假ニ出來ルト云フ場合ニハデス、帝國ハ何等カノ犠牲ヲ拂ハナケレバナラス、即チ或ハ出資ヲスルトカ、或ハ無利息ノ貸付ヲスルトカ云フガ如キ、一種ノ犠牲ヲ拂ハナケレバナラスト云フコトニハナラスノデアリマセウカ、如何デゴザイマセウカ、此點ヲ承ッテ置キタイ

〔國務大臣伯爵內田康哉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(伯爵內田康哉君) 歐洲復興國際會社ト云フヤウナ名前ヲ附ケテモ宜シイヤウナ會社ヲ拵ヘルト云フコトハ、「カンヌ」會議デ話ガ上リマシテ、尤モ此會社ノコトニ付キマシテハ、未ダ何等確定的ニ規定ノ決ッタコトハナイ、「カンヌ」會議ニ於テ斯ウ云フ會社ヲ……國際會社ヲ起ス、又同時ニ各國ニ其子分トモ申スベキ各國内ニ會社ヲ起スト云フコトニナッテ居リマス、ソレデ兎モ角モ英佛伊白ヨリ委員ヲ出シテ、此會社ノ準備相談ヲセシムル、日本モ參加ヲシテ吳レト云フコトデアリマスカラ、其準備事務ニ參加スルコトニ只今シテ居リマス、尙ホソレ等ノ費用ノ爲ニ確カ一萬磅ト思ヒマス、日本ノ割前トシテ支出ヲ願ヒタイト云フコトデアリマスカラシテ、之ニモ同意ヲ表シテ居ル成行キニナッテ居リマス、只今御質問ノ日本ガ之ニ對シテ幾許ノ犠牲ヲ拂ハナクテハナラスヤウナコトハナイカト云フ御質問デアリマシタガ、是ハ私ハサウ思ッテ居リマセヌ、結局歐洲復興國際會社ニ對シマシテハ、日本ト致シマシテハ、其利害ガ甚ダ薄イ、恐ラク我ガ資本家ニ於テモ之ニ參加スルコトヲ希望スル者ガナイノデハナイカ知ラスト思ッテ居リマス、サウ云フ場合ニ於キマシテハ日本ハ此會社ニ投資ヲシテ參加スルコトハ、或ハ辭退シナクテハナラスコトニナリハシナイカト思ウテ居リマス、無理ニ、強制的ニ參加シテ投資ヲシナクテハナラスト云フヤウナ話合ニハ、是マデナッテ居リマセヌ

○江木翼君 大變明確ナ御答デゴザイマシテ、斯ル復興ノ爲ニスル所ノ會社ガ出來タガ爲ニ、日本ハ御義理合デ犠牲ヲ拂ハナケレバナラスト云フコトハ全然ナイト云フコトハ、其點ハ安心ヲスル次第デアリマス、次ニ最モ重要ナ

ル點ニ付テ承ッテ見タイト思フ事柄ハ、歐洲ノ復興ト云フコトニ付テ、先ヅ第一ニ最モ重要ナル要件トセラレマスル點ハ、先程モ私ハ述ベマシタ如ク、又外務大臣モ御同意ニナリマシタ如ク、亞米利加ノ債權ノ關係デアル、而シテ歐羅巴大陸諸國ノ大體ノ希望カラ申シマスレバ、亞米利加ノ百億ニ餘ル所ノ債權ヲバ棒引ニシテ貰ヒタイ、頗ル歐羅巴大陸ニハ都合ノ好イ話デアリマシタガ、此棒引ニシテ貰ヒタイト云フ熱烈ナル希望ガアルト云フコトハ一般ニ認メラレテ居ル所デアリマス、若シ假ニデス、亞米利加ガ「ゼノア」會議ニ參加スルト云フコトニナリマスレバ、必ズ此棒引論、若クハ暫クノ間其支拂ヲ猶豫シ利子ノ支拂ヲ猶豫スルト云フガ如キ、極メテ亞米利加ニハ都合ノ惡イ所ノ提議ガ出ルト云フコトモ、凡ソ想像ガ出來ルノデアリマス、茲ニ於テ私ハ御尋ヲシナケレバナラス點ハ、亞米利加ガ果シテ參加スル、若シ參加シナカッタ場合ニ於テハ歐羅巴ノ復興ト云フモノハ大部分不成功ニ終ルト思フノデアリマスガ、假ニ參加イタストシマスレバ、亞米利加政府ニ於テハ相當ノ覺悟ヲ以テ參加スルモノト見ナケレバナラスト思フノデアリマス、亞米利加ガ目下參加ヲ躊躇シテ居ル所以ノモノハ、非常ナ大犠牲ヲ拂ハナクチャナラス、此犠牲ヲ拂ッテモ他ニソレニ増シタル所ノ利益ヲ得ラレバ或ハ參加ヲ辭セナイカモ知レナイ、是等ノ點ヲ考慮シツツアル狀態デハナイカト思フノデアル、而シテ亞米利加ガ、此世界的政策ノ爲ニ、其傳統ヲ破ッテ歐羅巴ノ事柄ニ參加スル、而シテ其莫大ナル所ノ債權ヲ棒引スルカ、若クハ犠牲ヲ拂フト云フ考ヲ以テ參加シタ場合ハデス、日本モ亦戰爭中ニ多少ノ債權ヲ起シタノデアル、債權ヲ有ッタコトニナッタノデアリマスガ、同ジク矢張棒引ト云フ問題ガ起リハシナイカト思フ、戰爭中ニ起ッタ債權ヲ棒引ニスルト云フ議論ガ起ッタ場合ニ於テハ、亞米利加ハ棒引ヲスルトカ、若クハ多少ノ犠牲ヲ拂フト云フ場合ニ於テハ、日本ハソレハ違フノデアル、出來マセヌ、露西亞ニ幾ラノ金ガ貸シタル、棒引シテ貰ヒタイ、亞米利加ガ棒引シタ、日本ハイケマセヌ、斯ウ云フ事ヲハキリ拒絕セラルル趣意デアリマスルカ、或ハソレトモ亞米利加ノ出様ニ依テハ、帝國モ多少ノ犠牲ヲ拂フ、斯ウ云フ御覺悟ガアルノデアリマスカ、ソレ等ノ點ヲ承ッテ置キタイ

〔國務大臣伯爵內田康哉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(伯爵內田康哉君) 只今ノ御質問ハ私ニ於テハ何等御答ヲスル必要ヲ認メマセヌ、亞米利加ノ態度ハ亞米利加ニ關係スルコトデアリマシテ、

日本ノ債權ヲ棒引スルトカセナイトカ云フコトヲ、今日此席ニ於テ私ハ何等言明スルコトハ出來マセヌ、

○江木翼君 明言スルコトハ出來ナイト仰シヤルノニ、私ハ強ヒテ御追求イタス次第デハアリマセヌガ、斯ノ如キ會議ガ起リマシテ、サウシテ謂ハバ非常ニ困窮シテ居ル者バカリガ集ッテ會議ヲスル、而シテ之ニ對シテ困窮シナイ方ノ側ハ何處デアルカト申シマスルト、亞米利加ト日本ダケデハナイカト思フ、而シテ救済ヲスル、歐羅巴ノ復興ノ爲ニ何カスル、謂ハバ或犠牲ヲ拂ハナケレバナラス、斯ウ云フ結論ニ當然來ルヤウニ思フノデアリマスガ、其覺悟ナクシテ此會議ニ參加スルト云フコトハ、私ハ之ヲ拒絕スルト云フ御覺悟デアレバ無論ソレデモ分ル、或ハ斯ノ如キ犠牲ハ辭セナイト云フ御覺悟デアレバ、ソレデモ宜イノデアリマスガ、兎ニ角此重大ナル事柄ハ起ルデアラウ、必シモ對岸ノ火災トバカリ見ラレナイノデ、日本自身現ニ債權モ有ッテ居レバ、現ニ露西亞ニ對シテ權利ヲ有ッテ居ルノデアル、ト云フ以上ハ、之ニ對シテ必ズ或ル提議ガアッタ場合ニ於テ、相當ノ覺悟ヲ持ッテ居ラナケレバ、參加ノ際ニ其覺悟ヲ極メナケレバナラスト思ヒマスガ、左様ナ場合ハ御認メニナラス、斯ウ云フ御趣意デアリマスガ、唯明言セヨト言ッテモ將來ドウ云フコトニナルカト云フコトヲ豫メ御言明ナサイト云フノデアリマセヌ、參加ニ至ル所ノ動機ヲ承ハリタイノデアリマス

〔國務大臣伯爵内田康哉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(伯爵内田康哉君) 只今江木君ノ再ビ御質問ノ點ハ頗ル私ハ御無理ナル御質問ダと思フ、將來ノ事ニ關ル事柄ヲ、茲ニ於テ斯ウ云フ決心ヲ持ッテ臨ムト云フコトハ甚ダ不得策ナコトデアラウト思フ、言明ヲ致スコトハ、無論政府ト致シマシテハ我國、我が國民ノ權利ニ對シマシテハ、十分ナル注意ヲ拂ッテ、凡テノ會議ニ參加シツツアル次第デアリマスカラ、我が權利ノアル所ハ十分ニ保護ヲ致シタイ、國際上必要ナ場合ニ於テハ相當ノ犠牲モ拂フコトモアルカモ知レヌ、併シ是等ノ事ヲ只今茲ニ於テ斯ノ如キ決心ヲ有ッテ臨ムト云フヤウナコトハ言明ハ出來マセヌ

○江木翼君 此上御尋スル事ハナイノデアリマスガ、大體ニ於キマシテ、何ダカ歐羅巴ノ會議ニ於テ外ノ國ガ參加スルカラ漫然トシテフラフラト參加セラルル、隨分帝國ニ重要ナル結果ヲ持チ來スガ如キ性質ノ會議デハナイカト思フノニ際シテ、亞米利加ノ如ク極メテ慎重ニ審議スルコトナクシテ御參加

ニナツタト云フコトハ、唯、御多分ニ洩レナイト云フ如キ漫然タル外交方針ニ依ルモノデハナイカト云フ疑ヲ深クスル次第デアリマシテ、御答ニ付テ必シモ満足スル次第デゴザイマセヌガ、又細カイコトハ他日ニ譲リマシテ是デ質問ハ打切りマス

○議長(公爵德川家達君) 是ニテ通告ハゴザイマセヌ

○子爵前田利定君 議事日程ノ第一、大正十年度ノ總豫算追加案ノ審査期限ニ付キマシテハ、別ニ審査期限ヲ定メズ、審査結了次第報告スルコトニ致シタイト存ジマス、右動議ヲ提出イタシマス

○江木千之君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 前田子爵ノ發言ノ通りデ御異存ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第二第三ハ御異議ガナケレバ一括シテ問題ト致シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 日程第二、酒造稅法中改正法律案、第三、織物省費稅法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

酒造稅法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十一年二月十六日

衆議院議長 奥 繁三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

酒造稅法中改正法律案

酒造稅法中左ノ通改正ス

第八條中「百分ノ五」ヲ「百分ノ七」ニ、「百分ノ二」ヲ「百分ノ三」ニ、「百分ノ一」ヲ「百分ノ二」ニ改ム

附則

本法ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

織物消費稅法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正十一年二月十六日

衆議院議長 奥 繁三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

織物消費税法中改正法律案

織物消費税法中左ノ通改正ス

第二十二條第二項ヲ左ノ如ク改ム

前項ノ組合ニ對シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ交付金ヲ交付スルコトヲ得

附 則

本法ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣子爵高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵高橋是清君) 現行酒造税法ニ於キマシテハ、酒類ノ課税、石數ハ其酒類ノ精製サレタル時、之ヲ査定イタシマシテ、其上ニ清酒ニアリマシテハ査定石數ノ百分ノ五以内、味噌ニアリマシテハ査定石數ノ百分ノ二以内、焼酎ニアリマシテハ査定石數ノ百分ノ一以内ノ滓引減量又ハ貯藏減量ヲ控除スルコトヲ得ルノ規定トナツテ居リマスルガ、今回實地ニ付テ調査ヲ致シタル結果ニ依リマスルト、清酒ハ査定石數ノ百分ノ七、味噌ハ査定石數ノ百分ノ三、焼酎ハ査定石數ノ百分ノ二ノ控除ヲナスコトガ至當デアルト云フコトガ判明イタシマシタ、ソレデ今回其改正ニ付キマシテ本案ヲ提出イタル次第デアリマス、又現行織物消費税法ニ依リマスルト、政府ガ織物組合ニ對シテ徵稅上必要ナル設備、又ハ徵收事務ニ付テノ補助ヲナスコトヲ命ジマシタ場合ニ於キマシテハ、其組合ガ取扱ヒマシタル織物課稅課額ノ千分ノ一以内ノ交付金ヲ與フルコトニナツテ居リマスル、而シテ近年諸物價昂騰ヲ致シタル爲ニ、此各組合徵稅事務ノ補助ノ爲ニ要シマスル經費ノ増加イタシタル事實モアリマス、ソレデ此際交付金額ヲ増加イタシテ、且又交付金ヲ成ベク各組合ニ於ケル事務ノ補助ヲ致ス分量ニ應ジマシテ、公平適實ニ其交付ヲナスコトノ必要アリト認メマシタ、是ガ爲ニ現行税法ヲ改正イタシテ、交付金ノ算出標準ニ關シマスル規定ヲ命令ニ委任イタシテ、以テ機宜ノ規定ヲナサムトスル必要ガアルノデアリマス、依テ本案ヲ提出イタシタル次第デアリマス、御審議ノ上速ニ御協賛アラムコトヲ望ミマス

〔若槻禮次郎君「チヨット質問ヲ致シタイ」ト述フ〕

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○若槻禮次郎君 此酒造税法ノ改正案ハ四月一日カラ行フト云フコトニナツテ居リマスガ、四月一日カラ以後ニ課稅セラルルノハ、皆是デ適用ヲ受ケルノデアリマスガ、或ハ四月一日以後ニ造タモノニ付テノミ、此適用ヲ受ケルノデアリマスガ、本案ノ通りデアルト、製造ハ四月一日以前デモ課稅スル時ガ其時デアルト、其適用ヲ受ケルヤウニ思フノデアリマスガ、其通りデアルヤ否ヤ、竝ニ此減稅イタシマスル金額ハ、豫算ニ見積ッテアリマスヤ否ヤ、是ガ質問ノ第一點、ソレカラ織物消費税法ニ付テハ、今御述ニナツタヤウナコトヲ法文ニ御書キニナレバ相當ノヤウニ思ヒマスガ、勅令ニ讓ラナケレバナラスト云フノハ、ドウ云フ譯デアリマスガ

〔政府委員松本重威君演壇ニ登ル〕

○政府委員(松本重威君) 只今ノ御質問ニ御答イタシマス、酒造税法ハ四月一日ヨリ施行スルコトニナツテ居リマスノデ、四月一日以後ノ査定ニ係ルモノヨリ改正法案ヲ適用スル積リデアリマス、而シテ此改正ニ依リマシテ、稅額ノ減リマス分ハ、大正十一年度ノ豫算ニアリマシテハ、約十四萬八千圓バカリデアリマス、是ハ相當豫算ニ見積ッテアリマス、ソレカラ織物消費稅ノ改正デゴザイマスガ、命令ニ讓ラウト思ヒマス所ノ規定ヲ、法律ニ書ケバ書ケナイコトハゴザイマセスケレドモ、此度改正イタシマセウト思ッテ居リマス所ノ條項ハ、標準ヲ二ツ三ツニスル積リデアリマス、隨テ其規定ガ多少複雑ニナリマスノデ、法文ノ形式トシマシテモ、命令ニ讓ッタ方ガ宜カラウト思ヒマスルシ、又今一ツニハ今回課稅課額バカリデナク、其他ノ標準ニ依リマシテ、交付金ヲ算出シヤウト思ヒマスルガ、ソレガ實行イタシマシテ必シモ永久ニ適切ノモノデナイモノガアルカモ知レマセス、此場合ニ於テ必要ヲ認メマスレバ臨時ニ行政命令デ變更スルコトノ便宜ヲ得マスル爲ニハ、法律デナイ方ガ宜カラウト、斯ウ思ヒマシテ、此規定ハ命令ニ讓ルト云フコトニ致シタル次第デアリマス

○議長(公爵德川家達君) 他ニ御質問モナイト認メマスカラ、特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀致サセマス

〔長書記官朗讀〕

酒造税法中改正法律案外一件特別委員

侯爵細川 護立君 子爵西尾 忠方君 荒井 賢太郎君

男爵小畑 大太郎君 男爵東郷 安君 和田 豊治君
八木 久兵衛君 石橋 謹二君 西川 甚五郎君

○議長(公爵徳川家達君) 日程第四、國有財産整理資金特別會計法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

國有財産整理資金特別會計法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十一年二月十六日

衆議院議長 奥 繁三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

國有財産整理資金特別會計法案

國有財産整理資金特別會計法案

第一條 國有財産整理資金ヲ置キ其ノ歳入歳出ハ一般ノ會計ト區分シ特別會計ヲ設置ス

第二條 國有財産整理資金ハ國有財産ノ整理處分ニ因ル收入及附屬雜收入ヲ以テ之ニ充ツ但シ其ノ收入ニシテ他ノ特別會計ノ歳入ニ屬スルモノ及國有林野又ハ北海道國有未開地ノ處分ニ因ルモノニ付テハ此ノ限りニ在ラス

第三條 國有財産整理資金ハ國有財産ノ整理ニ關シ必要ナル事務費、營繕費其ノ他ノ諸費ニ之ヲ使用ス

第四條 國有財産整理資金ヲ使用セムトスルトキハ其ノ金額ヲ一般ノ歳入ニ組入レ一般ノ歳出トシテ拂出スヘシ

第五條 國有財産整理資金ニ餘裕アルトキハ之ヲ大藏省預金部ニ預入ルヘシ

第六條 一般ノ歳計上必要アル場合ニ於テハ豫算ノ定ムル所ニ依リ國有財産整理資金ヲ第三條ニ規定スル費途以外ノ營繕費ニ使用スルコトヲ得

第七條 政府ハ毎年國有財産整理資金ノ歳入歳出豫算ヲ調製シ歳入歳出ノ總豫算ト俱ニ帝國議會ニ提出スヘシ

第八條 國有財産整理資金ニシテ毎年度内ニ使用セサルモノハ之ヲ翌年度ニ繰越スヘシ

第九條 國有財産整理資金ノ毎年度歳出豫算ニ於ケル支出殘額ハ之ヲ翌年

度ニ繰越シ使用スルコトヲ得

附則

本法ハ大正十一年度ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣子爵高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵高橋是清君) 本法案ニ付テ説明ヲ致シマス、國有財産ノ整理處分ニ依リマシテ生ズル所ノ收入ハ、其性質ニ鑑ミマシテ、隨時之ヲ一般政費ニ費消スルコトノ妥當ナラザルノミナラズ、國有財産ノ整理ノ爲ニハ、必然的ニ先ヅ移轉費、改築費等ノ營繕費ヲ支出セネバナラヌノガ多數アルノデアリマス、是等ノモノニ付テ其整理ノ圓滑ヲ期スル爲ニハ、是ガ經費ノ支出ニ付テ成ベク一般會計ニ累ラ及ボサズシテ其遂行ヲ圖ルノ必要ガアルノデアリマス、是等ノ理由ニ依リマシテ、國有財産ノ整理處分ニ依リマスル收入ハ、之ヲ其整理ニ關シテ必要ナル事務費、營繕費等ニ充用スルト同時ニ、原則トシテ之ヲ他ノ經費ニ費消セザル趣旨ヲ以テ、是ガ爲ニ特別會計ヲ設置スルコトヲ至當ト致シマス、之ニ付テハ既ニ官有財産調査會ノ決議ノ次第モアリマスコトデ、政府ニ於キマシテモ之ヲ相當ト認メマシテ、本案ヲ提出イタシマシタル次第デゴザイマス、御審議ノ上御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御質疑モナイヤウデゴザイマスカラ、特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

國有財産整理資金特別會計法案特別委員

伯爵柳澤 保惠君 子爵八條 隆正君 大山 綱昌君

男爵目賀田種太郎君 男爵郷 誠之助君 男爵池田 長康君

仁尾 惟茂君 星島 謹一郎君 二階堂三郎左衛門君

○議長(公爵徳川家達君) 日程第五、六大都市行政監督ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

六大都市行政監督ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正十一年二月十八日

衆議院議長 奥 繁三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

六大都市行政監督ニ關スル法律案

市ノ公共事務及法律ノ定ムル所ニ依リ市又ハ市長ニ屬スル國ノ事務ニ關シ府縣知事ノ許可又ハ認可ヲ要スル事件ニ付テハ東京市、京都市、大阪市、横濱市、神戸市及名古屋市ニ限り勅令ノ定ムル所ニ依リ其許可又ハ認可ヲ受ケシメサルコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣床次竹二郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(床次竹二郎君) 本案六大都市ト申シマスルハ、東京、京都、大阪、横濱、神戸、名古屋デゴサイマスガ、是等ノ六大都市ハ其箇々經濟ノ力ニ於テ、又事務處理ノ能力ノ上カラ申シマシテモ、他ノ都市ト同一ニ論ズルコトノ出來ナイノハ申上グルマデモゴザイマセヌ、是等ヲ總テ劃一的ニ取扱ヒマスルコトハ、却テ其實情ニ適セナイカト思ヒマス、ソレ故ニ市ノ公共事務ハ勿論ノコト、國ノ委任事務ニ付キマシテ勅令ノ定ムル所ニ依リマシテ、府縣知事ノ認可ナリ、若クハ許可ナリヲ省略スル途ヲ開キタイト考ヘルノデアリマス、ドウカ御協賛ヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 阪本鈇之助君

○阪本鈇之助君 餘リ長クゴザイマセヌカラ、此席ヨリ申上ゲタイト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 大キナ御聲デ願ヒタイデス

○阪本鈇之助君 此法律案ヲ御提出ニナリマシタニ依テ考ヘマスト、豫テ我ガ希望イタシテ居リマスル所謂都市法ト申シマスルカ、或ハ特別市制ト申シマスルカ、東京市デ先ヅ第一番ニ實行セムトスル所ノ改正市制ハ、容易ニ御實行ニナラヌ御意思デアルカト云フコトヲ想像サレマシテ、甚ダ遺憾ニ存ジマスルデアリマス、政府ハ何ガ故何時迄モ斯様な變態ナ制度ヲ御保持ニナルカト云フコトヲ、我々ハ甚ダ訝シク存ズルデアリマス、度々繰返スコトデアリマスルガ、知事ガ市部府會ト云フ畸形ノ即チ不具ナル機關ヲ有ッテ居リマシテ、市長ノ致スト同ジ仕事ヲ知事モ致シテ居ルト云フコトハ、誠ニ間違ヒデアルデアリマス、唯制度ノ沿革ノ一角トシテ一時行ハレタ制度デアリマシテ、長ク是ハ行ハレル筈ノモノデナイト我々ハ深ク信ズルニ拘ラズ、歴代ノ内閣ハ何故ニ市部府會ト云フモノヲ廢スルコトニ躊躇セラレ、尙

今日モ斯ノ如ク唯今内務大臣ノ御説明ニモアリマシタ通り、六大都市ハ規模モ大デアリ、經濟ノ力モ強イ、他ノ都市ト同一ニ視ルベキモノデナイト、便宜ヲ與ヘベキモノデアルトマデ、既ニ御認メニナッテ居ルニ拘ラズ、斯ノ如ク僅ニ事務的ノ知事ノ許可ヲ受ケルトカ、受ケナイトカ云フ位ダケノ御改正ヲ先ヅ今日行ハレ、根本問題タル所ノ知事ノ手ニ屬スル市部府會ヲ廢シテ、市自體ニ全然(聽取シ難シ)ト云フコトニマデ何故ニ御進ミニナラヌカト云フコトニ付テノ御考ヲ承ッテ見タイ、我々市民ハ上ニ府知事ト市部府會ト云フ機關ヲ備ヘマシテ、我々ノ負擔ニ屬スル經費ヲ以テ、市長ガ致シテ差支ナイ仕事ヲ致シテ居ルデアリマス、而シテ市長ナルモノガ一ツノ大キナ自治團體ヲ有ッテ居ッテ、大キナ仕事ヲシテ居ル、尙東京市ノ如キハ區長ト云フモノガアリマシテ、區長ハ純然タル所ノ市長ノ任命シタ役人デアリマスガ、之ニ區會ガ付イテ居リマス、之ニハ小學校ノ費用又區費ナルモノヲ賦課シテ居ルデアリマス、我々市民ハ、東京市ニ住シテ居ル者ハ、府知事モ市ニ屬スル費用ヲ……府ニ屬スルモノデアリマセヌ、市ニ屬スル費用ヲ賦課シテ居ル、而シテ市長ハ勿論市費ヲ取ル、而シテ區長ハ我區ニ屬スル所ノ費用ヲ賦課シテ居ッテ、我々ハ同ジ市ト云フ自治體ノ負擔ニ付テ三重ニ、即チ三人ノ人カラ賦課セラレテ居ル、是ハ誠ニ明カナルコトデアリマシテ、一人ノ仕事ヲ三人デアルノハ重複シテ經濟ニナラヌト云フコトハ論ヲ俟タヌデアアル、故ニ是ハ早ク知事ノ市部府會ナルモノヲ廢シテ、市長ノ全權ニ移シテ、又區デ致シテ居ル小學校ノ教育費等ナドハ市ニ統一シテ、市長ガ之ヲ管理シテ、仕事ノ上ニ於テ分離スルコトハ差支ナイガ、經濟ハ市長ガ統一シテ、東京市ニ屬スル知事ノ仕事ハ市長ガ總攬シテ、一本ノ經濟デアルト云フコトハ、頗ル便利デアリ、又適當デアルト信ジテ居リマスノニ、何故カ政府ハ此コトニ付テ躊躇セラレ、尙今期議會ニ於テモ其案ヲ御出シニナラヌ御意思デアルト云フコトニ付テハ、如何ナモノデアルカ、此點ニ付テハ將ニ開カレムトスル平和博覽會ノ如キハ、我々市民ノ負擔ニ依テ出來テ居ルモノデアリマス、是ハ立派ナ市長ガシテ然ルベキ仕事デアルノニ、何ガ故ニ斯様な仕事ヲ府知事ナル忙ガシイ政府ノ官吏ガ、片手間仕事デ此平和博覽會ノ仕事ヲスルノカ、又社會事業デモ公設市場デアルトカ、其他社會的ノ方面ニ行フ所ノ仕事ヲ、公設市場ヤ職業紹介所ヲ市デモ府デモ造ッテ、マルデ知事ト市長ガ競争シテ其仕事ヲ致シテ居ル、競争ト云フコトハ或ハ仕事ガ宜クナルト云フコトガアルカモ知レ

マセヌガ、何モ斯様ナコトヲ競争シテヤツテ居ル必要ハナイ、ドチラカ一方デヤツテ宜イノデアリマス、若シモ市長ト云フモノガ相變ラズ不安心ナモノデアル、市會ト云フモノハ不都合ナモノデアルト云フ疑問ガアルナラ、市長モ廢メ、市會モ廢メテ、昔アッタヤウニ府知事ガ市ノ仕事ヲ兼ネテヤルト云フコトニシテモ宜イ、兎ニ角ドチラカ一方ニ統一スルノガ宜イト思フニ拘ラズ、相變ラズ繼續シテ居ラレルノハドウ云フ譯デアリマス、我々市民ヲシテ三重ノ負擔ヲサセテ、頗ル不便ヲ感ジテ居ルコトハ、政府當局ハ如何ニ御覽ニナツテ居ルカト云フコトニ付テ此場合御説明ヲ願ヒタイト存ジマス

〔國務大臣床次竹二郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(床次竹二郎君) 御答シマスガ、唯今御話ノヤウナ事情ノアリマスルコトハ、私モ御同感デゴザイマス、併ナガラ之ヲ解決イタシマスルニハ、到底府ト市トハ引離サズムバ徹底ノ出來ナカラウカト思ヒマス、今日ノ如ク府ナル自治團體ノ下ニ其一部ヲ市ガ爲シテ居ルト云フコトデハ、御話ノ通りノ所マデハ運ブ譯ニ行クマイト思ヒマス、然レ今日東京市ヲ全ク府ヨリ引離シテ仕舞ヒマスレバ、玆ニ殘ル所ノ府ノ所謂郡部ヲ如何ニ處置ラスルカト云フヤウナコトニ付テハ、隨分慎重ナ考慮ヲ要スルコトト思ヒマス、デ私ハ今日一ツノ草案ハ得テ居リマスケレドモ、直チニ之ヲ實行スルノニ付テ未ダ十分ナル確信ヲ有チマセヌ、ソレ故ニ遺憾ナガラ本年ノ議會ニ提出スル運ビニハ參リマセヌ、デ此只今提案ニナツテ居リマスル所ノ法案ハソレカラ比較イタシマスレバ、マア極メテ姑息ト申セバ姑息デアリマス、併ナガラ此程度ニ於テ權限ヲ委任イタシマスルコトハ極メテ機宜ノコトデアツテ其爲ニドコカニ弊ガ起ラウカト云フヤウナ考モ有チマセヌ、兎モ角斯様ナコトヲ致シテ之デモ一ツノ改良デアルト是ダケハ信ジ得ル爲提出イタシタ次第デアリマス、去ナガラ此案ヲ提出イタシタガ爲ニ、將來特別市制案ハ提出セザル考デアルカト云フ御尋デアレバ、左様ニハ考ヘテ居リマセヌ、今モ申上ゲル通り一ツノ草案ハ得テ居リマスルガ、未ダ確信ヲ有スルニ至ラヌ爲ニ、提出イタサヌ次第デアリマス

○阪本鈺之助君 御答デ内務大臣ノ御考ハ略、分リマシタガ、勿論本員モ府ヲ此儘ニ形ヲ存シテ置イテ、サウシテ市部府會ヲ御廢シナサイト云フノデハアリマセヌ、無論東京府ナルモノハ如何ニカ處分センナラヌト云フコトヲ考ヘタノデアリマスガ、即チ此問題ハ昨今ニ起ッタ問題デハナイノデアリマス、最

早十何年以前ト申シマスルカ、殆ド二十年ノ懸案デアリマシテ、都制法案ト云フモノガ出タコトモアリマシタガ、ソレハ何カ議院ノ方デ色々……貴族院デハ市長ヲ官選ニスルガ宜イトカ、衆議院ノ方デハ民選ノ市長ガ宜イトカ云フコトノ爭ヒカラ遂ニソレガ潰レマシタ、ソレ以來出來テ居ル問題デアル、サウ何時マデモ御考慮セラレルト云フコトハ、甚ダ不思議ニ堪ヘマセヌケレドモ、御考ニナリマセヌト仰ッシャレバ、此以上申上ゲヤウモアリマセヌガ、大抵ノ所デ御考ヲ御決メナサレテ御ヤリ下サルコトヲ切望スルノデアリマス、此場合ハ此以上申上ゲル必要ガアリマセヌカラ、更ニ他ノ機會ニ於テ申上ゲルコトニ致シマス、是非一ツは誠ニ小サイコトノヤウデアアリマスルガ、帝國ノ首府タル東京市ノ上カラ見マスルト、甚ダ大問題デアルノデアリマスカラ、單ニ内務大臣バカリデナク、即チ大政ヲ變理セラレル總理大臣モ能ク御考ニナリマシテ、十分ニ此事ヲ實施セラレムコトヲ希望シテ止ミマセヌ、是ハ希望ダケニ止メテ……本員ハ此第八ノ場合ニモ相當ノ場合ニ質疑ヲ願ッテ置キマシタガ、之ニハ文部大臣ノ意見ヲモ伺ヒタイコトト思ヒマスノデスガ……

○議長(公卿徳川家達君) ソレハドウゾ其時ノ議事日程ニ這入ッテカラ願ヒタイト存ジマス

○阪本鈺之助君 其時デハドウデスカ……

○議長(公卿徳川家達君) 其時デモ間ニ合ヒマス……間ニ合ヒマスカラドウゾサウ願ヒマス……他ニ御質疑モナイト認メマスカラ、本案ノ特別委員ノ氏名ヲ、書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔瀨古書記官朗讀〕

六大都市行政監督ニ關スル法律案特別委員

伯爵濟棲	家教君	子爵吉田	清風君	小牧	昌業君
男爵阪谷	芳郎君	男爵南岩倉	具威君	笠井	信一君
小山	健三君	永田	秀次郎君	大谷	嘉兵衛君

○議長(公卿徳川家達君) 諸君ニ於テ御異議ゴザイマセヌケレバ日程第六、第七ハ一括シテ問題ト致シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公卿徳川家達君) 日程第六、少年法案、第七、矯正院法案、政府提

出、衆議院送付、第一讀會

少年法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十一年二月十八日

衆議院議長 奧 繁三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

少年法案

少年法

第一章 通則

第一條 本法ニ於テ少年ト稱スルハ十八歳ニ滿タサル者ヲ謂フ

第二條 少年ノ刑事處分ニ關スル事項ハ本法ニ定ムルモノノ外一般ノ例ニ依ル

第三條 本法ハ第七條、第八條、第十條乃至第十四條ノ規定ヲ除クノ外陸軍刑法第八條、第九條及海軍刑法第八條、第九條ニ掲ケタル者ニ之ヲ適用セス

第二章 保護處分

第四條 刑罰法令ニ觸ルル行爲ヲ爲シ又ハ刑罰法令ニ觸ルル行爲ヲ爲ス虞アル少年ニ對シテハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一 訓誡ヲ加フルコト

二 學校長ノ訓誡ニ委スルコト

三 書面ヲ以テ改心ノ誓約ヲ爲サシムルコト

四 條件ヲ附シテ保護者ニ引渡スコト

五 寺院、教會、保護團體又ハ適當ナル者ニ委託スルコト

六 少年保護司ノ觀察ニ付スルコト

七 感化院ニ送致スルコト

八 矯正院ニ送致スルコト

九 病院ニ送致又ハ委託スルコト

前項各號ノ處分ハ、適宜併セテ之ヲ爲スコトヲ得

第五條 前條第一項第五號乃至第九號ノ處分ハ二十三歳ニ至ル迄其ノ執行ヲ繼續シ又ハ其ノ執行ノ繼續中何時ニテモ之ヲ取消シ若ハ變更スルコトヲ得

ヲ得

第六條 少年ニシテ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケ又ハ假出獄ヲ許サレタル者ハ猶豫又ハ假出獄ノ期間内少年保護司ノ觀察ニ付ス

前項ノ場合ニ於テ必要アルトキハ第四條第一項第四號、第五號、第七號乃至第九號ノ處分ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ第四條第一項第七號又ハ第八號ノ處分ヲ爲シタルトキハ其ノ執行ノ繼續中少年保護司ノ觀察ヲ停止ス

第三章 刑事處分

第七條 罪ヲ犯ス時十六歳ニ滿タサル者ニハ死刑及無期刑ヲ科セス死刑又ハ無期刑ヲ以テ處斷スヘキトキハ十年以上十五年以下ニ於テ懲役又ハ禁錮ヲ科ス

刑法第七十三條、第七十五條又ハ第二百條ノ罪ヲ犯シタル者ニハ前項ノ規定ヲ適用セス

第八條 少年ニ對シ長期三年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ヲ以テ處斷スヘキトキハ其ノ刑ノ範圍内ニ於テ短期ト長期トヲ定メ之ヲ言渡ス但シ短期五年ヲ超ユル刑ヲ以テ處斷スヘキトキハ短期ヲ五年ニ短縮ス

前項ノ規定ニ依リ言渡スヘキ刑ノ短期ハ五年長期ハ十年ヲ超ユルコトヲ得ス

刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ爲スヘキ場合ニハ前二項ノ規定ヲ適用セス

第九條 懲役又ハ禁錮ノ言渡ヲ受ケタル少年ニ對シテハ特ニ設ケタル監獄又ハ監獄内ノ特ニ分界ヲ設ケタル場所ニ於テ其ノ刑ヲ執行ス

本人十八歳ニ達シタル後ト雖モ二十三歳ニ至ル迄ハ前項ノ規定ニ依リ執行ヲ繼續スルコトヲ得

第十條 少年ニシテ懲役又ハ禁錮ノ言渡ヲ受ケタル者ニハ左ノ期間ヲ經過シタル後假出獄ヲ許スコトヲ得

一 無期刑ニ付テハ七年

二 第七條第一項ノ規定ニ依リ言渡シタル刑ニ付テハ三年

三 第八條第一項及第二項ノ規定ニ依リ言渡シタル刑ニ付テハ其ノ刑ノ短期ノ三分ノ一

第十一條 少年ニシテ無期刑ノ言渡ヲ受ケタル者假出獄ヲ許サレタル後其ノ處分ヲ取消サルルコトナクシテ十年ヲ經過シタルトキハ刑ノ執行終リ

タルモノトス

少年ニシテ第七條第一項又ハ第八條第一項及第二項ノ規定ニ依リ刑ノ言渡ヲ受ケタル者假出獄ヲ許サレタル後其ノ處分ヲ取消サルルコトナクシテ假出獄前ニ刑ノ執行ヲ爲シタルト同一ノ期間ヲ經過シタルトキ亦前項ニ同シ

第十二條 少年ノ假出獄ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十三條 少年ニ對シテハ勞役場留置ノ言渡ヲ爲サス

第十四條 少年ノ時犯シタル罪ニ因リ死刑又ハ無期刑ニ非サル刑ニ處セラレタル者ニシテ其ノ執行ヲ終ヘ又ハ執行免除ヲ受ケタルモノハ人ノ資格ニ關スル法令ノ適用ニ付テハ將來ニ向テ刑ノ言渡ヲ受ケサリシモノト看做ス

少年ノ時犯シタル罪ニ付刑ニ處セラレタル者ニシテ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケタルモノハ其ノ猶豫期間中刑ノ執行ヲ終ヘタルモノト看做シ前項ノ規定ヲ適用ス

前項ノ場合ニ於テ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ取消サレタルトキハ人ノ資格ニ關スル法令ノ適用ニ付テハ其ノ取消サレタル時刑ノ言渡アリタルモノト看做ス

第四章 少年審判所ノ組織

第十五條 少年ニ對シ保護處分ヲ爲ス爲少年審判所ヲ置ク

第十六條 少年審判所ノ設立、廢止及管轄ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十七條 少年審判所ハ司法大臣ノ監督ニ屬ス

司法大臣ハ控訴院長及地方裁判所長ニ少年審判所ノ監督ヲ命スルコトヲ得

第十八條 少年審判所ニ少年審判官、少年保護司及書記ヲ置ク

第十九條 少年審判官ハ單獨ニテ審判ヲ爲ス

第二十條 少年審判官ハ少年審判所ノ事務ヲ管理シ所部ノ職員ヲ監督ス

二人以上ノ少年審判官ヲ置キタル少年審判所ニ於テハ上席者前項ノ規定ニ依ル職務ヲ行フ

第二十一條 少年審判官ハ判事ヲシテ之ヲ兼ネシムルコトヲ得
判事タル資格ヲ有スル少年審判官ハ判事ヲ兼ヌルコトヲ得

第二十二條 少年審判官審判ノ公平ニ付嫌疑ヲ生スヘキ事由アリト思料スルトキハ職務ノ執行ヲ避クヘシ

第二十三條 少年保護司ハ少年審判官ヲ輔佐シテ審判ノ資料ヲ供シ觀察事務ヲ掌ル

少年保護司ハ少年ノ保護又ハ教育ニ經驗ヲ有スル者其ノ他適當ナル者ニ對シ司法大臣之ヲ囑託スルコトヲ得

第二十四條 書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ審判ニ關スル書類ノ調製ヲ掌リ庶務ニ従事ス

第二十五條 少年審判所及少年保護司ハ其ノ職務ヲ行フニ付公務所又ハ公務員ニ對シ囑託ヲ爲シ其ノ他必要ナル補助ヲ求ムルコトヲ得

第五章 少年審判所ノ手續

第二十六條 大審院ノ特別權限ニ屬スル罪ヲ犯シタル者ハ少年審判所ノ審判ニ付セス

第二十七條 左ニ記載シタル者ハ裁判所又ハ檢事ヨリ送致ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外少年審判所ノ審判ニ付セス

一 死刑、無期又ハ短期三年以上ノ懲役若ハ禁錮ニ該ルヘキ罪ヲ犯シタル者

二 十六歳以上ニシテ罪ヲ犯シタル者

第二十八條 刑事手續ニ依リ審理中ノ者ハ少年審判所ノ審判ニ付セス

十四歳ニ滿タサル者ハ地方長官ヨリ送致ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外少年審判所ノ審判ニ付セス

第二十九條 少年審判所ニ於テ保護處分ヲ爲スヘキ少年アルコトヲ認知シタル者ハ之ヲ少年審判所又ハ其ノ職員ニ通告スヘシ

第三十條 通告ヲ爲スニハ其ノ事由ヲ開示シ成ルヘク本人及其ノ保護者ノ氏名、住所、年齢、職業、性行等ヲ申立テ且參考ト爲ルヘキ資料ヲ差出スヘシ

通告ハ書面又ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得口頭ノ通告アリタル場合ニ於テハ少年審判所ノ職員其ノ申立ヲ錄取スヘシ

第三十一條 少年審判所審判ニ付スヘキ少年アリト思料シタルトキハ事件ノ關係及本人ノ性行、境遇、經歷、心身ノ狀況、教育ノ程度等ヲ調査スヘシ

心身ノ狀況ニ付テハ成ルヘク醫師ヲシテ診察ヲ爲サシムヘシ

第三十二條 少年審判所ハ少年保護司ニ命シテ必要ナル調査ヲ爲サシムヘシ

第三十三條 少年審判所ハ事實ノ取調ヲ保護者ニ命シ又ハ之ヲ保護團體ニ委託スルコトヲ得

保護者及保護團體ハ參考ト爲ルヘキ資料ヲ差出スコトヲ得

第三十四條 少年審判所ハ參考人ニ出頭ヲ命シ調査ノ爲必要ナル事實ノ供述又ハ鑑定ヲ爲サシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ供述又ハ鑑定ノ要領ヲ錄取スヘシ

第三十五條 參考人ハ命令ノ定ムル所ニ依リ費用ヲ請求スルコトヲ得

第三十六條 少年審判所ハ必要ニ依リ何時ニテモ少年保護司ヲシテ本人ヲ同行セシムルコトヲ得

第三十七條 少年審判所ハ事情ニ從ヒ本人ニ對シ假ニ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一 條件ヲ附シ又ハ附セスシテ保護者ニ預クルコト

二 寺院、教會、保護團體又ハ適當ナル者ニ委託スルコト

三 病院ニ委託スルコト

四 少年保護司ノ觀察ニ付スルコト

已ムコトヲ得サル場合ニ於テハ本人ヲ假ニ感化院又ハ矯正院ニ委託スルコトヲ得

第一項第一號乃至第三號ノ處分アリタルトキハ本人ヲ少年保護司ノ觀察ニ付ス

第三十八條 前條ノ處分ハ何時ニテモ之ヲ取消シ又ハ變更スルコトヲ得

第三十九條 前三條ノ場合ニ於テハ速ニ其ノ旨ヲ保護者ニ通知スヘシ

第四十條 少年審判所調査ノ結果ニ因リ審判ヲ開始スヘキモノト思料シタルトキハ審判期日ヲ定ムヘシ

第四十一條 審判ヲ開始セサル場合ニ於テハ第三十七條ノ處分ハ之ヲ取消スヘシ

第三十九條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十二條 少年審判所審判ヲ開始スル場合ニ於テ必要アルトキハ本人ノ爲附添人ヲ附スルコトヲ得

本人、保護者又ハ保護團體ハ少年審判所ノ許可ヲ受ケ附添人ヲ選任スルコトヲ得

附添人ハ辯護士保護事業ニ從事スル者又ハ少年審判所ノ許可ヲ受ケタル者ヲ以テ之ニ充ツヘシ

第四十三條 審判期日ニハ少年審判官及書記出席スヘシ

少年保護司ハ審判期日ニ出席スルコトヲ得

審判期日ニハ本人、保護者及附添人ヲ呼出スヘシ但シ實益ナシト認ムルトキハ保護者ハ之ヲ呼出ササルコトヲ得

第四十四條 少年保護司、保護者及附添人ハ審判ノ席ニ於テ意見ヲ陳述スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ本人ヲ退席セシムヘシ但シ相當ノ事由アルトキハ本人ヲ在席セシムルコトヲ得

第四十五條 審判ハ之ヲ公行セス但シ少年審判所ハ本人ノ親族、保護事業ニ從事スル者其ノ他相當ト認ムル者ニ在席ヲ許スコトヲ得

第四十六條 少年審判審理ヲ終ヘタルトキハ第四十七條乃至第五十四條ノ規定ニ依リ終結處分ヲ爲スヘシ

第四十七條 刑事訴訟ノ必要アリト認メタルトキハ事件ヲ管轄裁判所ノ檢事ニ送致スヘシ

裁判所又ハ檢事ヨリ送致ヲ受ケタル事件ニ付新ナル事實ノ發見ニ因リ刑事訴訟ノ必要アリト認メタルトキハ管轄裁判所ノ檢事ノ意見ヲ聽キ前項ノ手續ヲ爲スヘシ

前二項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ本人及保護者ニ通知スヘシ

檢事ハ第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ送致ヲ受ケタル事件ニ付爲シタル處分ヲ少年審判所ニ通知スヘシ

第四十八條 訓誡ヲ加フヘキモノト認メタルトキハ本人ニ對シ其ノ非行ヲ指摘シ將來遵守スヘキ事項ヲ諭告スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ成ヘク保護者及附添人ヲシテ立會ハシムヘシ

第四十九條 學校長ノ訓誡ニ委スヘキモノト認メタルトキハ學校長ニ對シ必要ナル事項ヲ指示シ本人ニ訓誡ヲ加フヘキ旨ヲ告知スヘシ

第五十條 改心ノ誓約ヲ爲サシムヘキモノト認メタルトキハ本人ヲシテ誓

約書ヲ差出サシムヘシ

前項ノ場合ニ於テハ成ルヘク保護者ヲシテ立會ハシメ且誓約書ニ連署セシムヘシ

第五十一條 條件ヲ附シテ保護者ニ引渡スヘキモノト認メタルトキハ保護者ニ對シ本人ノ保護監督ニ付必要ナル條件ヲ指示シ本人ヲ引渡スヘシ

第五十二條 寺院、教會、保護團體又ハ適當ナル者ニ委託スヘキモノト認メタルトキハ委託ヲ受クヘキ者ニ對シ本人ノ處遇ニ付參考ト爲ルヘキ事項ヲ指示シ保護監督ノ任務ヲ委嘱スヘシ

第五十三條 少年保護司ノ觀察ニ付スヘキモノト認メタルトキハ少年保護司ニ對シ本人ノ保護監督ニ付必要ナル事項ヲ指示シ觀察ニ付スヘシ

第五十四條 感化院、矯正院又ハ病院ニ送致又ハ委託スヘキモノト認メタルトキハ其ノ長ニ對シ本人ノ處遇ニ付參考ト爲ルヘキ事項ヲ指示シ本人ヲ引渡スヘシ

第五十五條 刑罰法令ニ觸ルル行爲ヲ爲ス虞アル少年ニ對シ前三條ノ處分ヲ爲ス場合ニ於テ適當ナル親權者、後見人、戶主其ノ他ノ保護者アルトキハ其ノ承諾ヲ經ヘシ

第五十六條 少年審判所ノ審判ニ付テハ始末書ヲ作り審判ヲ經タル事件及終結處分ヲ明確ニシ其ノ他必要ト認メタル事項ヲ記載スヘシ

第五十七條 少年審判所第四十八條乃至第五十二條及第五十四條ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタルトキハ保護者、學校長、受託者又ハ感化院、矯正院若ハ病院ノ長ニ對シ成績報告ヲ求ムルコトヲ得

第五十八條 少年審判所第五十一條及第五十二條ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタルトキハ少年保護司ヲシテ其ノ成績ヲ視察シ適當ナル指示ヲ爲サシムルコトヲ得

第五十九條 少年審判所第四十八條乃至第五十四條ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタル後審判ヲ經タル事件第二十六條又ハ第二十七條第一號ニ記載シタルモノナルコトヲ發見シタルトキハ裁判所又ハ檢事ヨリ送致ヲ受ケタル場合ト雖管轄裁判所ノ檢事ノ意見ヲ聽キ處分ヲ取消シ事件ヲ檢事ニ送致スヘシ

禁錮以上ノ刑ニ該ル罪ヲ犯シタル者ニ付第四條第一項第七號又ハ第八號ノ處分ヲ繼續スルニ適セサル事情アリト認メタルトキ亦前項ニ同シ

第六十條 少年審判所本人ヲ寺院、教會、保護團體若ハ適當ナル者ニ委託シ又ハ病院ニ送致若ハ委託シタルトキハ委託又ハ送致ヲ受ケタル者ニ對シ之ニ因リ生シタル費用ノ全部又ハ一部ヲ給付スルコトヲ得

第六十一條 第三十五條及前條ノ費用竝矯正院ニ於テ生シタル費用ハ少年審判所ノ命令ニ依リ本人又ハ本人ヲ扶養スル義務アル者ヨリ全部又ハ一部ヲ徵收スルコトヲ得

前項費用ノ徵收ニ付テハ非訟事件手續法第二百八條ノ規定ヲ準用ス

第六章 裁判所ノ刑事手續

第六十二條 檢事少年ニ對スル刑事事件ニ付第四條ノ處分ヲ爲スヲ相當ト思料シタルトキハ事件ヲ少年審判所ニ送致スヘシ

第六十三條 第四條ノ處分ヲ受ケタル少年ニ對シテハ審判ヲ經タル事件又ハ之ヨリ輕キ刑ニ該ルヘキ事件ニシテ處分前ニ犯シタルモノニ付刑事訴訟ヲ爲スコトヲ得ス但シ第五十九條ノ規定ニ依リ處分ヲ取消シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六十四條 少年ニ對スル刑事事件ニ付テハ第三十一條ノ調査ヲ爲スヘシ少年ノ身上ニ關スル事項ノ調査ハ少年保護司ニ囑託シテ之ヲ爲サシムルコトヲ得

第六十五條 裁判所ハ公判期日前前條ノ調査ヲ爲シ又ハ受命判事ヲシテ之ヲ爲サシムルコトヲ得

第六十六條 裁判所又ハ豫審判事ハ職權ヲ以テ又ハ檢事ノ申立ニ因リ第三十七條ノ規定ニ依ル處分ヲ爲スコトヲ得

第三十八條及第三十九條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十七條 勾留狀ハ已ムコトヲ得サル場合ニ非サレハ少年ニ對シテ之ヲ發スルコトヲ得ス

拘置監ニ於テハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外少年ヲ獨居セシムヘシ

第六十八條 少年ノ被告人ハ他ノ被告人ト分離シ其ノ接觸ヲ避ケシムヘシ

第六十九條 少年ニ對スル被告事件ハ他ノ被告事件ト牽連スル場合ト雖審理ニ妨ナキ限リ其ノ手續ヲ分離スヘシ

第七十條 裁判所ハ事情ニ依リ公判中一時少年ノ被告人ヲ退廷セシムルコトヲ得

第七十一條 第一審裁判所又ハ控訴裁判所審理ノ結果ニ因リ被告人ニ對シ

第四條ノ處分ヲ爲スヲ相當ト認メタルトキハ少年審判所ニ送致スル旨ノ決定ヲ爲スヘシ

檢事ハ前項ノ決定ニ對シ三日内ニ抗告ヲ爲スコトヲ得

第七十二條 第六十六條ノ處分ハ事件ヲ終局セシムル裁判ノ確定ニ因リ其ノ效力ヲ失フ

第七十三條 第四十二條、第四十三條第二項第三項及第四十四條ノ規定ハ公判ノ手續ニ第六十條及第六十一條ノ規定ハ豫審又ハ公判ノ手續ニ之ヲ準用ス

第七章 罰則

第七十四條 少年審判所ノ審判ニ付セラレタル事項又ハ少年ニ對スル刑事事件ニ付豫審又ハ公判ニ付セラレタル事項ハ之ヲ新聞紙其ノ他ノ出版物ニ掲載スルコトヲ得ス
前項ノ規定ニ違反シタルトキハ新聞紙ニ在リテハ編輯人及發行人、其ノ他ノ出版物ニ在リテハ著作者及發行者ヲ一年以下ノ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

矯正院法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正十一年二月十八日

衆議院議長 奧 繁三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

矯正院法案

矯正院法

第一條 矯正院ハ少年審判所ヨリ送致シタル者及民法第八百八十二條ノ規定ニ依リ入院ノ許可アリタル者ヲ收容スル所トス

第二條 矯正院ニ收容シタル者ノ在院ハ二十三歳ヲ超ユルコトヲ得ス

第三條 矯正院ニハ特ニ區劃シタル場所ヲ設ケ少年審判所、裁判所又ハ豫審判事ヨリ假ニ委託シタル者ヲ置ク

第四條 矯正院ハ收容スヘキ者ノ男女ノ別ニ從ヒ之ヲ設ク

第五條 十六歳ニ滿タサル者ト十六歳以上ノ者トハ分界ヲ設ケタル場所ニ各別ニ之ヲ收容ス

第六條 矯正院ハ之ヲ國立トス

第七條 矯正院ハ司法大臣ノ管理ニ屬ス

第八條 司法大臣ハ少クトモ六月毎ニ一回官吏ヲシテ矯正院ヲ巡察セシムヘシ

少年審判官ハ隨時矯正院ヲ巡視スヘシ

第九條 在院者ニハ其ノ性格ヲ矯正スル爲メ嚴格ナル紀律ノ下ニ教養ヲ施シ其ノ生活ニ必要ナル實業ヲ練習セシム

第十條 矯正院ノ長ハ命令ノ定ムル所ニ依リ在院者ヲ懲戒スルコトヲ得

第十一條 矯正院ノ長ハ已ムコトヲ得サル事由アル場合ニ於テハ少年審判所ノ許可ヲ受ケ未成年ノ在院者及假退院者ノ爲メ親權者又ハ後見人ノ職務ニ屬スル行爲ヲ爲スコトヲ得

第十二條 矯正院ノ長少年審判所ヨリ送致シタル在院者ニ對シ執行ノ目的ヲ達シタリト認ムルトキハ少年審判所ノ許可ヲ受ケ之ヲシテ退院セシムヘシ

第十三條 矯正院ノ長ハ少年審判所ヨリ送致シタル在院者ニシテ收容後六月ヲ經過シタルモノニ對シ少年審判所ノ許可ヲ受ケ條件ヲ指定シテ假ニ退院ヲ許スコトヲ得

假退院ヲ許サレタル者ハ假退院ノ期間内少年保護司ノ觀察ニ付ス

第十四條 假退院者指定ノ條件ニ違背シタルトキハ矯正院ノ長ハ少年審判所ノ許可ヲ受ケ假退院ヲ取消スコトヲ得

第十五條 在院者又ハ假退院者逃走シタルトキハ少年審判所及矯正院ノ職員ハ之ヲ逮捕スルコトヲ得

少年法第二十五條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十六條 本法ニ規定スルモノヲ除クノ外在院者ノ處遇ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

矯正院ノ長ハ司法大臣ノ認可ヲ受ケ在院者ノ處遇ニ關スル細則ヲ定ムヘシ
第十七條 前二條ノ規定ハ少年審判所、裁判所又ハ豫審判事ヨリ假ニ委託シタル者ニ之ヲ準用ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔政府委員山内確三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(山内確三郎君) 兩案ニ付テノ大體ノ理由ヲ御説明ヲ致シマス、御承知ノ通りニ兩案ハ懸案トナツテ居ルノデアリマス、既ニ三回帝國議會ニ提出シタルデアリマスガ、併ナガラ未ダ法律トナルコトヲ得ナイノヲ遺憾ト致シテ居リマス、デ今回提出致シマスルニ付マシテ、貴族院ニ於ケル討議ノ際ニ或ハ此案ノ通過ノ支障トナツタ點ト考ヘマスル事柄ニ付マシテ、修正ヲ加ヘマシテ茲ニ提出ヲ致シタ次第デアリマス、案ノ内容ト致シマスル所ハ、度度申上ゲタヤウデアリマシテ、大體昨年ノ案ト違ハナイノデアリマス、即チ犯罪ヲ犯シタル少年又ハ是同視スベキ即チ犯罪ヲ犯ス虞アル少年、此少年ヲ保護致シマシテ之ヲ教養シテ、而シテ將來犯罪ヲ爲スナカラシムコトヲ圖ルノガ此案ノ趣意デアリマス、サウシテ其保護ノ機關ト致シマシテハ少年審判所ヲ造ツテ、少年審判所ニ於テ刑以外ノ一ツノ處分ノ方法ヲ定メテ、サウシテ少年ヲ保護教養ヲスルト云フノガ趣旨デアリマス、是ハ少年法案ノ大體ノ理由デアリマシテ、其案ニハ少年裁判所ノ組織、權限、保護ノ手續等ノコトガ明カニナツテ居ルノデアリマス、ソレカラ矯正院法案ハ少年審判所ノ保護處分ノ一ツト致シマシテ、少年ヲ矯正院ニ送致スルト云フコトニナルノデ、是ガ最モ強キ保護處分ノ一ツデアリマスガ、此矯正院法案ハ其矯正院ニ於テ送致ヲ受ケ收容スル所ノ少年ノ教養ノ方法ヲ定メタノデアリマス、併セテ矯正院ノ組織、權限等ニ付テ規定ヲ致シタルデアリマス、何卒本年ハ慎重御審議ノ上ニ、必ズ通過アラムコトヲ切望シテ止マヌ次第デアリマス

○山脇玄君 私ハ……質問ノ通告ガアリマスカ

○議長(公卿徳川家達君) アリマセス

○山脇玄君 ソレデハ私ハ二三質問イタシタイト思ヒマス、聲ガ小サウゴザイマスルカラ演壇ニ登リマス

〔山脇玄君演壇ニ登ル〕

○山脇玄君 高橋首相ノ政治方針ニ付テ、數日間質問應答ガアッタノデアリマス、其中綱紀肅正ニ對シテハ大體斯ウ云フ風ニ聽取リマシタ、成程世ノ風紀ハ今ヤ餘程弛シテ居ル、亂レテ來タ事實ハアル、サレド是ハ人爲加工、小刀細工デ一朝一夕ニ矯正スル譯ニ行クモノデナイ、矢張國民舉ツテ是デハ大變ダト目醒ル時ガ來ルデアラウ、國民ガ目醒メテ來テ茲ニ社會制裁ガ成立ツヲ待ツ外ハナイト云フ趣意デアッタ、斯ル大體ノ方針ニ付テハ我々モ同感デア

ル、如何ニ具眼ノ有志ガ焦リ騒イダカラトテ、轉ガリ落チ掛ケタ風紀頽廢ト云フ彈丸ハ、迎モ中途デ止メ得ルモノデハナイ、此論旨カラ言フト、少年法ノ如キハ現代社會ノ風紀ヲ匡ス根本的對策ト言ヘルデアラウカ、我々ハサウハ言ハレマイト思フ、矢張一時的姑息策デアルト稱スル外ハナイ、少年ノ生理上、心理上ニ及ボス周圍ノ事情ハドウデアラウカ、今ヤ風紀紊亂ノ事情ハ過日來此議場ニ暴露サレタモノ、隣家ノ亂暴狼籍等ヲ見テモ、積ンデ山ヲ成ス程アルノデアアル、ソレバカリデナイ、下流社會ハ終日セッセト働イテ行カネバ生活ガ出來ナイカラ、左程デモナイ、サレド上流社會ニナルト、マルデ是ト事情ガ違ツテ居ル、上流社會ハ生活ノ爲ニ努力スル必要ガナイカラ、益々向上發展スル氣力ノナイ人ハ、金ヤ地位ガ出來レバ早クモ慢心ヲ生ジテ、素行ガ修マラナイヤウニナルノモアル、サウハナラズトモ、新空氣トサヘ言ヘバーモ二モナク毒藥ノ如ク嫌ツテ、一口ナリト之ヲ味ツテ見ヤウトモセズ、頑固一點張りデ、少年ヲ壓服シヤウトスルノモアル、斯ウシタ四圍ノ事情デアツテ見レバ、先ヅ是等ノ惡事情ヲ取除キ去ル驅逐策ヲ講ズルノガ急務デアアルマイカ、先ヅサウスルノガ過日、首相ノ述ベラレタ施政ノ方針ニ適フ對策ト云ツテ宜イト思フ、此點ニ付テハ成ベク首相ガ答ヘ下サレバ至極仕合セデアアル、次ニ伺ヒタイノハ、古來ノ家族制度トノ關係デアアル、家族制度ニハ他ニモ種々特色ガアルデアラウ、サレド一家内ノ出來事ハ何事ニ依ラズ他人ノ干涉ヲ許サヌ、總テ家長ガ自ラ治メテ行クト云フコトモ其一要件トナツテ居ル、自治自助ノ精神ガ漲ツテ居ルノデアアル、固ヨリ此主義トモ何時マデ繼續スルデアラウカ、經濟組織ノ變遷ニ連レテ自然次第ニ崩壞シテ行クハ明白ナ事實デアアル、我々ハ之ヲ怪ムドコロカ、別ニ憂ヘモセヌ、サレド政府當局ハ斯ル趨勢ヲ非常ニ憂慮サレルト見エテ、曩ニハ教育調查會議デ、殊ニ女子教育デハ家族制度ノ維持ニ全力ヲ盡サナケレバナラスト議決シ、近クハ法律審查會ヲシテ民法ニ家族主義ヲ注入セシメテ居ルト云フ、果シテサウ云フコトデアレバ少年法ノ如キハ、家内ノ出來事ヲ公々然ト摘發スルコトニナルノデアアルカラ、是ガ矛盾デナイト云ヘバ何ガ矛盾デアラウカ、次ニ伺ヒタイノハ外國ノ制度採用ニ付テアル、各國ニハソレゾレ格別ノ習慣ヤ事情ガアツテ獨特ノ制度ガ行ハレテ居ルノデアアル、ソレデアアルカラ外國ノ制度ヲ我國ニ採用スルニ當ツテハ、我國ノ習慣事情ヲ參酌セネバナラスノハ言フマデモナイ、然ニ明治維新以來、驅足デドンドン進マナケレバ、文明國ト步調ヲ一ニスルコトガ

如何デアル、是ダケノ質問……

〔政府委員山内確三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(山内確三郎君) 御答ヲ致シマス、第一ノ御問題ハ、寧ロ少年法トハ餘リ關係ガ無イコトト考ヘテ居ッタノデ……

〔山脇玄君「大ニ關係ガアリマス」ト述フ〕

要スルニ下流ノ社會ノ改良ト云フコトモ、ソレゾレ必要デアリマセウガ、是ハ少年ヲ保護スル、少年ヲシテ將來犯罪ヲ犯カサシメナイヤウニ努メル所ノ法案デアリマス、案ノ趣意ハソコニアリマス、之ニ付テ誤解ニナラヌコトヲ希望イタシマス

〔山脇玄君「誤解シテハ居リマセヌ」ト述フ〕

何モカモ西洋ノ眞似ト言ハレマスガ、西洋ノコトハ參照ハ致シマスガ、眞似ヲ致シタト云フ趣意デハナイノデ、少年ニ向ッテハ刑ノミヲ以テ臨ムト云フコトハ、頗ル危險デアルト云フコトハ、常識ノミヲ以テシテモ私ハ明カデアラウト思ヒマス、少年ガ犯罪ヲ犯ス、直ニ之ヲ監獄ニ入レルト云フコトナレバ、或ハ監獄ニ入レズシテ社會ニ放置スルコトニナレバ、社會ヲ蠱毒スル、又少年自ラ遂ニ不良少年ニナルコトハ、ソレハ見エ透キテ居ル、之ニ付テハ必ズ相當ノ保護政策ヲ執ラネバナラヌト云フコトデ、西洋ニアリマスカラ、ソレヲ大ニ參照シテ、良制度ノモノニシタイト云フノガ當局ノ趣意デアリマス、ソレカラ陪審制度ノコトハ、追ッテ陪審制度ガ提案ニナリマシタ末ニ、ソレゾレ御説明ヲ致サウト思ヒマス、今ハ成案ヲ得テ居リマセヌ、ソコデ審判官ハ男子ノミヲ以テ之ニ當テルノデハナイノデ、法文ノ示ス通りニ特別ノ經驗アル者ヲ以テ審判官ニスルノデ、而シテ其中ニ女ハ如何カト云フ御質問デアリマスガ、勿論社會各般ノ事柄ニ付テ、或ハ辯護士……女ノ辯護士ヲ許スト云フコトニ付テハ、色々議論ガアルノデアリマス、併ナガラ今日ノ制度ト致シマシテ、少年審判官ハ矢張男子ト云フコトニ限ッテ居ルノデアリマス、而シテ女子ノ力ヲ借ルコトガ必要ナルコトハ私モ認メテ居リマス、故ニ保護司ハ男子女子ニ拘ラズ、之ヲ保護司トシタノガ此案ノ趣旨デアリマス、ソレカラ感化院トノ關係ハ、是ハ昨年大分問題ニナリマシタ、ソレデ此ノ少年法案ニ付テハ十四歳以上ノ少年ヲ之ヲ審判ヲスルト云フコトヲ原則トイタシマシタ、其以下ノモノハ地方長官ニ於テ其裁量ニ從テ感化院ニ入レルト云フコトニナルノデ、併ナガラ地方長官ニ於テ感化院デハ其目的ヲ達シナ

出來スト云フ意氣込デ、先進國ノ良イ制度デアレバ周圍ノ事情ニ構ヒナク、何デモ彼デモ無暗ニ採入レタノデアアル、斯ウ云フヤリ方ハ餘程考ヘモノデアアル、手近ナ例ヲ見ルト事柄ハ少シ違ッテ居テモ、直チニソレガ分ルカラ面白イ、自動車ト云フ便利ナ交通機關ガ先進國ニ流行レバ道路ノ如何ニ頓著ナク直チニ之ヲ眞似ル、御覽ナサイ、雨ガ降レバ車ノ縁ニベラベラ下ゲテ駛ッテ歩クト云フ滑稽ヲ演ズルノデアアル、電氣、瓦斯ト云フ燈火用ノ便利ナ物ガアレバ、家屋ノ構造ニ注意セズ、直グ之ヲ使用スルトカ、本家ノ佛國ニ於テサヘ何トカ改良シナケレバナラヌト今ハ持餘シテ居ル陪審制度ガ、聽テ議會ニ現ハレルト云フニ至テハ驚ク外ハナイ、唯人權蹂躪擁護一點張リデ何事ニモ感情のニナッテ來タ我ガ國民ニ、斯ル利刀ヲ振り廻ハサシメルナドハ、實ニ危險至極デアアルマイカ、虛心平氣ニ考フレバ誰シモ容易ニ感ズルニ違ヒナイ、少年法ハ諸君御承知ノヤウニ米國ニ生レテ次第ニ成長シ、今ハ歐羅巴ニマデ手ヲ延バシテ來タ、サレドソレハ其筈、其國ノ事情ニ適合スルカラデアアル、東洋ノ一隅ニ在ッテ宗教心ノ乏シイ我國ニモ是ガ當倅マルデアラウカドウカモ考ヘズ、盲目滅法界ニ採用セムトスルノハ何デアラウ、ソコデ茲ニ審判官、保護司ノ資格ニ疑ヲ生ズルノデアアル、此兩者ハ兩親ニ代ッテ少年保護處分ヲ爲スモノデアアル、兩者ハ官吏デアアルヤ否ヤ、保護司ノ方ニハ囑託モアルハ明カデアアル、審判官ノ方ハ官吏ノミデ囑託ハナイヤウニ見エル、何レニシテモ少年ノ保護教育ニ經驗ヲ有ツ者デナケレバ勤マラナイノハ其職責上當然デアアル、單純ナ裁判官、警察官タル素養ノミデ、保護處分ノ效果ガ舉ラウ筈ガナイ、或ハ却テ惡結果ヲ生ズルカモ知レヌ、是等ノ人員ハ隨分多數ヲ要スルデアラウ、其職責ヲ全ウセムトスルニハ、殊ニ我國ニ於テハ男子ヨリ却テ女子ノ方ガ適任デアアリマスマイカ、女子ハ家庭ニアッテ親シク子女ノ教養ニ慣レテ居ル、愛護ノ念ニモ富ンデ居ル、然ニ男子ノミニ限ッテアッテハ、ドコカラドウシテ其適任者ヲ得ルコトガ出來ヤウカ、甚ダ疑ハシイ、縱シ多少ハ得ラレルニシテモ、此法律ヲ運用スルニ足リルダケノ人員ハ到底ムヅカシカラウト思ハレル、次ニ伺ヒタイノハ、感化院ト矯正院ノ關係デアアル、感化院ノ外ニ矯正院ヲ設ケル必要ハ那邊ニアルカ、現行ノ感化院ニハ收容年限ニ程度ガアルトカ、教育ノ方法ガ無イトカ殊ニ實業ヲ練習セシメル設備ガナイトカ云フコトデアアルナラバ、同院ニ是等ノ設備サヘサスレバ、ソレデ宜イデハナイカ、何モ特ニ費用ヲ費シテ同種類ノモノヲ新設スル必要ガナイト思フガ、

イ、更ニ強キ矯正院ニ入レル必要ガアルト認メマシタ場合、或ハ感化院デハ強過ギルカラ、通常保護者ニ預ケルトカ、其他ノ關係デ以テ之ヲ始末スレバ宜イ、感化院ニ入レルマデモナイ、ソレモ矢張審判官ノ審判ヲ經ル必要ガアルノデ、其場合ニ於テモ矢張地方長官ニ於テ少年審判所へ送ルコトガ出來ルノデアリマス、要スルニ少年審判所ハ十四歳ニ滿タザル少年ニ付テハ、地方長官ノ送致アル場合ニ限ッテノ審判ニ付スルト云フコトガ、此度ノ新シイ修正ノ一點ニナッテ居リマス、ソレカラ少シ私ハ前後イタシマシタガ、家族制度ノコトニ付キマシテハ、今日政府ニ於テ研究ヲ致シテ居ルト云フコトハ事實デ、勿論家長ノ權利ガ今日果シテ民法ナリ、或ハ今日マデノ我國ノ淳風美俗ニ合フダケノ家族制度ガ行ハレテ居ルヤ否ヤト云フコトニ付テハ、餘程攻究シナケレバナラス、家族ト云フモノハ、或ハ戸籍一片ノ紙ノ上ノコトニナッテ居リハシナイカト云フコトニ付テハ、當局トシテモ十分考慮シテ研究イタシテ居ルノデ、併ナガラ家長ノ力ガ我々ノ希望通り、能ク家族ヲ教育シ、之ヲ保護シテ行クコトニ付テ支障ナキニ至リマシタ致シマシテモ、其爲ニ天下ノ家長ハ皆良父、良キ父ノミト限ルモノデアリマセヌ、下流社會ハ唯今山脇サンノ言ハレル下流社會ニナリマス、父ニシテ父タラズ、全ク保護ヲシナイト云フ者ガアリマス、少年ヲ放置スル者ガアリマス、此少年ノ保護ヲ缺イテ放置シテ居ル所ノ少年ニ付マシテハ、假令民法ヲ改正イタシマシテモ、矢張少年犯罪ト云フモノハ絶エナイ、之ヲ保護者ニ任セムカ、保護者ガ保護スルコトガ出來ナイト云フヤウナ場合、サウ云フヤウナ場合ハ國家ガ之ニ代リマシテ、而シテ此不良少年ヲ保護シヤウト云フノガ法案ノ趣旨デアリマス、固ヨリ家族制度ノ鞏固ト云フコトト、此少年法案ヲ設ケルト云フコトト、此兩者ノ間ニハ毫モ私ハ抵觸ハナイト考ヘマス、大體ノ御答辯ヲ……

○山脇玄君 尙ホ一言質問ヲ致シマス、只今ノ御説明デ大體ハ分リマシタガ、私ノ申スノハ、不良少年ノ生ズル其原因ヲ除ク策ガ必要デハナイカ、原因ヲ除カズシテ不良ニナッタ者ヲ直スト云フコトハ困難デアアルノミナラズ、ソレハ到底出來ルモノデナイ、例ヘバ我國ノ如キ、火災ノ盛ニアル所ハ幾ラ消防ヲ良クシタ所デ火災ガ絶エルコトハナイ、ドウシテモ家ノ構造カラ改メテヤラネバナラスト同ジコトデアアル、又微毒患者ニシテモ、汚ナイ例デアリマスガ、漢法醫ガ能クベタベタ膏藥療治ヲ施シテモ、微毒ガ無クナルモノデナイ、ドウシテモ其毒ヲ根本的ニ療治ヲシナケレバナラスト同様ニ、不良少年

年ノ生ズル原因ヲ直スコトニ力ヲ用ヒテハドウデアアルカト云フノガ、私ノ質問ノ大體デアリマス、ソコデ不良少年ノ生ズル大體ノ原因ハ何デアアルカト云フト、詰リ國民教育ニ外ナラス、普通教育ニ外ナラス、然ニ其普通教育ノ有様ヲ見レバ如何デアアルカ、マダ全國津々浦々マデ十分ニ行渡ッテ居ルト言ヘナイノデアリマス、我ガ東京市ノ如キ細民ノ爲ノ特殊ノ學校デサヘ、マダ二三不足シテ居ル有様デアアル、之ヲサテ措イテ、不良少年ノ生ズル源ヲ其儘ニシテ置イテ、其源カラ生ジテ來タ所ノ少年ヲ直スト云フコトハ、到底ソレハ出來得ルモノデハナイ、其意味デ私ハ先日ノ總理大臣ノ施政ノ方針カラ考ヘテ、大體ノ質問ヲシタノデアリマス、細カイコトニナルト只今御説明ニナッテ審判官、保護司デアアル、外國殊ニ亞米利加ナド審判官保護司ガ不良少年ヲ療治スルコトガ出來ルト云フコトハ、マルデ日本ト事情ガ違フノデアアル、外國ニハ宗教ガ盛ンニ行ハレテ居ッテ、宗教ノ心ヲ以テ愛情ヲ以テ療治ヲシテ行クノデアアル、然ニ日本人ニ於テハ此點ガ非常ニ缺ケテ居ル、唯鹿爪ラシク已レハ裁判官デアアル、已レハ警察官デアアルト云フヤウナ人ガ、不良少年ナドニ接シテ御覽ナサイ、却テ其上不良ヲ増シテ行クト推察スルノデアアル、サウ云フヤウニ事情ガ違フカラ、今ハ少年ヲ直スヨリハ少年ヲ不良ニ導ク原因ヲ除ク策ガ必要デハナイカト云フノガ大體ノ趣意デアアルノデアリマス、此點ヲ能ク味ッテ御答辯ヲ下サラスト、大ニ私ハ遺憾ニ存ズルノデス、今一應ドウカ普通教育ノ點、其原因ニ付テドウ云フ御考デアアルカ伺ヒタイノデアアル

〔政府委員山内確三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(山内確三郎君) 只今普通教育ノコトニ付テト云フ御話デアリマシタガ、是ハ私ガ申上ゲルヨリハ文部當局ノ方カラ申上ゲル方ガ適當デアラウト考ヘテ居ル、併ナガラ固ヨリ教育其他ノコトニ付キマシテモ、總テ力ヲ盡シテ不良少年ノ出ナイヤウニ努メルト云フコトハ當然ノ話デアリマス、教育ノ力ヲ以テシテモ尙ホ不良少年ヲ出スト云フコトハ、遺憾ナガラ已ムヲ得ズ生ズルデアラウト思ヒマス

〔山脇玄君「先ヅ教育ヨリ始メナケレバナラスト述フ」

ソコデ更ニモウ一ツ判事云々ノコトデアリマスガ、判事ハ必シモ嚴シイ顔バカリシテ仕事ヲスルノデアリマセヌ、現在今日ニ於キマシテモ少年ニ關スル裁判官ハ別ニ居リマス、愛情ヲ以テ、固ヨリ少年ヲナダメテ裁判ヲシテ居ルノデアリマス、宗教ハ違ヒマスガ、併ナガラ日本人ハ愛情ガナイト云フコ

トハ私ハ認メナイノデアリマス、寧ロ愛情問題ニ於テハ西洋ヨリハ是ハ日本ノ方ガ宜イカモ知レナイ、能ク愛情ヲ以テ裁判ヲシテ居ルノデアリマス、ソレデ裁判官ニ於キマシテモ、其方ニ經驗ノアル、殊ニ人格ノ高い人、サウ云フ人ヲ以テ此審判官ニ充テル積リデアリマス、必シモ裁判官ガ睨ミ付ケル爲ニ此案ヲ作ツタ積リデハナイノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○山脇玄君 總理大臣ハ御出ニナリマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 總理大臣ハ只今衆議院カラ呼ビニ參リマシテ、同院ニ出席中デアリマス

○山脇玄君 ソレデハ是デ宜シウゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 兩案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔長書記官朗讀〕

少年法案外一件特別委員

侯爵花山院 親家君 子爵勘解由小路資承君 富谷 銚太郎君

荒川 義太郎君 男爵若王子 文健君 男爵千秋 季隆君

田所 美治君 湯淺 倉平君 江原 素六君

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第八、過激社會運動取締法案、政府提出、第一讀會

過激社會運動取締法案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

大正十一年二月十八日

内閣總理大臣 子爵高橋 是清
內務大臣 床次竹二郎
司法大臣 伯爵大木 遠吉

過激社會運動取締法案

過激社會運動取締法

第一條 無政府主義、共產主義其ノ他ニ關シ朝憲ヲ紊亂スル事項ヲ宣傳シ

又ハ宣傳セムトシタル者ハ七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

前項ノ事項ヲ實行スルコトヲ勸誘シタル者又ハ其ノ勸誘ニ應シタル者罰

前項ニ同シ

第二條 前條第一項ノ事項ヲ實行又ハ宣傳スル目的ヲ以テ結社、集會又ハ

多衆運動ヲ爲シタル者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第三條 社會ノ根本組織ヲ暴動、暴行、脅迫其ノ他ノ不法手段ニ依リテ變

革スル事項ヲ宣傳シ又ハ宣傳セムトシタル者ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮

ニ處ス

第四條 前三條ノ罪ヲ犯サシムル目的ヲ以テ金品ヲ供與シ若ハ其ノ他ノ方

法ヲ以テ便宜ヲ與ヘタル者又ハ情ヲ知テ之ヲ受ケタル者ハ各本條ニ定ム

ル所ニ從テ處斷ス

第五條 前四條ノ罪ヲ犯シ未タ官ニ發覺セサル前自首シタル者ハ其ノ刑ヲ

減輕又ハ免除ス

第六條 本法ハ本法施行區域外ニ於テ第一條乃至第四條ノ罪ヲ犯シタル者

ニ亦之ヲ適用ス

〔政府委員山内確三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(山内確三郎君) 只今議題ニナリマシタ法案ニ付マシテノ説明ヲ致シマス、近來本邦人デアリマシテ外國ノ所謂主義者ト連絡ヲ取リマシテ、我國ニ於テ此過激主義ノ宣傳ヲナサムト致シマシテ、其ノ外國人等ノ介在ニ依リマシテ、我國ヲ赤化セムコトニ全力ヲ盡シテ居ルト云フノハ、洵ニ歎ハシイ次第デアアル、而シテ其運動ハ色々ノ組織ヲ致シマシテ、段々歩ヲ進メテ著シク組織的ニナツテ居ル所ノ感ガアル、洵ニ恐ルベキ狀態ニアルノデアリマス、而モ現在此種ノ運動ニ付テ取締法規ノ完備シテ居ルモノハナイノデ、或ハ刑法、治安警察法、或ハ新聞紙法、出版法等、是等ニ當ルモノハソレデ稍、取締ガ出來マスケレドモ、彼等ハ巧ミニ法網ヲ免レマシテ、其手段ハ極メテ巧妙デアアルガ爲ニ、實際ニ於テ其危險ナル行動ヲ取締ルコトガ出來ナイト云フノガ多イノデアリマス、此刑法等ニ依テ罰則ヲ適用スルコトノ出來ル場合ニ於キマシテ考ヘマスルト云フト、事柄ニ比シテ極メテ刑ガ輕イト云フ爲ニ取締ノ實ヲ舉ゲルコトガ出來ナイコトノ憾モ多イノデアリマス、即チ要スルニ只今申上ゲマシタ通ノ、大體今回過激社會運動取締法案ヲ提出イタシマシタ趣意デアリマシケ、茲ニ内容ノ重モナル點ヲ掲ゲマスレバ、無政府主義、或ハ共產主義、其他朝憲、國憲ヲ紊亂スル事項ヲ宣傳スル、其宣傳ニ對スル取締ガ一ツ、ソレカラ同一ノ目的ヲ以テ爲ス所ノ或ハ集會、結社、其他

多衆運動ヲスル、ソレニ對スル取締、暴動、暴行脅迫其他ノ不法ノ手段ニ依リマシテ、社會ノ根本組織ヲ變革スル、破壊スルト云フヤウナコトニ努メテ居ル者ガアルノデアリマス、其事項ニ對シテ、サウ云フ事項ヲ宣傳スルノ徒ガアルノデアリマス、其宣傳ノ取締、其他之ニ付キマシテ從犯ノ規定ガーツアルノデアリマス、刑ハ長キ所デ十年、ソレカラ中間七年、一番輕イ長期ガ五年、斯ウ云フ重モニ自由刑ヲ以テ、是等ノ徒ノ行爲ニ對スル手段及ビ方法ト致シマシテ、是等ノ社會運動ヲ取締ルト云フノガ本案ノ趣意デアリマス、何トゾ慎重御審議ノ結果、御協賛アラムコトヲ希望スル次第デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ通告順ニ依リマシテ質疑ヲ許シマス、阪本鈇之助君

〔阪本鈇之助君演壇ニ登ル〕

○阪本鈇之助君 丁度御晝食ノ時間ニナツテ居リマスガ、議長ヨリ御指名デゴザイマシテ、暫時申述ベルコトヲ御許シナリマシタカラ、議長ノ御指圖ヲ待ツコトニ致シマシテ、御許ノアル限リ述ベテ見タイト思ヒマス、甚ダ御迷惑デゴザイマセウガ、御聽キヲ願ヒマス、私ハ此法案ヲ見マシテ、只今政府委員ノ御説明モゴザイマシタガ、私ノ御尋シヤウト云フ方ニハ餘リ觸レテ居リマセヌ、主モニ警察上ヨリ見タル所ノ御考ヲ承ツテ見タイノト、モウ一ツハ教育上ヨリ見タル所ノ御考ヲ承ツテ見タイト思フノデアリマス、此法案ヲ見マスルト、先ヅ此題目ノ過激社會運動取締法、是ハ殆ド字句ノ論ノヤウデアリマスルガ、餘程是ハ御苦シミニナツタ痕跡ガ見ユルヤウデアリマスガ、過激社會運動ト云フコトハ……社會運動ト云フコトハ始メテ出會ッタ熟字デアリマスガ、是ハ是ヨリ御趣向ノナイモノデアアルカ、併シ社會運動ト云フコトハ何カ據處ガアツテ是ハ非常ニ立派ナ字デアアルト云フコトデアリマスレバ、先ヅ以テ其表題ノ御説明ヲ願ヒタイ、ソレカラ第一條ニ移リマシテ、「無政府主義、共產主義其他ニ關シ朝憲ヲ紊亂スル事項」云々トアリマス、其他ニ關シトアリマスルニ依テ見マスルト、無政府主義ト共產主義ヲ舉ゲテ、其他之ニ類スルコトデ朝憲ヲ紊亂スル者ハト云フコトダラウト思フノデアリマスガ、無政府主義、共產主義ト云フコトヲ唱ヘルト云フコトハ、我國ノ空前ノコトデアリマシテ、所謂赤化ノ結果デアリマセウ、此赤化ノ防止ト云フコトニ付テハ何等異存ハゴザイマセヌ、最モ必要デアルト云フコトヲ認ムル一人

デアリマスルガ、唯ダ此輕重ノ上ニ於テ無政府主義、共產主義ト云フ重大ナル問題ヲ舉ゲテ來テ、其他之ニ關シ朝憲ヲ紊亂スル事項トアリマスルガ、朝憲紊亂ト云フ字ハ此度始マツタ字デハナイ、種々ナル所ニ見エテ居リマスガ、今迄使ツテ居リマス所ノ朝憲紊亂ト云フ字ハ、新聞紙法デモ、ソレカラ刑法ノ即チ内亂ノ罪ナドニモ使ツテ居リマスガ、刑法ノ方デ見マスルト「政府ヲ顛覆シ又ハ邦土ヲ僭竊シ其他朝憲ヲ紊亂スルコトヲ目的トシテ」云々トアリマスル、是ハ即チ隨分重大ナ、政府ヲ顛覆スルトカ、或ハ邦土ヲ僭竊スルトカ、其他朝憲ヲ紊亂スルトカ云フ……刑法ハ相應ニ古イモノデアリマシテ、此頃ニハ朝憲ト云フ字ハ餘程廣イ意味ニ用キラレテ居ッタラウト思フノデアリマス、併ナガラ新聞紙法ニモ朝憲ト云フ字ガ使ツテアリマスルガ、之ニハ「政體ヲ變改シ又ハ朝憲ヲ紊亂セムトスル」事項ヲ新聞紙ニ掲載シタルトキハ「ト斯ウアリマスノデ、政體ノ變改ハ即チ革命カ其他ノ重大ナコトデアリマシテ、其次ニ朝憲紊亂云々トアリマスカラシテ、朝憲ノ方ガ輕クテモ或ハ釣合ガ取レルコトト存ジマス、出版法デハ十九條……是ハ安寧秩序デアリマスカラ是ハ取消シマス、所ガ此出版法ノ第二十六條ニ依リマス「政體ヲ變壞シ國憲ヲ紊亂セムトスル」文書圖書ヲ出版シタルトキハ「トアリマス、朝憲ト云フ國憲ト云ヒ同ジヤウデアリマスルガ、憲法ヲ實施サレタ今日デハ國憲ト云フコトト朝憲ト云フコトニハ餘程輕重ガアリハセスカト云フコトヲ疑フノデアリマス、日本ノ國體カラ申シマスレバ、朝憲ト云ヘバ國憲モ何モ合ンデ居ルト云フコトハ申サレルノデアリマセウケレドモ、何ヤラ朝憲ト云フト、時ノ政治ノ即チ或反對黨ガ反對政府ニ向ツテ非常ニ攻撃スル、時ニハ詭激ナ言語ヲ弄シテ即チ其内閣ハ大命ヲ帶ビテ組織シテ居ル内閣デアレバ、即チ朝憲ヲ保持シテ居ル所ノ内閣デアアル、ソレヲ詭激ナ言語ヲ以テ攻撃スルトカ、或ハ多少ノ行動ヲ取ツタト云フコトニナレバ矢張是ハ朝憲ヲ紊亂シタト云フコトデ羅織サレルコトガ隨分出來ル場合ガアリハセスカ、斯様ニ考ヘルノデアリマスルガ、此第一條ニ無政府主義、共產主義ト云フ我國空前ノ重大ナル事柄ヲ一ノ例ニ舉ゲテ、其他ニ關シ朝憲紊亂云々ト斯ウ書カレタ原案ノ趣旨ハ、ドウ解シテ宜イノデアアルカ、即チ無政府主義、共產主義ヲ唱ヘルコトガ、即チ朝憲ヲ紊亂スルモノデアアル、其他之ニ類スルモノデ朝憲ヲ紊亂スル者ハト云フコトデアラウト思ヒマスガ、私共ノ考ヘル所ハ、無政府主義ヤ共產主義ヲ宣傳シタリスルヤウナモノハ、朝憲紊亂所デハナイ、モウチット

重イヤウナコトノヤウニ考ヘラレル、然ニ此所ニ例ニ二ツ擧ゲテ其他云々ト御書キニナツタ以上ハ、只今申シタヤウナ場合モソレニ含ムモノトセラレテ、只今ノ政府ニハ左様ナコトハナカラウト存シマスガ、若モ無謀ナ政府ガ出来テ此法律ガ行ハレテ居ルト、時ノ政府ニ反抗スル行爲ガ不穩當デアル時ニハ、矢張七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處スルモノニ當嵌メテ見ヤウト云フヤウナ考ガ、出ハセヌカト云フヤウナコトモ恐レルノデアリマス、故ニ第一條ノ此書方ハドウ云フ一體コトデアルカ、又朝憲ト云フコトノ御解釋ハドウ云フコトデアルカト云フコトヲ一ツ承ッテ見タイノデアリマス、ソレカラ其第三條ニ至リマシテ「社會ノ根本組織ヲ暴動暴行脅迫其ノ他ノ不法ノ手段ニ依リテ變革スル事項ヲ宣傳シ」云々トアルノデアリマス、即チ無政府主義共產主義ヲ宣傳スルト云フコトハ社會ノ根本組織ヲ破壊スルコトデアラウト思ヒマスルガ、第一條ノ外ニ特ニ第三條ニ至テ更ニ社會ノ根本組織ヲ云々ト云フコトヲ御書キニナツタノハ、社會ノ根本組織ヲ變革スルト云フコトハ、無政府主義、共產主義ト云フコトトハ違フノデアルト見エルノデ、立法者ノ考デハドウ云フ所ガ違フノデアルカ、第三條ハ即チ第一條ヨリモ、モウチット幅ノ廣イモノデアルカ、若シ幅ガ廣イナラバ刑ハ寧ロ第一條ヨリ重イ位デ宜クハナイカト思ヒマスルガ、二年ダケ御縮メニナツタ所ヲ見ルト、第三條ノ社會ノ根本組織ヲ變革スルト云フコトハ、第一條ヨリハ輕イ行爲デアルト云フ立法者ノ考デアアルカノヤウニモ見エル、サウスルト社會ノ根本組織云々ト云フコトハドウ云フコトヲ云フノデアルカ、實例ニ取ッテ一ツ御示シテ願ヒタイト思フノデアリマス、而シテハ主ニ赤化ヲ恐レテ、即チ隣國ノ同志ト相提携シテ……隣國デハゴザイマセヌ、外國ノ同志ト相提携シテ過激思想ノ宣傳ヲ爲サムトスル者ヲ戒メル爲ニ、此法律ガ必要デアルト説明サレタノデアリマスルガ、即チ是ハ主モニ赤化ノ宣傳ヲ恐レテ作ラムトスル法律ニ違ヒナイノデアリマスガ、私共ハ考ヘルト此事モ無論恐シイコトデアルカラ、ドウニカ防止セネバナリマセヌガ、一面ニハ國內ニ行ハレテ居ル今日ノ風俗ノ頹廢道德ノ失墜ハ、九デ今日ノ社會ニハ殆ド倫常ト云フコトハ將ニ地ニ墜チナムトシテ居ル模様ガ見エテ居ルノデアル、今日ノ思想ト云フモノハ私共ガ此壇デ彼此説明スル迄モナイ、何人ノ眼ニモ映ジテ嘆息ヲシテ居ルコトデゴザイマスガ、此有様デ推行タナラバ如何ナルコトニナルデアラウカ、此赤化ノ爲ニ國家ヲ危クスルヨリモ、ヨリ多ク社會ノ根本ヲ腐蝕スルノデハナイカ

ト迄ニ心配ヲ致スノデアリマス、出版物等ヲ見マシテモ、性トカ愛トカ云フヤウナコトガ非常ニ流行ヲ致シマシテ、一ツノ雜誌モ性トカ愛トカ云フコトデ埋メラレテ居ッテ、其新聞ニ廣告サレテ居ル所ノ表題ダケヲ見マシテモ、青年處女ノ血ヲ沸カシ延イテハ風俗ヲ頹廢シハセヌカト思フヤウナコトガ盛ニ行ハレテ居ルノデアリマス、或ハ一家ノ一女子ガ自殺ヲ致シタトカ、或ハ家出ヲ致シタトカ云フヤウナ偶々問題ガ出マス、唯ダ市井ノ間ノ洵ニ一小事デアアルニモ拘ラズ、是ガ社會ノ大問題ニナツテ、非常ニ戒メルト云フ意味デアルカ知ラスガ、寧ロ歡迎セラレテ是ガ社會ノ研究問題ニナル、某女子ガ死ナレタ時ハ某女子ノ研究問題ト云フコトマデモ新聞ニ掲ゲラレテ、非常ニ社會問題、興味ト申シテハ語弊ガアルカ知レマセヌガ、興味ヲ以テ迎ヘラレルト云フ有様デアアル、或ハ夫人ノ方カラ夫ニ離縁狀ヲ打チツケテ逃出ス、或方面ノ取調ニ依ルト、ドウ云フ處ノ範圍デ調べタカ知ラスガ、二百六十組モサウ云フノガアルト云フコトヲ昨今耳ニ致シテ居ルト云フヤウナ有様デアアル、是デ我國ノ最モ美德トスル所ノ貞操トカ、節操トカ、忠義トカ、孝行トカ云フヤウナコトガドウシテ維持サレテ行クデアラウカ、此害毒ノ及ブ所ハ赤化ヨリモ甚ダシキモノガアルト思ヒマスガ、ソレ等ノ點ニ付テ現政府ハドウ御考ニナツテ居ッテ、何等取締法ト云フヤウナモノヲ御設ケニナルデモナシ、此儘放任シテ見テ居ラシヤルト云フ御考デアリマセウカ、是ハ矢張內務大臣ノ御所管デアアルガ、寧ロ總理大臣ノ御考ガ聽イテ見タイノデアリマスガ、唯今御在席ガアリマセヌガ、內務省ノ御所管タル問題デアリマスガ、是ハ主ニ文部大臣ガドウ御覽ニナツテ居ルカ、此有様デ參リマシタナラバ、教育ノ勅語ナドト云フモノハ畏レ多イ事デアアルガドウ徹底シテ居ルカ、今後ノ即チ教育勅語ニ對スル所ノ國民ノ奉戴ノ意思ト云フモノガドウ邊ニマデ衰ヘルカト云フコトガ甚ダ疑ハレルノデアリマス、ソレカラ又諸學校ニ於テ倫理ト云フモノヲ相當ノ時間ヲ費シテ教育イタシテ居リマスガ、其先生ノ云フ倫理ト云フコトヲ、今後ノ兒童青年ガ聽キマシテ、ドウソレヲ受取ルデアラウカ、恐ラクドウモ本氣ニナツテ聽イテ居ルノハ少ナクハナイカト思フノデアアル、若シ夫レ兒童若クハ少年ノ間ハ眞面目ニ聽イテ居ルトシテモ、學校ヲ一タビ出テ最早青年ノ境遇ニナルト、マルデソシナ事ハ何ノ事カ頓著セスト云フコトハ是ハ確カニ言ヒ得ルト思フ、サウスルト寔ニ無駄ナ時間ヲ費シ、非常ニ費用ヲ費シテ教育ヲ施シテ、先生ニ俸給ヲ拂ヒ、相當ナル費用ヲ費シテ倫理ノ講

釋ヲシテ見タ所ガ、マルデ歐羅巴ニ行カムトスル者ヲ、支那ノ方ヘ行ク道順ヲ教ヘテ居ルト云フヤウナ譯デアリマシテ何ニモナラナイ、害ガ有ッテ益ガナイ、即チ是等ノ點ニ付テノ何等カ政府ハ取締ノ方法デモ、ソレヲ法律デ取締ルト云フコトハ勿論出來ナイト云フコトハ承知イタシテ居リマスガ、併シ或部分ニ付テ何カ法律ノ力ヲ借リルトカ、ソレ以上ハ無論教育ノ上ニ於テドウ云フ方法ヲ今現ニ採リツツアッテ、之ヲ防止サレルコトニナッテ居リマスガ、又ハ將來ハドウナサル一體御考デアルカ我々ノ目ヘ映ズル所ハ大シタコトハナサツテ居ラシヤラナイヤウニ思ハレルノデアリマスガ、此邊ニ付テ幸ヒ此案ヲ議サントスルニ方ツテ、當局大臣ノ御懇切ナル一ツ御説明ヲ承ハッテ見タイト存ジマシテ、此演壇ニ立チマシタ所以デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 休憩イタシマス、午後一時三十分ヨリ開會イタシマス

午後零時十四分休憩

午後一時四十三分開議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス

〔子爵前田利定君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) チョット待ッテ下サイ、請暇ノ件ニ付御諮リヲ致シタイコトゴザイマス、太秦男爵病氣ニ付十四日間ノ請暇デゴザイマス、御異議ガナケレバ許可イタシマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○子爵前田利定君 今朝豫算委員ニ御付託ニナリマシタ、大正十年度ノ追加豫算案ヲ審議イタシタイト存ジマス、豫算委員ノ退席ヲ御許シテ願ヒタイト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 前田子爵ノ豫算委員會ニ退席ノ要求ハ、御異議ガナケレバ許可イタシマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔政府委員山内確三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(山内確三郎君) 午前ニ於ケル阪本サンノ御質問ニ對シテ此法案ノ文字ノ解釋ノ點ニ關シテ御答ヲ致スノデアリマス、第一ニ朝憲ヲ紊亂スル

ト云フ文字デアリマスガ、是ハ國憲ヲ紊亂スルト云フノト、今日ノ大審院ノ判例等ノ解釋ハ同一ニ見テ居ルノデアリマス、朝憲ト思フノモ國憲ト云フノモ同ジ趣旨デ、此第一條ハ案ヲ立テタノデアリマス、ソレカラ此「無政府主義、共產主義其ノ他」其ノ他ト云フノニ付テ詳シク調べタコトモアリマセヌノデアリマスケレドモ、中ニハ代議政治ヲ否認シテ、直接行動ヲ以テ或運動ヲ企テルト云フヤウナモノモアルヤニ聞イテ居ルノデアリマス、果シテ是ガ朝憲ヲ紊亂スルト云フコトニナルヤ否ヤハ稍、議論ガアルノデアリマセウケレドモ、今日ノ司法當局ノ解釋トシテハ、代議政治ヲ否認スルト云フヤウナコトモ朝憲紊亂ノ一ツ、國憲ノ紊亂ノ一ツト云フコトニ解釋シテ居ルヤウデアリマス、朝憲紊亂ト云フコトガ基ニナルノデアリマスガ、第三條ハサウデヤナイノデアリマシテ、或ハ風俗道德ニ關スル事柄モ此中ニ這入ルコトガアルノデアリマス、或ハ又産業ニ關シマシテ隨分過激ナル思想主義ヲ持ッテ居ル者モアルノデアリマス、例ヲ取ルノモ甚ダ如何カト思ヒマスガ、例ハバ道義ニ關シテ極端ナルモノハ女ヲ使用スベカラズト言ッテ居ル者モアリマスシ、或ハ又産業ニ關シマシテ佛蘭西ノ「サンディカリズム」ト云フヤウナ主義、之ヲ色々不法ノ方法デ宣傳ヲシテ行クト云フコトハ、極メテ今日ノ社會組織ニ對シテ危險ナル行動ト云フコトニ認メマシテ、第三條ト云フコトニ特ニ此朝憲紊亂以外ニ、茲ニ社會ノ根本組織ノコトヲ規定イタシタ次第デアリマス、其他ノ問題ニ付マシテハ、私ヨリハ是ハ文部大臣ニ對スル御尋デアッタト承知イタシマスカラ、此點ハ私ハ御答辯ヲ差控ヘマス

○議長(公爵徳川家達君) 議長ハ此際念ノ爲ニ申上ゲテ置キマスガ、只今午後ニ引續キマシタル議事ハ、日程第八ノ法案ノ議事ト御承知ヲ願ヒマス、議事前ニ此事ヲ申述マスノヲ失念イタシマシタ

○阪本鈺之助君 内務大臣、文部大臣ノ御意思ヲ伺ヒマスル前ニ當リマシテ、先ヅ以テ司法當局ノ立法上ノ御答辯ヲ得マシタノデ、便宜上只今ノ御答辯ニ對シテ、モウ一回質問御許シテ願ヒタイト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○阪本鈺之助君 只今一斑ダケハ御答ニナリマシテゴザイマスガ、私ヨリ御尋ヲ致シマシタ過激社會運動ト云フ言葉ガ、如何ニモ御苦ミニナッタ痕跡ガ見エルト云フコトヲ先刻申シマシタ、何カ是ハ併シ直譯のニ社會過激運動ト

云フコトガ此法案ニ當嵌マル據リ所ガアルノカドウカ、第一條ヨリ末條マデ讀ンデ見マシテ、成程過激思想ノ宣傳ヲ取締ルト云フコトガアルヤウデアリマスガ、過激社會運動ト云フコトガ物足ラヌカ、嵌ラナイカ、兎ニ角安シジナイ所ガアルガ、何カ安心ノ出來ルヤウナ御説明ヲ承ハリタイト云フコトヲ先刻申上ゲタ、是ハ更ニ御答ヲ願ヒタイ、ソレカラ唯今ノ御答辯ニ依リマシテ尙ホ疑ヒハ深クナルノデアリマスガ、只今御答辯ノ趣意ニ依リマス、第三條ノ社會ノ根本組織ヲ變革スルト云フコトハ、無政府主義、共產主義ヲ含マスト云フコトニナツテ來ルヤウデアリマスガ、ソレデ宜シウゴザイマセウカ、本員等ノ考ヘル所デハ無政府主義、共產主義ヲ宣傳スルト云フ如キモ、矢張社會ノ根本組織ヲ變革スルコトデアルト思フデアリマスカラ、第三條ガアレバ第一條ハ贅文デアリ、第一條ノ無政府主義云々ガアレバ社會ノ根本組織ト云フコトハモウ要ラヌモノニナルカラ、矢張重複ノ嫌ガアル、而シテ第一條ノ事柄ヲ實行スル場合ニ當ツテ、「宣傳シ又ハ宣傳セムトシタル者ハ」云々トアリマシテ、暴動、暴行、脅迫其他ノ不法手段ニ依テ無政府主義、共產主義ヲ行ハムトスルトキニハ如何ニスルカト云フコトデアリマス、暴行、脅迫等ヲ致シテモ別ニ私ハ刑ニ處セラレナイカノ如ク見エルノデアリマスガ、是ハ如何デアリマスカ、此邊ニ付テモウ一應伺ツテ置キマス、ソレカラ只今ノ御説明中ニ「其ノ他ニ關シ」ト云フコトニ付テ何カ御述ベニナリマシタガ、少シ其邊ガ不明瞭デアリマシタガ、モウ一回「其ノ他」ト云フコトニ付テ御聽カセテ願ヒタイト思フ

〔政府委員山内確三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(山内確三郎君) 御答イタシマス、過激社會運動取締法ト云フ名稱ハ、御尋ノ通りニ頗ル苦シク文字デ、當局モ決シテ之ヲ好イ文字ト考ヘテ居ナイノデ、初メ單ニ治安取締ト云フヤウナコトニヤツテ見タノデアリマサルケレドモ、ドウモソレデハ如何ニモ文字ガ廣スギルト云フノデ、先ヅ過激主義ノ社會運動取締ト云フコトヲ現ハス爲ニ是ダケノ文字ヲ用ヒタノデアリマス、私モ如何ニモ落付カヌ文字ダト考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ此點ニ付テハ更ニ考ヘタイト云フコトヲ申上ゲテ置キタイノデアリマス、ソレカラ社會ノ根本組織ヲ云々、此三條ノ規定ハ是ハ朝憲ヲ紊亂スル者ト云フノデハナイモノヲ茲ニ掲ゲマシタノデ、勿論共產主義ニシテ朝憲ヲ紊亂スルモノデナイ限リハ第三條ニ這入リマスケレドモ、無政府主義ニシテ朝憲ヲ紊亂セザル

モノハナイノデアリマス、共產主義トシテ朝憲ヲ紊亂スルト云フコトニイカナイモノガナイトモ限ラナイノデアアル、而シテソレハ社會ノ根本組織ヲ破壊スル所ノ主義デアルト云フ場合ガアルノデアリマスカラ、ソレデ一條ハ結局朝憲紊亂ト云フコトヲ基ニシテ居ル、三條ハサウデナイモノヲ掲ゲテ、其間ニ刑ノ輕重ヲ定メタノデアリマス、朝憲紊亂ニ事ガ關係スル以上ハ、宣傳ハ重キ刑ヲ以テ之ヲ罰シナケレバナラス、社會ノ根本組織ニ付テノコトハ是ハ朝憲紊亂ヨリハ當局ノ考デハ、モノニ依テハ輕イモノデアラウ、尤モ兩方ノ犯罪ノ中ノ情ニ依テハドツチガ重イト云フコトハ言ヘナイノデアリマス、其標準ヲ取レバ一條ノ主義ノ方ガ重イト云フ見地カラ之ガ出來テ居ルノデアリマス、而シテ第三條ニハ「其ノ他ノ不法手段ニ依リテ變革スル事項」トアリマスルガ、是ハ文字ノ掛リデ不法手段ニ依リテ變革スル事項デアアル、不法手段ニ依テ宣傳スルノデハナイノデアリマス、斯ウ云フコトヲ不法手段ニ依テ社會ノ根本組織ヲ變ヘル、唯自分ノ意見ヲ出スト云フコトダケデハ、必シモ之ヲ犯罪トシテ罰スルノハ如何ト云フノガ議論ニナリマシテ、議論トナツタ結果ガ變革ヲ企テル、其變革ヲ企テル趣旨ガ不法手段デ之ヲ變革スル、例ヘバ工場ヲ乘取ルト云フヤウナコトデ、或ハ暴動ヲ以テスルトカ、或ハ其他不法手段ヲ以テ工場ヲ占領スルト云フヤウナコトヲ、ソレヲ宣傳スル、ソコデ宣傳自體ニ不法手段ガアルノデハナイノデアリマシテ、宣傳スベキ目的ニ不法手段ガ這入ッタノガ三條デアリマス、一條ハ是ハ不法手段ノ有無ニ拘ハラズ國憲ヲ紊亂スル事柄デアアル以上ハ、之ヲ新聞ニ宣傳スル、或ハ其他「ビラ」ヲ以テ宣傳スル、其他ノ方法ヲ以テ……如何ナル方法ヲ以テ宣傳スルヲ問ハズ、宣傳自體ヲ犯罪トシテ罰シヤウト云フコトニナルノデアアル、マダ何カ御尋ガアツタヤウニモ考ヘマスケレドモチヨット今浮ビマセヌカラ是ダケ御答シテ置キマス

○阪本鈺之助君 餘リ末節ニ互リマシテハナシデアリマスカラ、ソレハ大抵ソレデ宜シイト思ヒマス、モウ一回御尋致シマスガ、只今御説明ニ依リマスルト、第三條ノ場合ハ社會ノ根本組織ヲ變革スルト云フコトヲ企テルトキニ、暴行カ、暴動カ脅迫カ、不法ノ手段カ、此四ツノモノニ依ラヌ限リハ社會ノ根本組織ヲ變革スル事項ヲ宣傳シ、若クハ宣傳セムトシテモ此法律デハ罰シナイ、處刑ニナラヌト云フコトニ御聽キシテソレデ宜シイノデアリマスカ、又第一條ノ無政府主義共產主義、其ノ他ニ關シテ國憲ヲ紊亂スル、朝憲

紊亂事項ヲ宣傳スルト云フ場合ニ、之ガ若シ暴行、脅迫、暴動若クハ不法手段デ此事ヲ行フ場合ハモチット重ク何カ書イテナケレバナラスト思ヒマスガ、此方ハ暴行、脅迫云々ト云フコトデハナク、唯普通ノ手段ヲ以テ宣傳スルト云フノト記憶シテ宜イノデアリマスガ、此二ツヲ一ツ伺ヒタイ

〔政府委員山内確三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(山内確三郎君) 御答イタシマス、第三條ノ分ハ變革ノ手段ガ不法手段ニ非ル限リハ、其變革スベキコトヲ宣傳シテモ是ハ罪トナラスト云フ考デアルノデアリマス、唯意見ヲ出スダケデ之ヲ罪スルト云フコトガ、時トシテ頗ル極端ニ互ツテ弊害ヲ生ズルコトガアリハシナイカト云フノデ、色々此點ニ付テハ議論ガアリマシタケレドモ、結局意見ノ陳述ヲ以テ宣傳スルダケナラバ此分ハ處罰セザルコトニナツテ居ルノデアリマス、而シテ第一條ノ國憲紊亂ノコトヲ宣傳スルノミナラズ、暴行ヲ以テ國憲紊亂ノコトヲナスト云フヤウナ場合ダト、刑法ニ重イ罪ガアリマシテ、最モ重イモノハ内亂罪ト云フコトニナルノデアリマス、是ハ唯宣傳スルト云フコトダケニ付テ重キ刑ヲ科スル趣旨デアリマシテ、之ヲ實行スル、更ニ暴行ヲ以テ實行スルト云フコトニナレバ、刑法ノ最モ重キ刑ニ當ルト云フコトヲ御承知ヲ願ヒタイ

○阪本鈺之助君 甚ダ諄イヤウデアリマスガ、刑法ノ七十七條デハ「暴動ヲ爲シタル者ハ……」朝憲ヲ紊亂スルコトヲ目的トシテ暴動ヲ爲シタル者」云々ト書イテアリマシテ、暴行、脅迫、不法ノ手段ト云フヤウナコトハ内亂罪ニハナイノデアリマス、即チ暴動ヲシマシタトキニ、只今仰ツヤル所ノ刑法ニ依テ處罰サレル、第三條ノ事柄ヲ行ハム爲メ暴動トマデ行カナイ、暴行、脅迫、不法ノ手段ヲ以テシタトキニハ如何ニスルカ、此點ヲモウ一應承ハリタイ

〔政府委員山内確三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(山内確三郎君) 御答イタシマスガ、其前ニ申上ゲテ置キタイノハ私ハ甚ダ刑法ノ解釋ニ極メテ暗イノデアリマス、暴動ト云フコトニナレバ勿論是ハ内亂罪トナリマスガ、其他此趣旨ヲ以テ暴行ヲシタ、其暴行ノ程度如何デアリマスガ、モノニ依テハ單純ニ暴行ニ付テノ罪ニ當ルコトモアリマセウシ、其他諸般ノ刑ニ當ルコトモアリマセウガ、要スルニ暴動ノ程度ニナレバ内亂罪デアリマス、其外ニ刑法ニハ直接、例ヘバ不法手段ヲ以テスルト云フヤウナ場合ニ付テ直接ノ刑ハナイヤウニ考ヘテ居リマスガ、或ハ解釋上

事實ニ依リマシテ内亂罪ノ豫備トナルヤウナ事柄モアルダラウト思ヒマス、要シマスルニ事柄ニ依テ其刑法ノ諸般ノ規定ニ互ルト申上ゲル外ハチヨット申上ヤウガナイノデアリマス

○阪本鈺之助君 文部大臣ガ御先キデモ宜シウゴザイマスガ、内務大臣カラ此法律ノ執行上ニ付テ、先刻御尋致シマシタ御答辯ヲ得タイト思フノデアリマスガ、若シ内務大臣ガ此席ニ御出席ニナレナイナラ、其前後ハ如何様デモ私ニハ一向異存アリマセス

〔國務大臣中橋德五郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(中橋德五郎君) 只今内務大臣ハ衆議院ノ方ノ追加豫算ノ議事ニ行ツテ居リマスカラ、私ヨリシテ御先ニ御答ヲ致シマス、或ハソレデ内務省ノ方モ御分リニナルナラバ尙ホ結構ダラウト思ヒマスガ、或ハサウハ行カヌカモ知レマセス、今朝ノ阪本君ノ御尋ヲ伺ヒマス云フト、過激社會運動ノ取締ト云フコトモ宜シイガ、今日ノ如ク風俗ガ頹廢シテ非常ニ世ノ中ガ紊亂トシテ居ルカラ、是等ニ對シテ如何ニ取締ラスルカ、如何ナル方法ヲ以テ防遏スルカト云フ御尋ト伺ヒマシタ、之ニ付マシテハ大體阪本君ノ御尋ノ御説明ノ中ニ、或ハ今日性ノ研究ヲヤルカラ困ル、學校ハ殆ド頹廢シテ居ルト云フヤウナ御觀察ノヤウナ御言葉ヲ伺ヒマシタガ、是ハ私ドモノ觀察ト餘程違ツテ居リマス、ト申シマスルモノハ、何レノ世ニモ同様ダラウト思ヒマスルガ、現在ヲ悲觀シ將來ヲ心配ラスルト云フ傾キノ人ト、現在ヲ樂觀シ將來ニ希望ヲ有ツト云フ人ト、是ハ終始アル譯デアリマス、ソレデ今日世ノ中ニ色色ノ、各種ノ出來事ガ出來マシタニ付キマシテ、一々之ヲ悲觀ノ材料ニ有ツノモノツノ見方デアリマス、併シ又是レニ打勝ツテ全體ノ事實ヨリシテ意見ヲ立ツルト云フノモノツノ見方デアラウト思ツテ居ル次第デアリマス、今日ハ歐洲ノ大戰五年、非常ナル惡氣流ガ歐洲ニ漲ツテ居ルコトト私ハ觀察イタシマス、之ガ我々ノ國マデ時々波及スル、其波動ヲ受ケルト云フコトハ今日免レヌ次第デアリマセウ、尙ホ流行性感冒ガハヤツテ來テ日本ヘモ來ルト云フヤウナコトデアリマスカラ、是ハドウモ人力デ防グ譯ニハ行キマスマイト思フ、併シ是ハ幸ニシテ波動ヲ受ケルノデアリマスカラ、之ヲ防ギ之ニ打勝ツハ極ク容易ナコトデアラウト思ウテ居ル次第デアリマス、併シ之ニハ時間ガ要リマス、ソレデ我ガ國民ハ誠ニ剛健ナル氣性ニ富ンダル國民デアリマスカラ、從來屢々各種ノ思想、各種ノ惡氣流ニ襲ハレマシタ場合ニ於キマシテモ、

一々之ニ打勝テ今日ノ雄大ナル國ヲ成シタノデアラウト私ドモハ觀察イタシマス、此性ノ研究ニ致シマシテモ近來流行イタシテ居リマスガ、是ハ永續キシナイコトダラウト私ハ觀察シテ居リマス、ト云フノハ三四年前カラ過激思想、社會思想等ノ如キモノガ非常ニハヤツテ、流行イタシマシテ、是等ニ關スル出版物モ翻譯物ガ非常ニ多クッタト云フコトハ、昨年ノ豫算委員會デアリマシタカデ申上ダタ次第デアリマス、是ハ年々翻譯物ガ減リマシテ研究ノ時代ニ移リマシテ、此頃ハ此種ノ出版物ノ賣レ方ハ大變ニ減ッタデアリマシテ、段々減リマス、人心新ナルモノヲ追ヒマスカラ性ノ研究ノ如キモノ、社會思想トカ「クロボトキン」ノ何ダトカ云フヤウナコトガ、硬派ノ物ガ倒レタ後ニハ軟派ノ物ガ來ルデアリマス、軟派ハ長ク續キマセヌ、又其中ニ硬派ガ來ルト云フヤウナ具合ニ、出版界モ年ト共ニ變革シテ行ク譯デアリマスカラ、ソレデ以テサウ長ク何時マデモ性ノ研究ダケ我ハハヤツテ居ルコトデナカラウト觀察ヲ致シマス、ソレカラ學校ノ風俗ガ紊レテ居ルト云フヤウナ御觀察モアッタヤウデアリマスガ、是モ當局者ハサウ考ヘテ居リマセヌ、段々積極的ニ各種ノ施設ヲヤツテ居ル譯デアリマス、デソレホドマデニ學校ノ内部ガ紊亂シタト當局ハ考ヘテ居リマセヌ、勿論二十萬ニ近イ教官ヲ以テ殆ド九百萬ニ近イ兒童ヲ教育シテ居ルコトデアリマスカラ、心得違ヒノ者ノ出ルノハ誠ニ殘念ノコトデアリマス、之ガ近來ノ如ク出版物ガ盛シナリ新聞、雜誌、若クハ講演、演說等ニ於キマシテ誇大ニサレテ盛ニ宣傳ヲサレタト云フコトニナリマスレバ、大變ニドウモ惡イ事ガ多イヤウニモ耳ニ響クノデアラウト思フ次第デアリマス、ケレドモ決シテナイトハ言ヒマセヌ、人心ハ多少動搖シテ居リマス、是ハドウシテモ歐洲大戰ノ波動ダラウト云フ考ヲ致シテ居リマス、今日ハ性ノ研究ノ如キモノニ付キマシテ出版物等ニ付キマシテハ、內務當局ニ於キマシテハ消極的ノ取締ヲヤツテ居リマス、禁止スルモノハ禁止シ、ソレゾレ氣ヲ付ケテ居リマス、又文部當局ニ於キマシテハ、積極的ニ講演、教授、社會教育ノ施設等ノ如キモノニ付キマシテ段々改善ノ道ヲ探リツツアル次第デアリマス、故ニ阪本サンノ御話ノヤウニソレ程悲觀ヲナサラナクテモ、樂觀ヲ下スツテハ如何デアリマセウカ、幸ニ今日我國モ五大強國ノ一ニ列シタ、是モ我が國民ノ剛健ナルガ故デアアル、總テ斯ウモノニ打勝ッテ行クト云フ力ヲ我が國民ハ有ッテ居ル、僅カ二年ニシテ昨年カラ三大雄邦ニ列スルヤウニナッタノハ即チ國民ノ勇健ナルニ依ルノデアアル、ソレ程ニ悲觀スベキ程ノ

コトデハナカラウカト私ハ考ヘルノデアリマス、御尋モ簡單デアリマシタカラ、御答モ簡單ニ短カクシテ置キマス、尙ホ文部當局ノ施設ニ對シテ申上ゲテ宜クレバ申上ゲマス

○議長(公爵德川家達君) 阪本君ニ御相談ヲ致シタイノデアリマスガ、是非トモ內務大臣ノ出席ヲ求メラレマスカ、サスレバ只今內務大臣ハ本院ノ豫算委員會デ答辯中デアアル趣デゴザイマスカラ、一時阪本君ノ質疑ハ保留シテ置キマシテ次ノ柳澤伯爵ノ質疑ニ移ッテハドウデゴザイマスガ

○阪本鈺之助君 ソレデハ左様デ宜シウゴザイマスガ、モウ一言ダケ……

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○阪本鈺之助君 文部大臣ノ只今ノ御答辯ハ、私ノ御尋ノ極ク大體ニ付テハ御答下スツタノデアリマスガ、私ハ必ズシモ此學校ノ内部ガ紊亂シテ居リマスト云フコトニハ餘リ力ヲ入レテ申シタ譯デアリマセヌ、學校ハ相當ニ盡力ヲシテ居ラレルヤウデアリマス、施設ノ中ニモ左様ナコトガ見エルノデアリマスガ、併シ文部大臣ハ總テヲ自然ノ潮流ノ儘ニ任シテ置ケバ、自然ニ又善イ方ニ向フト云フ、斯ウ云フ御觀察デアリマスガ、私ノ見ル所ハドウモ其潮流ガ隨分諸方面ニ蔓延スルヤウニ見ユルノデアリマス、然ニ只今仰シヤッタウナ消極的ナ教育ノ方針ヲ執ツテ、即チ是マデ通リノヤリ方ヲヤツテ行クト仰シヤルノデアアルガ、此儘デ果シテ潮流ニ對抗スルコトガ出來ルカドウカ、只今ノ御説明ニ依テ略々分ッテ居リマスガ、是ハ甚ダ私ハ意見ヲ異ニスルノデアリマスカラ、モウ一應伺ヒマスルガ、唯今大臣ノ從前ト異ナラザル方針デ御ヤリニナツテ、此激シキ潮流ニ對抗シテ、是ヨリ後學校カラ出ル所ノ青年少女ガ、此潮流ニ餘リ多ク漂ハズニ善イ方ニ向フト云フ御安心ガ出來テ居ルカドウカ、サウ云フコトヲモウ一應伺ッテ置キタイト思ヒマス

〔國務大臣中橋德五郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(中橋德五郎君) 私ノ申上ヤウガ簡單デアリマシタカラ、自然ニ任セテ、自然ニ放任スレバ宜シイト云フヤウニ御解釋ニナッタヤウデアリマス、サウ云フ考デハアリマセヌ、積極的ニ各種ノ手段ヲ取ッテ居ル次第デアリマス、假ニ其一例ヲ申上ゲマス、四五年前二十七萬乃至二十萬ノ教官ト云フモノガ、待遇薄弱ト云フコトデ動搖シカケタコトハ御承知デアラウト思ヒマス、ソレデ是等ニ今日著手イタシマシテハ、殆ド全般ニ互リマシテ待遇ヲ良クシタイト云フヤウナコトナドハ、餘程教育界ニ安心ヲ與ヘタコトト思ヒマ

ス、之ニ數千萬圓ノ支出ヲ致シタ譯デアリマス、今日モ致シツアル譯デア
リマス、又社會教育ノ施設ニ致シマシテモ、當院ノ協賛ヲ經マシテ今ヨリ三
年前ニ初メテ設置イタシマシテ、サウシテ一昨年カラ昨年今年ニ互リマシテ、
全國ノ各府縣ニ二三縣ガマダ出來ナイト思ッテ居リマスガ、社會教育主事ヲ置
イテ、各種ノ社會教育ノ改善、善導ト云フコトニ努メテ居ルヤウナ次第デア
リマス、故ニ單ニ自然ニ放任ラスルト云フコトニハ決シテ致シテ居リマセヌ、
出來ルダケ根本的ノ、積極的ノ方法ヲ以テ、詰リ一方カラ申シマスレバ、
言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、間接ニト申シテモ宜シイカ知レマセヌガ、惡イ
者ノ餘計ニ出來ナイヤウニ、即チ今ノ少年法若クハ矯正院法デスカ、アレハ
出來タモノヲ消極的ニ取締リ、直シテ行カウ、文部當局ノヤツテ居リマスノ
ハ、昨年委員會ニ於テ申上ゲマシタ通りニ、積極的ニ成ベク不良少年ノ出來
ナイヤウニ致サウト云フコトニ、漸次努メテ居ル次第デアリマス

○議長(公爵德川家達君) 諸君ニ於テ御異議ガナケレバ、唯今議長ノ申述ベ
マシタ通り、内務大臣ノ出席マデ阪本鈺之助君ノ質疑ハ保留シテ置キマス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 柳澤伯爵

○伯爵柳澤保惠君 私モ内務大臣ノ御出席ノ際ニ述ベタイト考ヘルノデアリ
マス、ドウゾ最後ニ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) サウ云フコトデゴザイマスレバ、尙ホ諸君ニ御諮
リヲ致シタイト思ヒマス、便宜上日程第九、第十ヲ此際議シテハ如何デゴザ
イマスカ

○山脇玄君 私ハチヨット一二司法省ノ政府委員ニ御尋シタイト考ヘマス

○議長(公爵德川家達君) 唯今議長ガ申述ベマス通り、共ニ留保サレテハド
ウデゴザイマス、後ニナサツテハドウデゴザイマスカ

○山脇玄君 宜シウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 唯今議長ノ述ベマシタ通りニ、此際日程第九第十
ヲ問題ニ致シテハ如何デゴザイマス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第九、破産法案、第十、和議法案、政府提出、

第一讀會ノ續、委員長報告、特別委員長松平伯爵……諸君ニ於テ御異議ガナ
ケレバ兩案トモ同一委員ニ付託サレマシタカラ、委員長ノ報告ハ一括シテ煩
ハシタイト考ヘマス、但シ採決ハ兩案別々ニ致スツモリデゴザイマス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

「左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ做フ」

破産法案

右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

大正十一年二月十七日

右特別委員長

伯爵松平 頼壽

貴族院議長公爵德川家達殿

〔特別委員ノ修正ニ係ル條ノミナ印刷ス小〕
〔字ハ修正文、ハ同削除ノ符號ナリ〕

第十二條 相續財産ニ對シテ破産ノ宣告アリタル場合ニ於テハ之ニ屬スル
一切ノ財産ヲ以テ破産財團トス

被相續人カ相續人ニ對シ又ハ相續人ノ財産ノ上ニ有シタル權利及相續人
カ相續財産ノ上ニ有シタル權利ハ消滅セサリシモノト看做ス

第三十一條 相續財産及相續人ニ對シテ破産ノ宣告アリタルトキハ相續債
權者及受遺者ハ其ノ債權ノ全額ニ付各破産財團ニ對シ破産債權者トシテ
其ノ權利ヲ行フコトヲ得民法第九百八十九條又ハ第九百九十一條ノ場合
ニ於テ相續財産及前戶主、相續人及前戶主又ハ相續財産相續人及前戶主

ニ對シテ破産ノ宣告アリタルトキ ○相續債權者ニ付
第四十二條 相續財産ニ對シテ破産ノ宣告アリタルトキハ相續債權者及受
遺者ノ債權ハ ○相續開始後ノ前戶主ノ債權者ノ債權ニ先ツ

相續債權者ノ債權ハ受遺者ノ債權ニ先ツ
第五十一條 破産財團カ財團債權ノ總額ヲ辨濟スルニ不足ナルコト分明ナ
ルニ至リタルトキハ財團債權ノ辨濟ハ法令ニ定ムル優先權ニ拘ラス未タ

辨濟セサル債權額ノ割合ニ應ジテ之ヲ爲ス但シ財團債權ニ付存スル留置
權、特別ノ先取特權、質權及抵當權ノ效力ヲ妨ケス

第四十七條第一號乃至第七號ノ財團債權ハ他ノ財團債權ニ先ツ
第六十一條 取引所ノ相場アル商品ノ賣買ニ付一定ノ日時又ハ一定ノ期間

内ニ履行ヲ爲スニ非サレハ契約ヲ爲シタル目的ヲ達スルコト能ハサル場合ニ於テ其ノ時期カ破産宣告後ニ到來スヘキトキハ契約ノ解除アリタルモノト看做ス此ノ場合ニ於テ損害賠償ノ額ハ履行地又ハ其ノ後ノ相場ノ標準ト爲ルヘキ地ニ於ケル同種ノ取引ニシテ同一ノ時期ニ履行スヘキモノノ相場ト賣買ノ代價トノ差額ニ依リテ之ヲ定ム

前條第一項ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル損害賠償ニ付之ヲ準用ス

第一項ノ場合ニ付取引所ニ於テ別段ノ定ヲ爲シタルトキハ其ノ定ニ從フ第三百十四條 相續財産ニ對シ破産ノ申立ヲ爲スコトヲ得ル期間内ノ申立

ニ因リ相續人ニ對シテ破産ノ宣告アリタル場合ニ於テ ○ハ相續人ノ債權者ニ限リ強制和議ニ關スル決議ニ加ハルコトヲ得

和議法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年二月十七日

右特別委員長

伯爵松平 賴壽

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵松平賴壽君演壇ニ登ル〕

○伯爵松平賴壽君 唯今議題ニナリマシタ破産法案及ビ和議法案ノ特別委員會ノ經過及ビ結果ヲ御報告イタシマス、特別委員ニ御付託ニナリマシテ、特別委員會ニ於キマシテハ、之ヲ再ビ小委員ニカケマシタノデゴザイマス、小委員ニカケマシタ結果、小委員ニ於キマシテハ此破産法ハ修正ノ上可決ヲ致シタ、又特別委員會ニ於キマシテモ小委員會ノ可決通り可決ニナリマシタ次第デゴザイマス、此破産法ニ付キマシテハ、本議會ニ於キマシテ政府委員ヨリ詳シイ御説明モゴザイマシタシ、又小委員會ノ速記録デモ皆サマ御承知ノコトト存ジマスルカラ、餘リ詳シクハ申上ゲナイ積リデ居リマス、破産法ノ是ハ現行ノ破産法トハ全然別ナモノト御承知ナッテ宜カラウト思ヒマス、此法案ヲ作ラレマシタノハ、明治三十五年頃デ、司法省デ調査ヲ致シマシテ一時公表ヲシタサウデゴザイマス、其後色々不備ノ點等ゴザイマシテ修正其他ヲ加ヘマシテ、出來上リマシタノハ、大正三年ニ此法案ガ出來上リマシテ、其

後調査ニ調査ヲ積ンデ是ガ本議會ニ上ボリマシタ次第サウデゴザイマス、デ此法案ノ大體ノコトニ付キマシテ申上ゲマスレバ、現行法ハ即チ商法ノ一部ニアリマシテ、商人ノミニ關スル規定ノヤウニナッテ居リマスルガ、此法案ハ左ニアラズシテ商人及ビ非商人、商人デナイ人ニ對シマシテモ之ヲ適用ガ出來ルヤウニシタノデゴザイマス、玆ニ現行法ト只今ノ法案ノ違ヒヲ少申上ゲテ見タイト思ヒマス、只今申上ゲマシタ通り商人非商人ヲ問ハズシテ、總テ破産ノ状態ニ陥ル者ニ付テハ破産ノ宣告ヲシ、其他破産法ノ規定ヲ適用スルモノデアル、即チ申シ換ヘマスレバ、一般破産主義ト云フヤウナ形ニ相成ッテ居ルノデゴザイマス、又其次ニゴザイマスル中ノ、現行法ニ於テハ此破産財團、即チ破産ニ依テ押ヘマシタモノ、破産債權者ニ分配スベキ財産ト云フモノハ、破産者所有財産全部、即チ破産宣告ヲ受ケタル後ノ破産者ガ相續又ハ他ノ理由ニ依テ得タル所ノ財産モ其中ニ含ンデ居ルト云フコトデアリマス、今度出來マスル法案ニ於キマシテハ、破産者ノ破産宣告ヲ受ケタルトキニ持ッテ居リマシタ財産ダケヲ、即チ破産財團ト云フモノニ致シマシテ、其後ニ贈與又ハ相續ニ依テ受ケマシタ財産ハ、是ハ破産財團以外ニ置キマシテ、處理ヲスルト行フコトニナッテ居リマスル次第デゴザイマス、又此現行法ニ於テハ、全クナイト申シテ宜シウゴザイマセウカ、又不明ト申シマセウカ、解釋ニ苦シンデ居リマスルコトデアリマスガ、ソレハ相續財産ニ對シマシテ破産ヲ認メ、相續財産ヲ相續人ノ固有財産ト別ニ分ケマシテ、破産ニ於ケル所ノ整理ノ途ヲ開キ一面ニ於キマシテハ被相續人ニ對シマスル所ノ債權者ノ救済ヲ圖リ、一面ニ於キマシテハ相續人ノ固有ノ債權者、即チ相續財産ト云フモノト相續人ノ所有シテ居リマスル固有ノ財産ト別々ニ分ケマシテ、各ノ債權者ノ利益ヲ得ルヤウニ致シマシタ規定ニナッテ居ルノデアリマス、ソレカラ此法案ノ中ニハ財團債權ト云フモノ及ビ否認權、取戻權、別除權、相殺權等ニ關シマスル所ノ規定ヲ明カニ致シマシテ、一般債權者ノ權利ハ別ニ引離シマシテ、此疑惑ノナイヤウニ致シテ居リマスルノデゴザイマス、現行法デハ、此破産ニ付キマシテハ、唯今マデ地方裁判所ニ於キマシテ管理ヲ致シテ居リマシタデアリマスルガ、事件ノ處理ヲ迅速ニ圖ル爲ニ、又破産ニ關係ノゴザイマスル人ノ便利ヲ圖ル爲ニ、今度ノ法案ニ於キマシテハ、之ヲ區裁判所ニ置キマシタノデゴザイマス、ソレカラ其他誠ニ破産ト云フ誠ニ慘メナコトニナリマスルノデ、ソレヲ緩和スル爲ニ強制和議ト云フ規定ヲ置キマシテ、破

産ノ苦シイ目ニ會ヒマスルノ廢止ヲスル、破産廢止ノ規定ヲ設ケマシタノ
デゴザイマス、又今マデハゴザイマセスデアリマシタガ、破産財團ガ比較的
僅少ノ場合ニ付キマシテハ、之ニ小破産ト云フ名ヲ付ケマシテ、簡單ナル破
産手續ニ依テ之ヲ取扱フト云フ手續デゴザイマス、此中ニ於キマシテ一應申
上ゲテ置キタイノハ、此強制和議ト申シマスルコトハ、債權者集會ヲ元ト致
シマシテ、債權者集會ノ申出等ニ依リマシテ、裁判所ガ之ヲ認可シテ強制和
議ヲ執行シテ行ク、即チ申シマスレバ融和ヲサシテ參ル、債權者、債務者ノ
御互ノ利益ヲ圖ツテヤルト云フ方法デゴザイマス、又此破産財團ノ僅少ノ場合
ヲ小破産ト申シマスルノハ、凡ソ一万圓以内ノ債權ニ付キマシテノ方法ニ取
テ居ル次第デゴザイマス、此法文ノ大體ニ付マシテ一應申上ゲテ置キタイノ
デスガ、此法文ノ第一編ハ即チ實體規定ニナツテ居リマス、實體規定ハ本編ニ
規定シテ居ル所ノ諸般ノ事項ニ互リマシテ、破産ノ效力ヲ始メトシ、破産ノ
目的デゴザイマス所ノ財團、各種債權ノ破産ニ於ケル所ノ效力、法律行為ノ
否認、其他法律行為ニ及ボシマスル所ノ破産ノ影響竝ニ破産手續外ニ於キマ
シテ行ヒマスル所ノ財團債權、取戻權、別除權、相殺權等ノ特別ノ權利ニ付
テ、一編ハ全部規定シテゴザイマスルノデゴザイマス、二編ニナリマシテ、
是ハ手續ニナルノデゴザイマシテ、破産裁判所ノ管轄竝ニ裁判所ノスル行為
ノ準則ヲ定メマシタリ、破産開始ノ手續、或ハ破産手續ニ關與イタシマスル
所ノ、諸機關ノ……總テノ機關ノ組織及ビ權限ニ關シテ定メテゴザイマス、
總テノ權限ニ關シマスル所ノ詳細ナル規定ヲ設ケマシテ、破産債權ノ届出ヲ
致シマスルコトトカ、或ハ其調査或ハ配當ノ手續ヲ明カニ致シマシタリ、破
産者及ビ破産者ノ調和ニ基ク、即チ只今申上ゲマシタ強制和議ノ手續及ビ其
效力、其結果出マスル所ノ破産ノ廢止ニ關スル規定ナドヲ定メマシテ、一般
ノ破産手續デハゴザイマス、其中ニ先程申上ゲマシタ、小破産ニ關シマス
ル手續、最後ニ至リマシテ罰則ガ是ニ附テ居ル次第デゴザイマス、附則ニ付
マシテハ民法施行法及ビ非訟事件手續法、或ハ商法、商法施行法等ノ規定ヲ
改メマシタリ、或ハ條文ヲ整理イタシマシタ、條文……文言バカリデゴザイ
マシテ、此法案……本法ガ出來マシタ結果、各法文ニ抵觸其他重複シテ居リ
マスル所等ガゴザイマスノデ、ソレヲ明カニ致シマシタノデゴザイマス、大
體ニ付キマシテハ御説明申上ゲマスルノハ是ダケニ止メテ置キマシテ、是ヨ
リ修正ノ理由ヲ一應申上ゲタウゴザイマス、修正ハ皆様ノ御手許ニ參テ居リ

マスル修正ノ條項ハ御承知デゴザイマセウガ、第一ニ申上ゲマスルト、法案
中第十二條ノ二項ヲ改メマシタノデゴザイマス、其理由ト致シマシテハ、相
續財產ニ對シマシテ破産ノ宣告ガゴザイマシタトキニハ、被相續人ガ相續人
ニ對シテ有ツテ居リマスル所ノ權利、及ビ相續人ガ被相續人ニ對シテ有シテ居
リマスル所ノ權利ハ、消滅ハ致サナイモノト見ナケレバナリナイデアリマ
ス、然ニ此本文第二項ニハ、相續人ガ被相續人ニ對シテ有シタル權利ヲ本文
ニ掲ゲテゴザイマセスノデ、掲ゲテナイト云フノハ寔ニ失態デアル故ニ是ハ
修正スベキガ當然デアルト云フコトデハ修正ニナリマシタ、其次、第三十
一條デゴザイマスガ、是ハ極ク末項ヘ唯「相續債權者ニ付」ト云フ字ノミヲ加
ヘマシタノデゴザイマス、此理由ハ民法ノ九百八十九條、即チ隱居、入夫結
婚ニ依リマスル家督相續、又ハ同法ニゴザイマスル九百九十一條ノ國籍喪失
ニ因ル家督相續、此場合ニ於キマシテハ先代ハマダ生キテ居リマスルノデ、
受遺者ナルモノガアルコトガ出來ナイノデアリマス、然ニ此本條ノ後段ニ於
テ前段ヲ受ケマシテ、「亦同シ」ト規定ガシテアリマスルノハ、文字上前段ノ
相續債權者ノミナラズ、受遺者ヲモ含ンデ居リマスルト云フコトニナリマス
カラ、言葉ノ上ニ於テ是ハ其意味ヲナシマセヌノデ、此處ヘ「相續債權者ニ
付」ト云フモノヲ入レマシテ、是ガ完備イタシマシタ次第デゴザイマス、次ハ
第四十二條ノ一項ノ中「相續債權者及受遺者ノ債權」ト申シマスルノヲ、相續
債權者及受遺者ノ債權ハ受遺者ノ債權又ハ「ト云フコトニ改メマシタノデア
リマス、是ハ本條ノ一項ニ於キマシテハ、相續債權者及受遺者ノ債權ハ相續
開始後ノ前主ノ債權者ノ債權ニ先ダツコトガアツテ、前主主ガアリマスル場
合ニハ受遺者ガアルモノノヤウニ此處デハ、前文デハ見エマスルノデアリマ
ス、デ相續財產ニ對シマシテ破産ノ宣告ガアリマシタトキニハ、先代ノ死亡
ニ依リ相續ノ場合デゴザイマスレバ、相續債權者ノ債權ト云フモノハ、受遺
者ノ債權ニ先ダツト云フ意ニナリマス、又隱居入夫結婚等ニ依リマスル相續
ノ場合デゴザイマスナラバ、相續債權者ノ債權ハ、前主主ノ相續開始後ノ債
權者ノ債權ニ先ダツモノトスルコトヲ可ト致シマスルノデアリマスカラ、此
二ツノ場合ヲ兩方併セマシテ、茲ニ意味ヲ現ハシマスルノニハ、斯ク修正ヲ
致シマセスト、其意味ヲ爲サナイノデゴザイマス、其結果ト致シマシテ、第
二項ヲ削除致シマシテ、前ノヲ明カニ致シマシタ次第デゴザイマス、第五十
一條ノ末項ニ條項ヲ入レマシタノハ、第四十七條ニ掲ゲテゴザイマス所ノ財

團債權ノ中一號カラ七號マデト云フモノハ、財團ノ保全又ハ管理ノ爲ニ生ジタ所ノ債權及ビ國稅公課ノコトヲ規定シテアリマシテ、何レモ第八、第九號其他ノ財團債權ニ對シテ優先ノ順位ヲ與ヘベキモノト見ルノデゴザイマスカラ、茲ニ前文ト同ジヤウナ順位ヲシテ置キマスルコトハ、當ヲ得ナイモノト看做シマシテ一項ヲ加ヘマシテ、前ノ順位ヲ明カニ致シマシタ次第デゴザイマス、其次ニゴザイマスルノハ六十一條デ、是ハ取引所ノ相場、商品ノ賣買ニ付テノ條項デゴザイマシテ、之ヲ修正致シマシタ理由ト申シマスルモノハ、取引所ニ於ケル所ノ取引ニ付キマシテハ、農商務大臣ノ認可ヲ受ケマシテ、總テ定メテアル營業細則ト云フモノガアリマシテ、其中ニ仲買人ノ破産ノ場合、即チ規定ニハ現ハレテ居リマセスガ、仲買人ノ破産ノ場合ニ於キマスル所ノ處分方法ヲ農商務大臣ガ定メル例トナッテ居リマス、ソレ故ニ此特別ノ規則ガアリマスルカラシテ、強ヒテ此法文中ニ之ヲ書カヌデモ、其例ニ依テ處理スルコトガ出來得ルト云フコトヲ明カニ致ス爲ニ、末項ニ一項ヲ入レマシタ次第デゴザイマス、終リニ第三十四條ヲ修正致シマシタノハ、是ハ相續人ガ破産ノ場合ニ於キマシテ、相續財產ガマダ分離セラレマセヌ時期ニ於キマシテハ、果シテ相續人ノ債權者ガ有ルカ無イカ判明イタサナイ、從テ財產分離等ノ手續ガゴザイマセヌノデアリマスルカラ、即チ相續人ノ債權者ニ限ッテ強制和議ノ決議ニ加ハルコトヲ得ルモノトシタノハ、前ニ申上ゲタ通りデ、相續人ノ債權者ガマダ決ッテ居ラナイノデアリマスカラ、強制和議ニ入ルコトガ出來ナイト云フ譯ニナリマスルノデ、前段ヲ消シマシテ、之ニ「限定承認又ハ財產分離アリタルトキ」ト云フモノヲ加ヘマシタ次第デゴザイマス、此修正ニ付マシテハ、政府モ同意ヲ致サレマシテ、是デ先ヅ本案ニ付キマシテハ完全シタモノト思フト云フ、政府カラノ答辯モゴザイマシタ次第デゴザイマス、ソレト同時ニ小委員會ニ於キマシテ、又特別委員會ニ於キマシテモ、是ハ可決シタノデゴザイマス、破産法ノ御報告ハ是デ了リマシタ、和議法案ニ付マシテハ、前ニモ政府ヨリ詳シク御説明ニナリマシタコトデゴザイマシガ、一應茲ニ申上ゲテ置キマス、現行法ニ於キマシテハ、支拂猶豫ノ手續ヲ定メテ居リマスケレドモ、破産外ノ和議ヲ認メテハ居リマセヌデシタ、破産外ノ和議トカ、或ハ破産防止ノ爲ニ致シマス所ノ和議ニ關スル立法ト申シマスモノハ、歐羅巴ノ地地利ノ法ガ一番完備シテ居リマスモノデゴザイマシテ、此本案ノ採リマシタ所ハ、此歐羅巴ノ法ニ則リマシテ、其立法ヲ致シマシタ

次第ナノデゴザイマス、其趣意ヲ即チ此和議法ノ第一條ノ中ニ現ハシ、破産ノ防止ヲ目的トスルモノデアルト云フコトヲ申シテ居リマス次第デゴザイマス、又債務者ニ取リマシテモ、破産防止ニ依リマスルト慘禍ヲ免レルコトヲ得ラレルモノデアリマス、債權者ト致シマシテモ、御互ノ協和ニ依リマシテ、圓滿ナル自分ノ權利ノ實行ヲスルコトガ出來テ、即チ社會政策ニ資スル所ガ多イト云フ意味デゴザイマス、此法案ニ付キマシテハ、何ノ修正モゴザイマセズ、全部可決イタシマシタ次第デゴザイマス、茲ニ申上ゲテ置キタイノハ、和議ト申シマスル意義ニ付テノ、委員ヨリ御質問ガゴザイマシタ、此意義ニ付キマシテハ別段……何ト言ッテモ宜イノデアアルガ、此破産法ニ於キマシテ、強制和議ト云フ言葉ヲ使ッテ居リマス、又和議ト申シマス原語ハ、獨逸及ビ地地利ノ原語ニ依テ、之ヲ茲ニ現ハシタコトデアルト云フ御説明デゴザイマシタ、最終ニゴザイマスル附則ノ中ニ於キマシテ、「和議手續參加ハ時効ノ中斷ニ關シテハ之ヲ裁判上ノ請求ト看做ス」、此文言ハ委員中ヨリ質問ガゴザイマシテ、是ハ妙ナ場所ニ規定シテアルガ、ドウ云フモノデアラウト云フ御話ガゴザイマシタガ、是ハ各色ノ法案ニ關係ヲ持ッテ居リマスノデ、此和議法ノ中ノ條項ニ入レル場所モナイノデ、已ムヲ得ズ茲ニ載セタト云フ御説明ガゴザイマシタ、委員會ノ經過ハ是ダケデゴザイマシテ、和議法モ修正ナク可決ヲ致シタ次第デゴザイマス、右御報告申上ゲマス

「矢口長右衛門君發言ノ許可ヲ求ム」

○議長(公爵徳川家達君) 矢口長右衛門君ハ……

○矢口長右衛門君 私人質問ヲ致シタイ、簡單ノコトデアリマスカラ、演壇デナイ、自席デ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス、大キナ御聲デ願ヒマス

○矢口長右衛門君 只今委員長ヨリ御報告ニナリマシタ破産法及ビ和議法ニ付キマシテ、詳細ナル御説明ガゴザイマシテ、殆ド之ニ付テハ異議ハゴザイマセヌ、併シ唯一ツ茲ニ私が異議ノゴザイマスモノハ、先刻委員長ガ篤ト報告サレマシタ和議ト云フ二字デゴザイマス、只今委員長ハ、是ハ獨逸カラ來タ言葉デアアル、又破産法ニ既ニ強制和議ト云フ言葉ガアルカラ、ソレデサウ云フ風ニナッタト云フ御説明デアリマシタガ、獨逸ノ言葉ヲ直接ニ、所謂直譯ヲ致シマスレバ、和議ト云フコトニナリマセウガ、精神ヲ解釋シマス、和解ト云フ言葉ニ翻譯イタシマスレバ、相當ニナルカト本員ハ考ヘマス、總テ直譯

的ニ意義ヲ解シマスレバ、和議ト云フ字ハ所謂平和ノ會議トカ、或ハ合議トカ云フノデアリマシテ、適當ナノカハ知リマセスケレドモ、今日ハ既ニ和解ト云フ言葉ハ、多年ノ習慣トナツテ既ニ何人モ怪マヌ言葉デアリマス、チヨトアノ事件ハ和解ニナツタ、其言葉ヲ聞ケバ別ニ解釋ヲ付ケル必要ガナイヤウナ言葉デアル、デアリマスカラ、何ガ故ニコナムヅカシイ言葉ヲ使ツテ、モウ少シ簡明ナ、モウ少シ通俗的ノ言葉ヲ使ハナカッタカト云フコトヲ、甚ダ私ハ遺憾ニ存ズルノデアリマス、委員長ノ詳細ナル説明ガアリマシテ、私ハソレニ反對スルモノデアリマセヌ、最早全委員ガ一致シマシテ茲ニ發表ニナリマシタ以上ハ、無論多數ヲ以テ通過スルデゴザイマセウガ、其邊ノ事ニ付テモウ少シ攻究ガアッタラバ宜カラウカト思フノデゴザイマス、是ハ司法當局ニハ隨分學者モゴザイマセウケレドモ、議員諸君ニモ隨分實地ニ明ルイ方モゴザイマスルカラ、其邊ニ付テ今少シ御研究ヲナサツタラ如何ナモノカ、斯ウ云フ私ハ疑義ガゴザイマス、ソレニ付キマシテ委員長ニ其事ヲ質問イタシタイノデゴザイマス

○伯爵松平賴壽君 只今矢口サンカラ縷々御話デゴザイマシタガ、委員長ト致シマシテ登壇イタシマシテ御説明ヲ申上ゲマシタノデゴザイマスガ、マダ詳シク各委員ニ於キマシテ略々了解イタシマシタコトハ、此小委員會ノ第九號ノ速記録ニ書イテゴザイマス、定メシ矢口サンモ御讀ミニナリマシタラウト私ハ存ジマスノデゴザイマスガ、是ハ私ヨリ申上ゲルヨリハ、政府委員ヨリ御説明ヲ願ヒマシタ方ガ明カニ御分リニナルダラウト存ジマスシ、我々共モ委員會ニ於キマシテ政府委員ノ説明ヲ聽キマシテ略々了解ヲ致シタ次第ナノデゴザイマスカラ、私共ノ申上ゲルヨリハ政府委員ノ御説明ノ方ガハッキリ致シテ宜カラウト存ジマスカラ、其事ヲ矢口サンニ申上ゲマス、改メテ政府委員ニ御問ヲ願ヒマス

○矢口長右衛門君 デハ政府委員ニ、要領ダケデ宜シウゴザイマスカラ御説明ヲ願ヒマス、簡單デ宜シウゴザイマス

〔政府委員山内確三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(山内確三郎君) 御尋ノ趣旨ハ何故ニ慣レ來ツタ和解ト云フ文字ヲ使ハズシテ、和議ト云フヤウナ新シイ文字ヲ使ツタカト云フコトガ、御質問ノ趣旨ト考ヘマスガ、是等ハ大分議論ノアッタコトデアリマシテ、和解ト云ヘバ御承知ノ通り契約デアル、然ニ強制和議ニ致シマシテモ破産ノ和議ニ致シ

マシテモ、是ガ契約デアルカ和解デアルカ、決議デアルカト云フコトニ付テハ隨分議論ガアルノデアリマス、併ナガラ少ナクトモ和解契約ト是ガ同ジデナイト云フコトダケハ分ルノデアリマス、即チ多數決ニ依テ之ヲ決メテ之ヲ裁判所ノ認可ニ依テ一ツノ法律行為ガ出來ルノデ、之ヲ和解ト云フコトニナルト……書クト、直チニ一ツノ疑問ガ起ルカラ、即チ契約說ニ似タヤウナコトニ言ハレテハ困ルト云フノデ、是ハ起案當時ニ於テ學者ニ議論ガアッタノデアリマス、結局和解ト同ジデナイト云フ趣旨ニ於テ、和解ト云フ文字ヲ用ヒナイノデアリマス、和議法ニ於テモ、破産法ニ於テモ此和議ト云フ文字ヲ用ヒマシタ趣旨ハ其點ニ外ナラヌノデアリマス

○矢口長右衛門君 然ラバモウ一度政府委員ニ伺ヒマスガ、現行法ニ協解ト云フ言葉ガ……所謂協調ノ協ニ解釋ノ解、サウ云フ文字ガゴザイマスガ、其文字ナドノ方ガ寧ろ適當デハゴザイマセヌデセウカ、ソレヲ政府委員ニ伺ヒマス

〔政府委員山内確三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(山内確三郎君) 御答ヲ致シマスガ、現行法ニハ、協解ト云フ文字ハ無イノデゴザイマス、協解契約ト云フ文字ガアリマス、サウシテハ契約說カラ探ツテアルノデゴザイマスガ、協解ト云フ文字ヲ用ケルノガ、和議ノ本質ニ付テ解釋上ノ誤ヲ來ス虞ガアルト云フノデ、其文字ヲ避ケタノデアリマス

○矢口長右衛門君 私ハ飽クマデ質疑ヲスル積リデハゴザイマセヌ、是デ質問ハ止メテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 採決ヲ致シマス、先ヅ問題ニ供シマスノハ日程第九、破産法案ト御承知ヲ請ヒマス、本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○伯爵松平賴壽君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、初メヨリ第十一條マデ問題ニ供シマス、原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、次ハ第十二條ヲ問題ニ供シマス、委員會ノ修正ニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、次ハ十三條ヨリ三十條マデヲ問題ニ供シマス、原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、次ハ第三十一條、委員會ノ修正通リデ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、次ハ第三十二條ヨリ第四十一條マデ問題ニ供シマス、原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、次ハ第四十二條、委員會ノ修正ニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、次ハ第四十三條ヨリ第五十條マデヲ問題ニ供シマス、原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、次ハ第五十一條、委員會ノ修正通リデ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、次ハ第五十二條ヨリ第六十條マデ問題ニ供シマス、原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、次ハ第六十一條ヲ問題ニ供シマス、委員會ノ修正通リデ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、次ハ第六十二條ヨリ第三百十三條マデヲ問題ニ供シマス、原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、次ハ第三百十四條ヲ問題ニ供シマス、委員會ノ修正通リデ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、次ハ第三百十五條ヨリ三百九十一條マデ問題ニ供シマス、原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、是ニテ第二讀會ハ終リマシタ

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

「其他」賛成」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 次ハ日程第十、和議法案ヲ問題ニ供シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセ

ヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、直チニ第二讀會ヲ開キマス、全部問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

「其他」賛成」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 内務大臣ガ出席セラレマシタカラ、日程第八ニ戻リマス

○阪本鈺之助君 先刻來大分中斷イタシマシタガ、便宜上モウ一應要點ヲ述べマシタラ如何デアリマスカ、御答下サルナリ、又拜承イタスナリ、便利ダラウト考ヘマスガ……

○議長(公爵徳川家達君) 其方ガ宜シカラウト議長モ考ヘマス

○阪本鈺之助君 午前ニ質問ヲ致シマシテ、縷々申述マシタガ、其後司法當局ノ御答辯モアリ文部大臣ノ御答辯ガアリマシタカラ、内務大臣ニ御尋ヲ致ス要點ダケヲモウ一應繰返シテ述べタイト存ジマス、立法ノ御趣旨ハ司法省ノ政府委員ヨリ承ハリマシテゴザイマスガ、ソレニ付キマシテ内務省ハ警察上ヨリ之ヲ實行セラレル上ニ付テ如何ナル御考ヲ御持チニナッテ居ルカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、第一條ノ「無政府主義、共產主義其ノ他ニ關シ

朝憲ヲ紊亂スル事項」云々ト云フコトガアル、即チ此朝憲紊亂ト云フコトハ國憲紊亂ト違ヒガ無いト云フ司法當局ノ御見解デアリマスガ、本員ノ如キハ朝憲ト云フヨリハ國憲ト云フ字ヲ御使用ヒニナッテ方ガ明瞭デ宜カッタト存ジマスケレドモ先ヅ原案ハ朝憲デアアル

「副議長侯爵黒田長成君議長席ニ著ク」

朝憲デアアル、而シテ無政府主義共產主義ト云フモノガ、即チ朝憲紊亂ノ一ツノ例ヲ示サレタモノデアアル、其他之ニ類スル朝憲紊亂ノ行爲ト云フコトニナルノデアリマス、趣旨ハサウスルト内務大臣ハ之ヲ執行スル上ニ於テドウ云フモノヲ朝憲紊亂トセラルルノデアアルカ、蓋シ共產主義無政府主義ト云フモノニ類推シテ行クノデアアルカラ、餘程重イモノデアルト存ジマス、併シ見様ニ依リマススト云フト、朝憲紊亂ト云フコトハ大分微細ノモノニマデ及ブ虞ガアルノデアリマス、若シモ無謀ナ政府ガ出テ來マシテ、極ク些細ナコトデモ之ヲ朝憲ト稱スル、即チ政府ノ採ッテ居ル所ノ方針トカ若クハ法律勅令等ニ示シテ居ル事柄ヲ、之ヲ攪亂スルヤウナ行爲ガアルトシテ、或場合ニ或者ヲ檢束スルトカ云フヤウナコトガ、隨分爲シ得ル餘地ガアリハセヌカト云フコトノ疑ガアルノデアリマスガ、現ニ内務大臣ハ之ヲドウ云フ風ニ御解釋ニナッテ御執行ニナル御考デアリマセウカ、モウ一ツ適切ノ例ヲ舉ゲテ見マスルト、昨今ヤカマシクナッテ居ル普通選舉ノ問題ノ如キ、即チ國家ガ法律トシテ決メテ居ル所ノ、見様ニ依テ朝憲デアアルノデアアル、ソレヲ朝憲ヲ一時ニシテ變更シヤウト云フノデ騷ギ立テルヤウナコトハ、朝憲紊亂デアルト云フコトヲ以テ追究スレバ、スルコトガ出來ルヤウニナリハセヌカ、ナッテ大變デアリマスケレドモ、左様ナコトヲ若シ時ノ政府ガ解釋ノ如何ニ依ッテハ爲サルト云フコトデアレバ、是ハ大變ナコトデアリマスガ故ニ、ドノ邊マデ朝憲紊亂ニナルカト云フコトヲ伺ッテ見タイト思フノデアリマス、ソレカラ第二ハ第三條ノ社會ノ根本組織ヲ變革スルト云フコトガ、本員ノ見ル所デハ第一條モ此中ニ含ンデ居ルト云フカ、第一條ガ此法文ヲ含ンデ居ルノカ、兎ニ角重複シテ居ル點ガアル、然ニ之ヲ別ニ書カレタト云フコトハドウ云フ趣意デアルカト云フコトハ、司法當局ガ御答ガアリマシタガ、此一條ト三條トノ矛盾ノ點ニ付テ少シ明瞭ヲ缺イタ御答辯デアリマシタガ、是ハ追究ハ致シマセヌデシタ、内務大臣ハ即チ此社會ノ根本組織ヲ變革シテシマフト云フコトハ、ドウ云フ風ニ御認メニナッテ、警察上ノ御職務ヲ御執リニナルノデアリマ

セウカ、之ヲヤリヤウニ依テハ隨分危險ノ場合ガアリハセヌカ、危險ト申スコトハ寧ロ被治者ノ方カラ申スト、政府ノ方ニハ非常ニ都合ガ宜クテ、被治者ノ非常ニ危險ナ場合ガアリハセヌカト思フノデアリマスガ、如何ナル御解釋ヲ御探リニナルカ、又如何ナル御覺悟デアルカト云フコトヲ伺ッテ見タイ、即チ今日社會主義者ト稱スルモノヲ、政府ハ嚴重ニ御取締ニナッテ居ッテ、一度社會主義者ト云フコトニナリマス、何時迄モ此人ガ追究セラルルノデア、甚シキハモウチョット翻譯シタ、全ク翻譯實ヲ取ル爲メニ翻譯ヲシタノデアルトカ、或ハ社會主義者カラ手紙ガ來タト云フヤウナコトガ一種トナッテ、遂ニ社會主義者ト看做サレテ、何時マデモ巡查ガ附イテ廻ルト云フコトニナレバ社會上ノ位置ヲ遂ニ其人ハ失ッテシマヒ、遂ニハ自暴自棄ノ極、本當ノ社會主義者ニナルト云フヤウナコトガナイデモナイ、是ハ例ヲ申スノデアリマスガ、又新シク斯様ナ法律ガ出來テ極ク些細ナ所マデ追究スルト云フコトニナルト、一層社會ノ秩序ヲ紊亂スル虞ガアルト思ヒマスガ故ニ、現在ノ執行者ハ如何ナル方法ヲ御探リユナルカト云フコトヲ承ッテ見タイノデアリマス、ソレカラ終リノ説明ヲ見マス、外國ノ同志ト相提携シテ過激主義ノ宣傳ヲ爲サムトスルモノガ漸ク多クアリマスガ、先ヅ法律ヲ必要ト御認メニナッタノハ外國ノ同志ノ者ト提携シテ、過激主義ヲ鼓吹スルト云フコトガ段々多クナルカラ之ヲ取締ラナケレバナラヌト云フ御趣意ノヤウデアリマスガ、此外國ノ同志ト云フノハドウ云フ有様ノモノデアルカ、是ト提携スル有様ハドウデアアルカト云フコトガ、實ハ法律ノ可否ヲ決スル爲ニ承ハル要ガアルノデアリマス、是ハ併シ公開ノ席上デ御述べ下サルコトガ御迷惑デアレバ我々ハソレヲ拜聽スルコトハ出來ヌカモ知レヌケレドモ、併シ或程度マデ拜聽スルコトガ出來レバ承ハリタイ

〔議長公爵德川家達君議長席ニ復ス〕

是ガ出來スト仰シヤルナラバ、何等カノ機會……豫算委員會等ニ於テ承ハルノガ相當ト思ヒマスガ、自分ハ豫算委員デハナイ、若シ何處カデサウ云フコトヲ御述ニナリマス機會ガアレバ、ソレヲ傍聽シテモ宜シイ、是非本員ハ決議前ニ當ッテ、御差支ナイナラバ、承ハリタイ、若シ此席ニ於テ差支ナケレバ伺ヒタイ、此四ツノ點ヲ承ッテ置キタイノデアリマス

〔國務大臣床次竹二郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(床次竹二郎君) 御答ヲ致シマスガ、前段ニ御申シナリマシタ

所謂御話ノ中ニ微細ノコトマデ此法ニ依テ照シテ處斷スル積リデアルカト云フ御話デアリマシタガ、左様ナ考ハ持チマセヌ、尤モ如何ナルコトヲ朝憲ヲ紊亂、若クハ社會ノ根本組織ヲ破壞スル、斯ウ取ルカト云フコトニ付マシテハ、是ハ司法當局ヨリ解釋ニ依テ御答ヲ致シマシタ通り、實際ニ臨ンデ解決スベキ事柄ト考ヘマスカラ、今解釋ニ付テハ私ヨリ御答ヲ申上ゲマセヌ、ソレカラ大體仕舞ニ至リマシテ御尋ネノコトハ、我ガ社會主義者ト外國ノ過激派ノ人ト、近來連絡ヲ取ッテ此主義ヲ宣傳ヲ致シテ居ルカト云フヤウニ、私共ノ取扱上ヨリ察セラルルノデア、殊ニ近イ所デハ上海ニ居リマスル過激派ト、日本ノ主義ト連絡ヲ取ッテ、昨年ノ夏頃デアリマシタカ、革命運動ノ爲ニ幾分カ資金ヲ調達シ、又其上ニ調達セムト致シタ事柄モゴザイマス、ソレカラ昨年ノ暮デアリマシタ、不穩ナル宣傳ビラヲ、過激主義ニ關スル宣傳ビラヲ、多數ニ頒布致シタコトガアリマシテ、是等ハ其儘ニ致スト云フコトハ宜シクナカラウト考ヘタノデアリマス、又或主義者ハ昨年ノ秋デアリマシタ、同志ト革命ヲ目的トスル秘密結社ヲ組織イタシタコトモゴザイマス、是ハ解散イタシマシタガ、左様ナコトガアリマシタ、尙又昨年ノ十一月デアリマシタカ、外人デ日本ニ過激主義ヲ宣傳ヲ致ス目的ヲ以テ、其運動資金ヲ供給スル考デ渡來イタシタコトガアリマシタガ、是等ハ我ガ主義者ト會見スルニ先ヅッテ其事件ヲ探知シテ、遂ニ其外人ニハ退去命令ヲ致シタコトガゴザイマス、例ヲ申上ゲレバ右様ノ次第デアリマス、斯ノ如キ狀態ニナッテ、今後ヲ考ヘマスレバ、今外國トノ連絡モ取ッテ其運動ガ盛ンニナルヤウナコトニ相成リマシテハ、甚ダ我ガ國家社會ノ爲ニ宜シカラヌト考ヘマス、即チ先刻司法當局ヨリ申上ゲマシタ如ク、是等ヲ取締ル爲ニ或ハ刑ガ輕イ、或ハ又法ガ不備デアリマス、茲ニ此法ヲ制定スルノ必要ガアル次第デアリマス、左様デゴザイマスカラ只今御尋ノ中ニ普通選舉云々ト云フヤウナ御言葉モアリマシタガ、尤モ此法ノ制定ノ理由ガ前申上ゲル通りノコトデゴザイマスカラ、之ニ依テ御了解ヲ願ヒマス

○阪本鈺之助君 一應御答辯ハ拜承イタシマシタガ、司法省ノ政府委員ノ御答ヲ得マシタノハ、主トシテ立法上カラ見た法文ノ解釋ニ付テ承ッタノデアリマス、之ヲ運用スル上ニ付テノ精神ト云フコトニハ觸レテ居リマセヌ、又左モアルベキコトデアリマス、特ニ御多忙中今日內務大臣ノ御出席ヲ願ヒマシタノハ、此案ニ御副署ニナッテ居ル、即チ司法大臣ハ之ヲ執行スル上ニ付

テ、即ち裁判所ノ御關係ハ司法省デナサルモノデアリマスルガ、之ヲ司法處分ニ移スマデノ順序ヲ御取リニナルモノハ内務大臣ノ御仕事デアリマス、平素國內ノ安寧ヲ御保チニナルノガ内務大臣ノ最モ主タル御職務デアリマスル故ニ、此法律ガ出タ以上ハ第一條ト、第三條ト如何ニ御解釋ニナツテ居ルカ、内務大臣ヨリ承ルノガ必要デアラウト存ジテ御出席ヲ煩ハシタノデアリマスガ、只今ノ御答デハ誠ニ詮ナイコトデアリマス、御差支ノアルコトハ致方アリマセヌガ、御差支ナイ限リハ此點ニ付テモウ少シ御話ヲ承リタイノデアリマス、此第三條ト第一條トハドウシテモ私共ガ見マスルト重複カ若クハ足ラナイ、ドチラカドウモ變ナモノダト思ヒマス、是モ矢張御副署ニナツテ居リマスルカラ、内務大臣ハ第一條ト第三條ト斯ノ如キ區別ヲ以テ見ルノデアルト云フ、自分ガ警察ノ長官トシテ之ヲ執行セシムル上ニ於テハ、斯様ナ解釋ヲ以テ臨ムノデアルト云フ御考ハ一ツ是非承ツテ見タイ、尙ホ極ク微細ナ所デスガ、憲法ヲ紊亂スルト云フコトハ憲法ノ所謂改正デモ企テルトカ、若クハ憲法附屬ノ重要ナル法律ノ改正ニ付テ宣傳スルト云フヤウナコトハ、朝憲案亂ニ觸レルノデアルカ、觸レヌノデアルカ、是亦内務大臣ハ警察長官トシテドウ御解釋ニナツテ居ルカト云フコトヲ、是ハ別ニ承リタイ、先ニ申シタ方ノコトハ即チ第一條ト第三條ト御執行ニナル上ニ付テ如何ナル範圍、如何ナル程度ニ於テ御ヤリニナル御考デアルカト云フコトヲ先ヅ第一ニ伺ヒタイ

〔國務大臣床次竹二郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(床次竹二郎君) 御答イタシマスガ、此文字ノ解釋等ニ付テハ司法當局ヨリ御答ヲ致ス方ガ間違ヒアリマセヌ、左様ニドウゾ御承知ヲ願ヒタイト存ジマスガ、先程申上ゲタ如ク内務關係カラ申シマスレバ、日本ノ今ノ現狀ニ於テ革命運動ノ現レテ居ル所ガ前申上ゲタ通りノ次第デゴザイマスカラ、是等ヲ取締ルニ如何ナル法文ヲ要スルカト云フト、是ダケノ法文ヲ要スル次第デアアルノデアリマス、朝憲案亂ノ解釋ハ司法省ヨリ御聽取リヲ願ヒタイノデアリマス、兎モ角我が國憲ヲ無視シテ、之ニ不法ノ紛更ヲ企テルコトヲ宣傳スル者ガアツタ時分ニ、是ハ取締ラナケレバナルマイト考ヘルノデアアル、第三條ノ根本組織ハ是亦司法大臣ヨリ御聽キヲ願ヒタイノデアリマスガ、併シ濫ニ私有財産ノ制度ニ變革ヲ企テムトスル如キハ是ハ取締ラナケレバナルマイカト思ヒマス、デ朝憲案亂ト左様ナ社會ノ根本組織ヲ不法ニ變ヘルト云フノトハ、ドレダケ違ヒガアリマスカ、是ハドウゾ司法當局ノ方カラ御

聽キヲ願ヒタイト思ヒマス、今例ヲ申上ゲマシタ所トハ異ツテ居ルト思ヒマス
○阪本鈺之助君 内務大臣ハ矢張此成文ニ御副署ニナツテ居ル御一人デアアル、殊ニ此法律ヲ執行ナサル御立場デアリマスカラ、司法省ニ聽クコトハ既ニ午前ニ承ツタノデアリマス、尤モ御答辯ニナラナイト云フコトデアレバ、強ヒテ質疑ハ致シマセヌ、唯併シ只今ノ御答ノ中ニモ、第三條ハ財産ノ私有ヲ無視シテ云々ト云フコトガアリマシタ、即チ第一條ニ共產主義トアル、共產主義ハ即チ財産ノ私有ヲ無視スル事柄デアルカラ、第一條ガアレバ只今ノ御一例ノ如キハ第三條ニハ入レナクモ宜イコトデアリマス、唯ソレハ一例トシテデアリマシタガ、社會ノ根本組織ト云フコトニ付テハ、ドウ云フコトヲ變革ヲスルノガ惡イノデアルカト云フコトニ付テ、モウ少シ立入ッテ御解釋ガアリサウナモノデアアルガ、ソレハ司法省カラ聽イテ呉レ、左様ニ答ヘラレルカラ餘リ執拗ク申シマセヌ、殊ニ私ノ後ニ通告者ガアリマスカラ、通告者ハ矢張是等ノ點ニ付テ御尋ガアラウト思ヒマスカラソレニ御譲リ致シマス、若シモ御尋ニナル御意思ガナカッタラバ、只今ノコトニ付テモウ既ニ御了解ニナツテ居レバ宜シイガ、私同様ニ御了解ニナリマセヌナラバ次ノ通告者ヨリ御尋ヲ願フコトニ……本員ハ一ト先ヅ打切りマス

○伯爵柳澤保惠君 極メテ簡單ナノデアリマスカラ此席ヨリ質問イタシマス、私ノ質問セムトスル所ハ、阪本君ノ只今ノ御言葉ノ如ク合致スルヤ否ヤ存ジマセヌ、私ノ第一ニ御尋致シタイノハ第一條ノ文句、無政府主義、共產主義、其他ノコトニ關シ何故ニ此二ツノ主義ヲ殊更ニ御書キニナツテ、マダ其他ニモ之ニ類スル主義、言葉ニテチヨット申上ゲルヤウナコトガ憚ルヤウナ極端ナ主義モアリマス、サウ云フヤウナモノヲ御書キニナラヌデ、此二ツヲ御書キニナツタカ、後ハ「其ノ他」ト云フ中ニ御含メニナツタノデアリマセウト思ヒマスルガ、何故ニ此二ツダケヲ茲ニ御列舉ニナツタノデアアルカ、之ガ第一ノ質問、ソレカラ全條ニ付テ見マスルト、始メテ此法律ニ現レマシタル言葉ニ宣傳ト云フ字ガアリマス、是ハ餘程意味深長ノ言デアラウト思ハレマスガ、此宣傳ト云フ言葉ノ解釋如何ニ依テハ此法律ガ惡用サレルコトモアリマス、又善用サレルコトモアリマセウガ、此言葉ノ意味ヲ伺ッテ置キタイ私ハ自分ノ考ハアルガ申上ゲマセヌ、質問デアリマスカラ……其宣傳ト云フ意味ヲドウ云フ風ニ解釋シテ居ラレマスカ之ヲ伺ヒタイ、ソレカラ第三ハ此法案ガ兩院ノ通過イタシマスレバ、直ニ御公布ニナルコトト考ヘテ居リマスガ、左様

デアリマセウカ

〔國務大臣床次竹二郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(床次竹二郎君) 唯今ノ御尋ニ御答イタシマスガ、第三ハ兩院ノ御協賛ヲ得マスレバ、直ニ公布スル考デ手續ヲ執ル考デアリマス、ソレカラ宣傳ノ文字ノ解釋ト第一條ノ書方ニ付テノ御尋ハ、司法當局ヨリ御答ヲ致シタウゴザイマス

〔政府委員林頼三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(林頼三郎君) 唯今ノ御尋ニ對シテ御答ヲシヤウト思ヒマス、第一條ニ特ニ無政府主義、共產主義ト掲ゲデアリマスガ、是ハ要スルニ朝憲ヲ紊亂スル事項ノ例示デアリマス、近時取締ノ必要ヲ感ジマシタノガ斯ノ如キ主義ニ基ク朝憲紊亂ノ事項デアリマスカラ、之ヲ掲ゲタニ過ギナイノデアリマス、其他朝憲紊亂ノ事項ハ之ニ止マル次第デハナイト考ヘマス、其理由カラ「其ノ他ニ關シ朝憲ヲ紊亂スル事項」ト斯ウ云フコトニ書キマシタニ過ギナイノデ、ソレ以外ニ特別ノ理由ガアル次第デハゴザイマセス、ソレカラ朝憲紊亂ト云フ言葉ハ此法案ニ新シク使ヒマシタノデハ……

○伯爵柳澤保惠君 朝憲紊亂デヤアリマセス、政府委員ハ御聽キニナラヌヤウデアリマス、私ハ宣傳ト云フ字ヲ伺ッタノデアリマス、御聞エニナリマシタカ、宣傳ト云フコトガ……

〔政府委員林頼三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(林頼三郎君) 私ハ其點ニ對シテ是カラ御答スル積リデアリマシタガ……宣傳ト云フ言葉ハ此法案ニ初メテ使ヒマシタ言葉デゴザイマスガ、此法案ニ於テ特ニ意味ヲ有ッテ居ル譯デアリマセスノデ、宣傳ト云フ文字ノ普通ノ意味ニ此法案デモ使ッテ居リマス、從テ廣ク自己ノ意見、主義等ヲ傳ヘマシテ、之ニ同意ヲ求メルト云フヤウナ場合ハ即チ此宣傳ニ當ルト心得テ居リマス

○伯爵柳澤保惠君 第一ノ質問ニ對シテ無政府主義、共產主義ト云フ字ヲ使ッタノハ是ハ例示デアルト云フコトデアリマスガ、例示デアレバ尙ホ一層嚴シイ言葉ニシヤウモアッタラウト存ジマスルガ、是ハ先ヅ議論デアリマスガ……然ラバ何故ニ之ニ對スル言葉トシテモウ少シ抽象的ノ言葉ヲ、例ヘバ此議案ニアルヤウニ過激社會運動、過激主義トカ何トカ云フヤウナ、是等ニ嵌ル言葉ヲ御使ヒニナッタ方宜クハナイカト思ヒマスガ、是等ノ點ニ付テ御伺ヒ

致シタイ、ソレカラ宣傳ト云フコトハ普通ノ解釋ノ宣傳デアルト云フコトデアリマシタガ、普通ノ宣傳ト云フコトハ隨分廣イ意味ニ使ハレテ居リマス、

例ヘバ俺ハ無政府主義デアルト云フコトヲ明カニ標榜シテ居ル者モゴザイマセウ、斯ウシテ自分ノ主義ヲ申ス者モゴザイマセウガ、明カニサウ云フコトハ申サス、或ハ學校ノ講壇等ニ於キマシテ社會政策或ハ經濟政策ト云フヤウナモノヲ講義スル、所謂學者ノ中ニ於テモ斯様な主義ハ講義中ニ述ベルコトガアラウト考ヘマス、ソレハ單ニ自分ノ意見ヲ述ベルノミナラズ、或ハ諸家ノ說ヲ引說スルコトモアリマセウ、サウ云フコトモ場合ニ依レバ、シヤウニ依テハ過激思想ノ宣傳ニナルト、斯ウ見ラレルコトモアラウト思ヒマス、サウ云フ場合ニナリマス、是ハ中ニ御監視ガ非常ナコトニナッテ種々ノ方面ニ向ッテ相當ノ教育ノアル人々ヲ御派遣ニナッテ、始終斯ウ云フコトヲ氣ヲ付ケナケレバナリマセス、ナカナカ是ハ費用モカカル、又サウ云フ方法モ執レマイト思ヒマス、或ハサウ云フヤウナ學壇ニ於ケル講義ト云フヤウナモノハ一切御構ヒニナラス、路傍ニ於テ集會ヲシテ不穩ナコトヲ言フ、サウ云フコトダケニ之ヲ適用ニナルト云フ意味デアアルノデアリマス、斯ウ云フコトヲ伺ッテ置キマセスト云フト、宣傳ト云フコトノ意味ガ明カデアリマセス、ソレ故ニ私ハ伺ッタノデアリマス、只今ノ司法當局ノ説明デハ甚ダ不十分デアリマスカラ、成ベクハ内務大臣ニ御伺ヒシタイト思ヒマス、或ハ内務省ノ政府委員デモ宜シウゴザイマスシ、參事官デモ宜シウゴザイマス

〔國務大臣床次竹二郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(床次竹二郎君) 御答致シマスガ、宣傳ト云フコトハ只今司法當局ヨリ申上ゲマシタ通りデ、別ノ考ハ有ッテ居リマセス、ソレデ此宣傳ガ朝憲ヲ紊亂スルヤウナコトヲ宣傳スルコトニ當ルナラバ、ドウモ致方ゴザイマセスガ、併シ此法律ハ先程申上ゲマシタ如ク現在ノ狀態ニ於キマシテハ、斯ク斯クナル現象ガアル、ソレヲ其儘ニシテ置クノハ我國ノ爲ニ宜シクアルマ、之ヲ取締リタイ爲ニ起草シタ次第デゴザイマス、此點ハ能ク御諒解ヲ願ヒタウゴザイマス

○伯爵柳澤保惠君 マダーツ殘テ居リマス、私ハ始メノ無政府主義、共產主義トアリマスノハ例示デアルト云フ御説明デアリマシタガ、例示デアレバ之ニ先ヅ代ハルヤウナ隨分過激ノ主義モアラウト思ヒマス、是ハ「其ノ他」デ含ンデ居ルノデアリマセウガ、ソレナラバ寧ロ斯ウ云フ字ヲ御使ヒニナラナイ

デ……過激主義、過激思想ト云フヤウナ文字ヲ御使ヒニナッタドウカト云フコトヲ御尋致シタノデアリマス

〔國務大臣床次竹二郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(床次竹二郎君) 御答イタシマスガ、是ハ御説ノ如ク相當ナル言葉ガゴザイマスルナラバ、決シテ原案通ニ固執イタスデハゴザイマセス、兎モ角現状ニ於テ取締リ得タイト思フ事柄ヲ取締ルコトガ出來サヘスレバ、ソレデ宜シウゴザイマス

〔矢口長右衛門君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 矢口君ハドウ云フコトデアリマスカ

○矢口長右衛門君 チョット質疑ヲ……

○議長(公爵徳川家達君) 質疑ナラバ山脇君ニ御約束ラシテ置キマシタカラ、ソレガ濟ミマシテカラ……山脇玄君

○山脇玄君 極ク簡單デゴザイマスカラ此席カラ……

○議長(公爵徳川家達君) 大キナ御聲デ願ヒマス

○山脇玄君 第一私ハ政府委員ニ伺ヒタイノデアリマスガ、先刻カラ段々此第一條、第三條ニ付マシテ御説明ガアリマシタガ、ドウモマダ要領ヲ得ナイヤウデアリマス、私ハ茲ニ具體的ニ伺ツテ見タイノデアリマス、此第一條ニ朝憲ヲ紊亂スルト云フノハ、先刻モ或質問者ガ申サレタヤウニ、朝憲ト云フノハ憲法及ビ附屬法律ニ限り、其他ノ法律ヲ紊亂スルト云フヤウナコトハ之ニ含マナイト云フ意デアアルヤ否ヤ、ソレカラ第三條ノ一例ヲ申シマス、近來ノ勞働運動ハ賃銀ノ公定、時間ノ短縮、事業經營ニ參加シヤウト云フノト、ソレカラ或物ヲ國有ニシヤウ、公有ニシヨウト云フコトヲ盛ニ主張シテ居ルノデアリマスガ、其ノ事業經營ニ參加スルトカ、或ハ或物ヲ國有或ハ公有ニスルト云フ運動ガ此第三條ニ含ムヤ否ヤ、ソレカラ第三ニ第五條ノ趣意ガ私ニハドウモ分ラヌ、一度罪ヲ犯シタモ本人ガ官デ發見スル前ニ自首シタナラバ罪ヲ輕減スルト云フコトハ分リマスガ、全ク免除スルト云フコトハドウ云フ意味デアリマスカ、我々カラ見ルト隨分奇態ナ法文ノヤウニ考ヘラレマスガ、其御趣意ヲ伺ヒタイ、政府委員ニハ先ヅ此三箇條……ソレカラ内務大臣ニ大體ノ方針ニ付イテ伺ヒタイ……モウ一ツ落シマシタ政府委員……、第一條ニ付キマシテ、今日デスナ、今日普通選舉ヲ決行シタイト云フ盛シニ近來運動ガアリマス、是ハ現行法デハ格別ヤカマシク御取締ニナツテ居ラナイ

ヤウニ見エマスガ、アレ等ガドウモ甚ダ朝憲紊亂ニ當ルカラ、アレナドヲ此法律ニ依テ取締ルト云フ御考デアアルヤ否ヤト云フコトヲ伺ヒタイ、内務大臣ニ伺ヒタイノハ成程今日ハ世界ノ人心ガ動搖ヲ致シ、或ハ無政府主義、或ハ共產主義、或ハ「サンデカリズム」ト云フヤウナ、色々ナ新思想ガ世界ヲ風靡シテ居ルデ、何レノ國モ之ヲ危險視シナイ所ハ殆ド無イノデアリマス、ケレドモデス、是ハ一ツノ理想トシテ世界ニ段々廣ガツテ居ルデアツテ之ヲ今日實行シヤウトシタ所デ到底實行ノ出來ルモノデハナイ、其例ハ近ク露西亞ニアル、私ノ伺ヒタイノハ之ヲ一口ニ申シマスルト云フト社會主義デアアル、社會主義ノ中ニ色々斯ウ云フ區別ガアリマスガ、一口ニ言フト社會主義デアアル、此社會主義ト云フモノハ是ハ理想デアツテ、之ヲ今防グト云フコトハ到底出來ナイモノデアアルト考ヘルノデアリマス、之ヲ防グノ方法ト云フモノハ、兎モ角斯ウ云フ思想ヲ此世界ニ實現スルコトガ出來ナイト云フ思想ヲ持タセルヨリ外ニ、防グ方法ハナイモノデアアラウト思ヒマス、ソレデアリマスカラ先日以來ドウシテモ色々ノ危險ヲ防グタメニ國民教育ト云フモノヲ隅々迄行渡ラセルト云フコトガ危險思想ノ第一ノ豫防策デハアルマイカト云フコトガ、此議場ノ問題ニナツテ居ルヤウナコトデアリマス、殷鑑遠カラズ、其例ハ幾ツモアルノデアリマス、諸君御承知ノヤウニ獨逸ノ「ビスマルク」ガ、一方ニ於テ強制勞働保險ヲ設ケテ勞働階級ノ地位向上ヲ圖リ、一方ニ於テハ社會黨撲滅法ト云フモノヲ出シテ、十二年間ヒドク壓迫ヲ加ヘマシタ、其結果ハドウデアリマシタカ、成程上ニノボルコトハ出來マセナシタガ一旦「ビスマルク」ガ退隱スルヤ否ヤ、直チニ段々其主義ガ擴ガツテ、サウシテ遂ニ議會ニモ大多數ノ黨派ヲ占メルト云フヤウナ例ハ明カナ例デアアル、今一ツハ英國デ「デューデ」三世ノ時分ニ勞働組合ト云フモノヲ蛇蝎視シテ、嚴シク之ヲ禁ズル法律ヲ發シタコトガアル、其結果ハドウデアッタカト云フニ決シテ勞働運動、勞働組合ト云フモノハ消滅ハシナカッタ、是ガ刺戟トナツテ益々發達シテ、今日ハ世界ノ模範トナルヤウナ勞働組合ニナツテ居ルデアリマセヌカ、斯ウ云フ實例ヲ面ノアタリ見ナガラ今日此主義ヲ斯ウ云フ法律ヲ以テ壓迫シテ、是ガ消滅スルト云フ考ガ無論アルコトデハゴザイマセウガ、ドウ云フ理由デ之ヲ消滅スルコトガ出來ルカ、其理由ヲ内務大臣ニ伺ヒタイノデアリマス

〔國務大臣床次竹二郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(床次竹二郎君) 只今ノ御尋ハチョット聽取リカネマシテ、或ハ

御趣意ヲ取り違ヘテ居ルカ知レマセヌガ、斯様ニ承ハツテ宜シウゴザイマス
カ、斯ウ云フ思想ヲ取締ルノニ斯ノ如キ法律ヲ以テスルト云フコトハ寧ロ末
デア、何故其根本ニ溯ッテ法律ノ要ラス位ニセヌカト、斯ウ云フ御尋デア
タノデスカ、左様ナ御尋デアリマシタトスレバ御趣意ハ私ハ至極御同感デゴ
ザイマス、去ナガラ現在斯様ナル事實ガ現ハレテ居リマスル以上ハ、今ノ社
會ヲ健全ニ維持スル爲ニ、此法律ヲ作ルコトハ是亦已ムヲ得ナイ手段デア
ト考ヘマス、若シ聽違ヘテ居リマスナラバ更ニ御尋ヲ願ヒマス

○山脇玄君 チョット甚ダ何デアリマスガ、ヨク只今ノ御言葉ハ分リマシタ
ガ、モウ一ツノ懸念ハ、此法律ヲ以テ斯ウ云フ思想ヲ全ク撲滅、殺シテ仕舞
フト云フコトハ到底出来マイト私共考ヘマス、其例ハ獨逸ノ社會黨撲滅、英
吉利ノ労働組合撲滅ノ先例ガ眼ノ前ニアルノデアリマス、此先例ヲ見ナガラ
斯ウ云フ法律ヲ御出シニナツタト云フコトハ、何カ斯ウ云フ譯デ、是デ以テ
斯ウ云フ思想ヲ、一口ニ言フト社會思想ヲ撲滅スルコトガ出来ルト云フ御見
込デアルカ、其御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○國務大臣(床次竹二郎君) 只今ノ御尋デゴザイマスレバ、御意見ノ通り此
法律ノミニ依テ撲滅スルコトハ出来ナイト私モ考ヘマス、併ナガラ人間ノ身
體ガ無病息災デアレバ決シテ藥ヲ飲ム必要ガアリマセヌケレドモ、一旦病氣
ニナレバ醫藥ヲ要スルコトハ致方ガナイト同ジ理窟ト考ヘマス

○山脇玄君 チョット、一旦病氣ニナツテ藥ヲ飲ミマスレバ健康體ニ復スル、
治療ハ十分出来ルト云フ見込ガアルノデアリマスガ、社會主義ハソレトハ違
ヒハシナイカト思ヒマス、違フト云フコトハ二ツノ例ヲ以テ私ハ疑ヲ起シテ
居ルノデアリマス、其例ハドウ云フ譯デ高壓ヲシタカ、其高壓ハ斯ウ云フ譯
ガアルカラ高壓スルト云フ理由ヲ御説明下サラスト分リマセヌ

○國務大臣(床次竹二郎君) 固ヨリ此法律ノミニ依テ總テヲ無クナシテ仕舞
フト云フコトハ出来マセヌ、ソレハ總テノ方法ト相俟タナケレバナルマイト
思ヒマスガ、併シ確ニ此法律モ其醫藥ノ一ツニ相違ナイト考ヘマス

〔政府委員林賴三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(林賴三郎君) 只今山脇サンノ御尋ニ對シテ御答ヲシヤウト思ヒ
マス、第一ハ第一條ノ憲案亂ト云フコトノ意義ハドウ云フコトデアアルカト
云フ御尋ノヤウデアリマシタガ、憲案亂ト云フ言葉ハ古クカラ法律ニ使ハ
レテ居ル言葉デゴザイマシテ、御承知ノ通り明治十三年ニ出来タ刑法ニモゴ

ザイマス、又現行刑法ニモゴザイマスノデ、此法案ニ於テ新シク使ヒマシタ
次第デゴザイマセヌ、且ツ此法案ニ於テ新シイ意味ニ之ヲ用井ムトスルノデ
モゴザイマセヌ、要スルニ是ハ先ヅ意味ハ今日デハ定ッテ居リマス、詰リ國
家組織ノ根本法則ヲ不法ニ破壊スルト云フヤウナ風ノ意味ニ定ッテ居リマス、
サウ云フ次第デゴザイマスルカラ、具體的ニ各場合ニ付テ今申ス意義ニ照ラ
シテ判斷スル外ニ途ハナイト存ジマスガ、御尋ノ普通選舉ト云フコトガ直チ
ニ之ニ當ルト云フコトハ斷ジテナイト考ヘマス、憲法又ハ附屬法ニ規定シテ
居リマス事柄ハ、隨分色々ナコトガ規定シテゴザイマス、其規定ニ反對スル
コトガ直チニ憲案亂デアルト云フコトニハ參ラス、普通選舉ト云フモノハ
要スルニ選舉權ノ擴張ニ過ギマセヌカラ、是ハモウ第一條ニソレノミデ當ラ
スト云フコトハ無論デアリマス、ソレカラ第二ニハ第三條ノ御尋デアリマシ
タガ、例ニ舉ゲラレマシタ労働者ガ事業ノ經營ニ參加スル、斯ウ云フコトガ
直チニ社會組織ノ根本ヲ破壊スルト云フコトニハ無論參リマセヌ、是モ其實
際ノ事實ニ付テ能ク見マセヌト云フト、今舉ゲラレタダケノ例デ以テドウデ
アルカト云フコトハ御答出来マセヌガ、併シ單ニ事業ニ參加スルト云フコト
デアレバ、ソレニ當ラスコトハ疑ナイト思ヒマス、ソレカラ又或物ヲ國有ニ
スルトカ、或物ヲ公有ニスルトカ云フコトモ同様デアラウト思ヒマス、其程
度狀態ノ如何ニ依テ社會組織ノ根本ヲ動かスト云フコトモゴザイマセウ、サ
ウデナイ限リハ是ダケデ第三條ニ當ルト云フコトハ斷ジテナイト思ヒマス、
ソレカラ又第三ニハ第五條ニ付テノ御尋デアリマスガ、其自首ヲ致シマシタ
場合ニ刑ヲ免除スルト云フコトモ、此法案ニ初メテ現ハレタコトデハゴザイ
マセヌ、從來ノ刑罰法規ニハソレニ類シタコトハゴザイマス、詰リ早ク官ガ
之ヲ知ル機會ヲ得テ、サウシテ不法ナル行爲ヲ差止メタイ、斯ウ云フ趣意ニ
出テ居ルノデアリマス

○矢口長右衛門君 本員ハ只今ノ政府當局及ビ同僚間ノ應答ニ依リマシテ十
分了解ガ出来ナケレバナラスノデアリマスガ、未ダ本當ニ了解ヲ得マセヌノ
ハ、此法律ノ過激社會運動ト云フ此文字、之ガ私ハマダ了解ガ出来マセヌ、
是ハ斯ウ解釋シテ宜シウゴザイマスガ、過激ト云フノハ無政府主義、社會ト
云フコトハ共產主義、斯ウ云フ風ニ解釋ヲシテ宜シイノデゴザイマスガ、之
ヲ內務大臣ニ伺ヒタイト思ヒマス

〔國務大臣床次竹二郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(床次竹二郎君) 法案ノ名稱ニ付キマシテハ先程モ申上ゲマシタ、取締ノ必要ガアルト思フテ此法律案ヲ制定ニナッタ次第デアリマスガ、ソレニハ過激社會運動取締ト云フモノガ適當デアラウト云フ譯デ、斯ノ如ク選定サレタ譯デアリマスガ、斯様ナル字ガ適當デアラウカト云フコトニ付テハ、ドウゾ司法當局ヨリ御聽取ヲ願ヒタウゴザイマス

〔矢口長右衛門君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 矢口君ハ何デスカ

○矢口長右衛門君 司法當局ニ伺ヒマス

〔政府委員林頼三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(林頼三郎君) 矢口サンカラノ御尋ノ點ニ付マシテハ、大體先程司法次官カラ御答ニナツテ居ルノデアリマシテ、法律ノ名前ヲ如何ニスベキカト云フコトハ、色々苦心イタシマシタケレドモ、ドウモウマイ文句ガアリマセヌノデ、結局斯ウ云フコトニ致シマシタノデアリマスガ、併ナガラ今御尋ノヤウニ、過激ト云フコトハ過激主義デアアル、社會主義ト云フコトハ共產主義デアアル、斯ウ云フ定マツタ意味ハ無論アリマセヌノデ、要スルニ過激ナル社會運動ヲ取締ルト云フコトデアリマシテ、如何ナル社會運動トカト云フコトガ法律ノ條文ニ一々定マツアル、斯ウ云フ次第デアリマス、其意味ニ於テ御諒解ヲ願ヒマス

○矢口長右衛門君 只今ノ問ハムト欲スル所ハソレナンデス、此若シ過激ナル社會運動、斯ウ解スナラ、ソレナラ其レデ宜シウゴザイマスガ、此文字カラ見マシテ、字義上カラ見ルト、過激ト云フコトハ過激「エンド」社會ト云フノデナイ、所謂過激ナル社會運動トモ解サレマス、其意味ガ甚ダ疑問デアリマシタカラ……過激ナル社會運動デアルト云フコトデアリマスレバ、其解釋デモツテ濟ミマス、ソレデ諒解イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 御質問ハ最早済ミマシタト考ヘマスカラ、特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔長書記官朗讀〕

過激社會運動取締法案特別委員

公爵二條 厚基君 子爵伊東 祐弘君

大島 健一君 河村 善益君

男爵中川 良長君 伊澤 多喜男君

大久保 利武君

岡田 良平君

竹越 與三郎君

○議長(公爵徳川家達君) 次回ノ議事日程ハ本院彙報ヲ以テ御通知イタシマス、本日ハ是ニテ散會

午後三時四十六分散會